

ISSN 1340-2390
資料シリーズNo. 31-1
2009

有期実習型訓練カリキュラム作成のための モデルカリキュラム集 (No. 1)

—職業能力形成プログラム（有期実習型訓練）のモデルカリキュラムの開発—

業 種 別 （10業種）

- ロジスティクス分野
- 造園工事業
- 電気通信工事業
- 鉄筋工事業
- 自動車製造業
- パン製造業
- スーパーマーケット業
- ホテル業
- イベント産業
- 電気機械器具製造業

独立行政法人雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

はじめに

政府は、「成長力底上げ戦略」の一環として、フリーター等の職業能力形成機会に恵まれなかった者に対して、キャリア・コンサルティングと実践的な訓練によりキャリア形成を行うことにより、雇用の安定及び能力評価制度の整備を図るための「ジョブ・カード制度」を推進しているところです。

ジョブ・カード制度の職業能力形成プログラムの一つである有期実習型訓練は、企業が訓練実施計画と評価シートを用意し、ジョブ・カードを有している者を有期雇用し、訓練実施計画に沿って、企業実習（O J T）と座学（O f f - J T）を組み合わせた訓練を実施し、更に、習得した職業能力を「評価シート」により評価するという雇用型訓練です。

厚生労働省は、有期実習型訓練の普及促進を図るため、企業が用意する評価シート及びカリキュラムを中小企業等に広く提供することを目的として、中央職業能力開発協会に、そのモデルを作成するための基準策定普及委員会を設置し、能力開発研究センターもモデルカリキュラムの開発を中心に当該委員会に参画をしてきたところであります。

本冊子は、基準策定普及委員会において平成20年度に作成した10業種のモデルカリキュラムを、モデルカリキュラム集としてとりまとめたものです。

地域ジョブ・カードセンター及び雇用・能力開発機構都道府県センター等関係機関におきましては、本冊子を有期雇用型訓練の実施を考えている企業等への相談支援ツールのひとつとして、活用いただければ幸いです。

なお、厚生労働省及び雇用・能力開発機構（職業能力開発ステーション）ホームページにも、本冊子内容と同様なものが掲載をされていますので、併せて活用をいただきますようお願いいたします。

2009年3月

職業能力開発総合大学校

能力開発研究センター所長

目 次

■ 本冊子の活用にあたって ■

1 概要	1
2 有期実習型訓練カリキュラム作成の考え方	
2-1 モデルカリキュラム作成のガイドライン	2
2-2 訓練カリキュラム総括表	4
2-3 訓練カリキュラム	5
2-4 訓練計画予定表	7
2-5 モデルカリキュラム活用事例	7
2-6 教科名等の事例	7

■ モデルカリキュラム集（10業種） ■

① ロジスティクス分野（作成ガイドライン）	9
倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）	10
運送業務実践科（輸配送運転者コース）	13
運送業務実践科（輸配送補助コース）	16
モデルカリキュラム活用事例	19
ロジスティクス分野の教科名等の例	20
② 造園工事業（作成ガイドライン）	23
造園工事実践科（現場支援コース）	24
造園工事実践科（現場業務コース）	27
モデルカリキュラム活用事例	30
造園工事業の教科名等の例	31
③ 電気通信工事業（作成ガイドライン）	33
電気通信工事実践科（研修主導型コース）	34
電気通信工事実践科（現場主導型コース）	37
モデルカリキュラム活用事例	40
電気通信工事業の教科名等の例	41

④	鉄筋工事業（作成ガイドライン）	4 4
	鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）	4 5
	鉄筋工事実践科（鉄筋工事施工管理コース）	4 8
	鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）	5 1
	モデルカリキュラム活用事例	5 4
	鉄筋工事業の教科名等の例	5 5
⑤	自動車製造業（作成ガイドライン）	5 9
	自動車組立実践科（普通四輪・大型四輪コース）	6 0
	自動車組立実践科（二輪コース）	6 3
	モデルカリキュラム活用事例	6 6
	自動車製造業の教科名等の例	6 7
⑥	パン製造業（作成ガイドライン）	7 0
	パン製造販売実践科	7 1
	モデルカリキュラム活用事例	7 4
	パン製造業の教科名等の例	7 5
⑦	スーパーマーケット業（作成ガイドライン）	7 6
	青果調理加工科	7 7
	惣菜調理加工科	8 0
	水産物調理加工科	8 3
	食肉調理加工科	8 6
	チェックアウト業務実践科	8 9
	モデルカリキュラム活用事例	9 2
	スーパーマーケット業の教科名等の例	9 3

⑧	ホテル業（作成ガイドライン）	99
	ホテルサービス科（OJT主導型コース）	100
	ホテルサービス科（Off-JT主導型コース）	103
	モデルカリキュラム活用事例	106
	ホテル業の教科名等の例	107
⑨	イベント産業	109
	イベント実践科（企画制作コース）	110
	イベント実践科（イベント運営コース）	113
	モデルカリキュラム活用事例	116
	イベント産業の教科名等の例	117
⑩	電気機械器具製造業（作成ガイドライン）	119
	半導体製品製造実践科	120
	電子機器組立実践科	123
	電気機器検査実践科	126
	モデルカリキュラム活用事例	129
	電気機械器具製造業の教科名等の例	130

本冊子に掲載したモデルカリキュラムのデータは、職業能力開発総合大学
校 能力開発研究センターホームページ「職業能力開発ステーション サポ
ートシステム」の「カリキュラムモデル検索」よりダウンロードできます。
<http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/CurriculumModel/>

■ 本冊子の活用にあたって ■

1 概要

カリキュラムとは、受講者から見れば訓練コースの到達目標、指導者から見れば指導内容の指針を示すもので、訓練目標を達成するために、受講者等の学習能力や習得段階を順序だてて編成した計画のことをさします。

有期実習型訓練の対象者は、職業の経験が浅く、職業能力を高めるための教育訓練機会がなかったために、職務上必要な知識、技能を有していない者です。

そのため、技能・技術を習得することとあわせて、働く意義や喜びを実感することも大切です。

また、有期実習型訓練受講後の評価によって、採用につながる（採用試験等を受けられる）ようにするため、企業の採用基準に見合う知識や技能・技術が習得できるカリキュラム（訓練実施計画）が必要となります。

有期実習型訓練に限らず、企業において教育訓練を計画する際には、担当する部署での仕事を行うための職業能力を明確にすることが重要です。

この冊子に掲載しているモデルカリキュラムは、平成20年度に作成した10業種のモデル評価シートに対応した業種別の「作成ガイドライン」、モデル訓練科（コース）毎の「訓練カリキュラム総括表」「訓練カリキュラム」「訓練計画予定表」で構成しています。また、業種別モデルカリキュラムの末尾に、訓練時間や対象者等によってモデルカリキュラムを変更する際の「モデルカリキュラム活用事例」やカリキュラムを作成する際の教科名等も参考に掲載しています。

なお、このモデルカリキュラム作成にあたっては、有期実習型訓練の基本型の要件（平成20年7月時点）に基づき作成しています。

以下に、このカリキュラムを活用する際の共通する事項について説明します。

2 有期実習型訓練カリキュラム作成の考え方

2-1 モデルカリキュラム作成のガイドライン

モデルカリキュラムは、次の共通ガイドラインに沿って作成していること。

なお、業種毎に特化したガイドラインは、業種別に記載しています。

- (1) モデルカリキュラムは、業種毎に設置されている基準策定普及委員会における意見及び企業ヒアリングの結果を基に作成していること。
- (2) 有期実習型訓練を実施する企業が、訓練期間中の訓練（作業）内容や教育訓練環境に応じて、モデルカリキュラムのOJTおよびOff-JTの教科目や教科内容を選択、修正、追加または削除して企業独自のカリキュラムを作成するための参考モデルであること。
- (3) モデルカリキュラムは、訓練受講者及び指導者に対して次のとおり示すものであること。
 - ① 訓練受講者に対しては、訓練の目標や内容を理解させ、訓練の動機付けや受講意欲を喚起していること。
 - ② 指導者に対しては、訓練目標、訓練内容、訓練方法（座学・実技）、訓練時間等を記載し、指導内容の指針を示していること。
- (4) モデルカリキュラムは、モデル評価シートの内容に対応して作成していること。その際、モデル評価シートの能力ユニット、または職務や仕事の単位でいくつかの能力ユニットをまとめて教科名および細目の内容として記載することを基本としていること。
- (5) 総括的な訓練目標は、「職務内容の補助作業や作業の難易度に応じて上司等の指示又は訓練生の判断により作業ができる知識、技能・技術を習得すること」を前提としていること。
- (6) モデルカリキュラムの訓練対象者は、フリーター等正社員経験の少ない方（原則として過去5年以内に概ね3年以上継続して常用雇用されたことがない方。但し、学卒後6か月以内の方を除く）であって、当該訓練内容は、「当該業界の知識および技能・技術を有さない者で就業意欲のある者」としていること。

- (7) モデルカリキュラムは、次の①から③の要件で作成していること
- ① 訓練期間は6ヵ月
 - ② 総訓練時間は425時間
 - ③ OJTの訓練割合は8割、OFF-JTの訓練割合は2割
- (8) 企業内でOFF-JTを実施する場合、企業の教育訓練環境に対する依存度が大きいため、企業が実施しやすい教科目や訓練内容を基本にし、当該業界で働く意義や喜びを感じられる内容や安全衛生を加えた教科にしていること。
- (9) OFF-JTの「職業能力基礎講習」は、社会人としての常識の他、企業で働く者としての規則等の知識を習得する教科目であり、全業種同一教科名としていること。
- (10) OFF-JTの「安全衛生」及び「安全衛生作業」、OJT教科の「安全衛生作業」は、安全衛生の知識や技能を習得する教科目であり、全業種同一教科名としていること。
- (11) OFF-JTの学科教科の「能力評価」は、全業種同一教科名および同一時間数としていること。
- (12) OJTは、具体的活動（制作・製造やサービス提供）の課題解決のための技能・技術及びそれに関する知識を訓練するものであり、OFF-JTはOJTの補完やOJTで習得しづらい訓練、安全に関する知識、技能を設定していること。
- (13) OJTの訓練時間は、仕事（作業）の内容や企業（事業所）の違いから標準的に示しづらいところは仕事内容により柔軟に設定していること。
- (14) 活用にあつては、モデルカリキュラム活用事例を参考にすること。

2-2 訓練カリキュラム総括表

「訓練カリキュラム総括表」に記載される事項を各項目別に設定方法を説明します。

①訓練科（コース）名

訓練科（コース）の名称は、職種・職務・職能・業務・技術内容などから訓練内容を想定できるものとする。なお、ほかに同じ分野の技能要素を習得するための訓練科を設定する場合は、訓練科名中に補足名を記載したり、一連の訓練科に関連した名称にするとわかりやすくなります。

②訓練期間

有期実習型訓練の訓練基準（3ヶ月を越え6ヶ月以内の訓練期間）の範囲で、教育訓練の目標が達成出来る期間を設定します。また、受講者が訓練内容からみて想定できる期間とします。

③就職の職務

就職の職務は、受講者が担当する部署の職務や仕事の範囲が概ね想定できる内容とします。

④訓練目標

訓練目標は、訓練の必要性・効果・期待なども含めた訓練終了後の人材像を設定します。

たとえば、「〇〇技術者の職務」「△〇を有する技能者」で、習得する能力は「専門要素は〇〇の要素ほか」で、習得する内容の水準は、「〇〇の管理ができる、△△を取り扱うことができる」などを盛り込み、解りやすく設定します。

⑤仕上がり像

仕上がり像は、上記④の「訓練目標」をより具体的に示すために、上記③の「就職の職務」の範囲で、訓練終了後に、どのような仕事や業務ができるようになるかを設定します。

2-3 訓練カリキュラム

「訓練カリキュラム」に記載される事項を各項目別に設定方法を説明します。

① O J T

仕上がり像にある仕事や業務から訓練すべき要素を抽出し、「職務名又は教科名」「職務又は教科の内容」「時間数」をあわせて示します。なお、「職務名又は教科名」には、実際の作業名などを記載すると仕事との関連などがよりわかりやすくなります。

② O f f - J T

O f f - J Tは、O J Tを補完する基本の知識や安全作業の徹底など、訓練すべき要素を抽出します。

i. 学科

抽出したO f f - J Tの内容から座学等による知識の習得が効果的である内容を選別し、「職務名又は教科名」「職務又は教科の内容」「時間数」を示します。

ii. 実技

抽出したO f f - J Tの内容から実習等による知識、技能・技術の習得が効果的である内容を選別し、「職務名又は教科名」「職務又は教科の内容」「時間数」を示します。

③ 主な設備機器

教育訓練に必要な器工具や設備、備品等を示します。

④ O f f - J Tの実施主体

事業外でO f f - J TやO J Tを実施する場合に、教育訓練を実施する組織や機関名などを示します。

O J TとO f f - J T

有期実習型訓練は、企業が受講者と雇用契約を結んでおこなう訓練であり、カリキュラムは、O J T（実習）とO f f - J T（座学、実習）で構成されます。

通常、企業が訓練を実施するということは、企業が抱えている課題や問題を解決するための企業活動となります。

ここで、最も課題解決に直結した訓練がO J Tです。生産現場の問題や課題の原因を明らかにして、実際の現場で繰り返して訓練して課題解決を図ることができるからです。

しかしながら、全ての課題をO J Tで解決できるかという点必ずしもそうではありません。O J Tではできない内容や効率的でない内容、あらかじめ習熟しておくことでO J Tを通じてより効率良く習得できる内容もあります。

そこでO f f - J Tを活用します。例えば事故等が起こった際の対処法などを事前に習得しておくことや設備の操作方法を事前にシミュレーションして、習熟しておくことでO J Tがより良い訓練となると考えます。また、座学により体系的に知識を得ておくことで実習等を効率良くおこなうことができたり、課題解決活動がよりスムーズに進められることも考えられます。

このように、O f f - J T（学科・実技）はO J Tを補完する位置づけを想定して進めるとよいでしょう。

2-4 訓練計画予定表

「訓練計画予定表」に記載される事項の設定方法を説明します。

①「職務名又は教科名」ごとの実施月毎の訓練の予定

「職務名又は教科名」を実施する月を塗りつぶしまたは訓練時間を示します。

②職業能力の評価

評価を実施する時期（予定）を示します。

③教育訓練の時間数

月単位の教育訓練の合計時間数を示します。

2-5 モデルカリキュラム活用事例

各業種別にモデルカリキュラムを活用し、対象者の職務経験や訓練時間の設定等に応じた、いくつかの事例を掲載しています。

2-6 教科名等の例

独自カリキュラムを作成する際の「職務名又は教科名」のヒントとして活用いただくことを目的として、各業種のモデルカリキュラムの完成に至る各段階で取りまとめた教科名および教科の内容を例として掲載しています。

本冊子に掲載したモデルカリキュラムは、有期実習型訓練を導入・活用する企業が独自カリキュラムを作成する際の参考として、または相談援助ツールとして作成したものであり、モデルカリキュラムと訓練計画の認定とは無関係であることにご留意ください。

また、このモデルカリキュラム作成にあたっては、有期実習型訓練の基本型の要件（平成20年7月時点）に基づき、業種毎に活用することを前提に作成しています。

■ モデルカリキュラム集（10業種） ■

① ロジスティクス分野

◆ 作成ガイドライン

- (1) ロジスティクス分野においては、倉庫業務および運送業務に関わる訓練科を作成していること。
- (2) 実際の運送業務においては輸配送に付帯する処理を含めた作業も重要であり、将来的に運転者として業務に関わる者の育成も必要であることから、運転者と運転補助者の訓練コースを作成していること。

倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）訓練カリキュラム総括表

平成20年12月作成

訓練科名 (コース名)	倉庫業務実践科 (入出荷・保管・仕分け作業)	就職 の 職務	入出荷・保管・仕分け作業等
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、倉庫業務における貨物の入出荷、保管、仕分け作業等の内容を学習し、定められた事務処理及び貨物の受領、検品方法等を習得する。		
仕上がり像	入出荷・保管・仕分け指示に基づいて、定められた作業手順や方法により入荷、仕分け、保管、出荷作業を行うことができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）における訓練カリキュラム

平成20年12月作成

訓練科名（コース名）		倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）			Off-JTの実施主体	備考
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間			
実習等 (OJT)	入出荷作業実習	入出荷作業の基本的な流れ、荷役機器や情報機器の取り扱い、書類の受け渡し、パートやアルバイトとの協働	140			
	保管作業実習	保管貨物のロケーション管理、在庫数量チェック、異常確認等	40			
	棚卸し作業実習	棚卸し作業の目的、実施手順、事務手続き等	20			
	ピッキング・仕分け作業実習	ピッキング・仕分け作業の基本的な流れ、実施手順、正確な作業の実施、効率的な作業の実施	140			
OJT計			340時間			
有期実習型訓練の内容	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー	12	
			倉庫業務の概要	自社の倉庫業務の概要、入出荷作業の概要、保管作業の概要、棚卸し作業の概要、ピッキング・仕分け作業の概要、倉庫の防火・防災・風水害等対策	12	
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（安全点検、KYT）、労働災害の防止、健康管理、救急処理	6	
			荷扱いの基本動作	荷扱いの基本動作、ケアマーク、注意表示等	6	
			物流概論	物流・ロジスティクスの概念、物流の構成と領域、保管、荷役、輸送、包装、流通加工の概要	15	
			情報処理の基礎	データ管理、情報システム管理	12	
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10	
			学科計			
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6			
	データ処理実習	各種データ作成、ファイル管理、受発注処理システム、入出荷処理システム、在庫管理システム、経理処理システム	6			
実技計			12時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間			
有期実習型訓練合計			425時間			
主な設備機器		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用具類、パレット、パソコン、その他情報機器				

倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）訓練計画予定表

平成20年12月作成

訓練科名（コース名）		倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）						
		職務名又は教科名	H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)		入出荷作業実習						
		保管作業実習						
		棚卸し作業実習						
		ピッキング・仕分け作業実習						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習						
		倉庫業務の概要						
		安全衛生						
		荷扱いの基本動作						
		物流概論						
		情報処理の基礎						
		能力評価						
実技		安全衛生作業						
		データ処理実習						
		職業能力の評価						
		教育訓練の時間数						

運送業務実践科（輸配送運転者コース）訓練カリキュラム総括表

平成20年12月作成

訓練科名 (コース名)	運送業務実践科 (輸配送運転者コース)	就職 の 職務	輸配送作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、貨物の輸送・配送に関する知識や法令について学び、作業内容を理解して確実にを行うための技能を習得する。		
仕上がり像	輸配送作業を確実に遂行することができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

運送業務実践科（輸配送運転者コース）訓練カリキュラム

平成20年12月作成

訓練科名（コース名）		運送業務実践科（輸配送運転者コース）			Off-JTの 実施主体	備考	
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間				
実習等 (OJT)	輸配送補助作業	ルートの案内、伝票整理、荷役の補助、荷室の整理等	40	/			
	輸配送作業	運行前点検、点呼、輸配送作業、貨物の積み付け、固縛、積み卸し、日報作成、機器操作等	300				
	OJT計						340時間
有期実習型訓練の内容	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー	12	/	
			運送業務の概要	自社の運送業務の概要、輸配送作業の概要	6		
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（安全点検、KYT）、労働災害の防止、健康管理、救急処理	6		
			荷扱いの基本動作	荷扱いの基本動作、ケアマーク、注意表示等	3		
			運転者の基本動作	交通関連法規に明記された運転者の義務、日常点検業務、遵守事項、安全運転のための健康管理等	7		
			運転者のマナーと顧客対応	身だしなみ、挨拶、公共交通の場での運転マナー、顧客からの苦情対応等	3		
			事故・トラブル時の基本動作	事故処理マニュアルに基づく事故・トラブル時の対応等	3		
			物流概論	物流・ロジスティクスの概念、物流の構成と領域、保管、荷役・運搬、輸送、包装流通加工の概要	4		
			情報処理の基礎	ITリテラシー、データ管理、情報システム管理	3		
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10		
学科計			57時間	/			
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6				
	情報機器実習	情報機器（バーコードスキャナ、ハンディターミナル、デジタルタコグラフ等）	3				
	日常点検業務実習	運行前点検、車両の清掃等、乗務前点呼、日報作成等	8				
	輸配送作業実習	走行や制動動作、車間距離、安全確認、構造に起因する死角、内輪差等、貨物の積載、固縛、積み卸し作業等	11				
実技計			28時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間				
有期実習型訓練合計			425時間				
主な設備機器		運送用自動車、フォークリフト、荷役用具類、バーコードスキャナ等情報機器					

運送業務実践科（輸配送運転者コース）

平成20年12月作成

訓練科名（コース名）		運送業務実践科（輸配送運転者コース）						
		職務名又は教科名	H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)		輸配送補助作業						
		輸配送作業						
座学等 (Off-JT)	学 科	職業能力基礎講習						
		運送業務の概要						
		安全衛生						
		荷扱いの基本動作						
		運転者の基本動作						
		運転者のマナーと顧客対応						
		事故・トラブル時の基本動作						
		物流概論						
		情報処理の基礎						
		能力評価						
実 技		安全衛生作業						
		情報機器実習						
		日常点検業務実習						
		輸配送作業実習						
		職業能力の評価						
		教育訓練の時間数						

運送業務実践科（輸配送補助コース）訓練カリキュラム総括表

平成20年12月作成

訓練科名 (コース名)	運送業務実践科 (輸配送補助コース)	就職 の 職務	輸配送作業補助
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、貨物の輸送・配送に関する知識や法令について学び、作業内容を理解して確実にを行うための技能を習得する。		
仕上がり像	輸配送業を確実に遂行するための補助ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

運送業務実践科（輸配送補助コース）訓練カリキュラム

平成20年12月作成

訓練科名（コース名）		運送業務実践科（輸配送補助コース）			Off-JTの実施主体	備考	
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間				
(OJT等)	輸配送補助作業		ルートの案内、伝票整理、荷役の補助、荷室の整理等	340			
	OJT計			340時間			
	(Off-JT)	職業能力基礎講習		コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー	12		
		運送業務の概要		自社の運送業務の概要、輸配送作業の概要	6		
		安全衛生		5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（安全点検、KYT）、労働災害の防止、健康管理、救急処理	6		
		荷扱いの基本動作		荷扱いの基本動作、ケアマーク、注意表示等	3		
		運転者の基本動作		交通関連法規に明記された運転者の義務、日常点検業務、遵守事項、安全運転のための健康管理等	7		
		運転者のマナーと顧客対応		身だしなみ、挨拶、公共交通の場での運転マナー、顧客からの苦情対応等	3		
		事故・トラブル時の基本動作		事故処理マニュアルに基づく事故・トラブル時の対応等	3		
		物流概論		物流・ロジスティクスの概念、物流の構成と領域、保管、荷役・運搬、輸送、包装流通加工の概要	4		
情報処理の基礎		データ管理、情報システム管理	3				
能力評価		オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10				
学科計			57時間				
(実技)	安全衛生作業		安全作業、衛生管理実務、救急法	6			
	情報機器実習		情報機器（バーコードスキャナ、ハンディターミナル、デジタルタコグラフ等）	3			
	日常点検業務実習		運行前点検、車両の清掃等、乗務前点呼、日報作成等	8			
	輸配送作業実習		走行や制動動作、車間距離、安全確認、構造に起因する死角、内輪差等、貨物の積載、固縛、積み卸し作業等	11			
実技計			28時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間				
有期実習型訓練合計			425時間				
主な設備機器		輸送用自動車、荷役用具類、バーコードスキャナ等情報機器					

※本コースは、実際の公道上での運転は行わないが、正社員として雇用された際に、運転者として必要な知識等を身につけることをねらっており、Off-JTでは運転に関する内容も含んでいる。

運送業務実践科（輸配送補助コース）訓練計画予定表

平成20年12月作成

訓練科名（コース名）		運送業務実践科（輸配送補助コース）						
		職務名又は教科名	H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)		輸配送補助作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習						
		運送業務の概要						
		安全衛生						
		荷扱いの基本動作						
		運転者の基本動作						
		運転者のマナーと顧客対応						
		事故・トラブル時の基本動作						
		物流概論						
		情報処理の基礎						
		能力評価						
	実技		安全衛生作業					
			情報機器実習					
			日常点検業務実習					
		輸配送作業実習						
		職業能力の評価						
		教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

訓練科名（コース名）	倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等（OJT）	入出荷作業実習	入出荷作業の基本的な流れ、荷役機器や情報機器の取り扱い、書類の受け渡し、パレットの積み下ろしの手順	140	有期実習型訓練の内容	地主体
	保管作業実習	保管物のロケーション管理、在庫数チェック、異常確認等	40		
	棚卸し作業実習	棚卸し作業の目的、実施手順、事務手続き等	20		
	ピッキング・仕分け作業実習	ピッキング・仕分け作業の基本的な流れ、実施手順、正確な作業の実施、危険な作業の実施	140		
OJT計			240時間		
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー	12	Off-JT	地主体
	倉庫業務の概要	自社の倉庫業務の概要、入出荷作業の概要、保管作業の概要、棚卸し作業の概要、ピッキング・仕分け作業の概要、倉庫の防火・防犯・異常発生対応	12		
	安全衛生	〇〇（整理、整頓、清掃、点検、しつけ）、安全作業（安全点検、KY/T）、労働災害の防止、健康管理、救急処置	6		
	荷役の基本動作	荷役の基本動作、クマアワー、注意事項等	6		
	物流知識	物流・ロジスティクスの概念、物流の種類と機能、保管、輸送、包装、流通加工の概要、倉庫業務の概要	15		
	情報処理の基礎	データ管理、情報システム管理	12		
能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10			
学 科 計			78時間		
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6	Off-JT	地主体
	データ処理実習	各種データ作成、ファイル管理、受発注処理システム、在庫管理システム、情報処理システム	6		
実 技 計			12時間		
Off-JT（教育訓練施設）小計			85時間		
有期実習型訓練合計			425時間		
主な設備機器		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用器具、パレット、パソコン、その他情報機器			

【活用事例1】経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

訓練科名（コース名）	倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等（OJT）	入出荷作業実習	入出荷作業の基本的な流れ、荷役機器や情報機器の取り扱い、書類の受け渡し	140	有期実習型訓練の内容	地主体
	保管作業実習	保管物のロケーション管理、在庫数チェック、異常確認等	40		
	棚卸し作業実習	棚卸し作業の目的、実施手順、事務手続き等	100		
	ピッキング・仕分け作業実習	ピッキング・仕分け作業の基本的な流れ、実施手順、正確な作業の実施、危険な作業の実施	120		
OJT計			400時間		
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー	12	Off-JT	地主体
	倉庫業務の概要	自社の倉庫業務の概要、入出荷作業の概要、保管作業の概要、棚卸し作業の概要、ピッキング・仕分け作業の概要、倉庫の防火・防犯・異常発生対応	12		
	安全衛生	〇〇（整理、整頓、清掃、点検、しつけ）、安全作業（安全点検、KY/T）、労働災害の防止、健康管理、救急処置	6		
	荷役の基本動作	荷役の基本動作、クマアワー、注意事項等	6		
	物流知識	物流・ロジスティクスの概念、物流の種類と機能、保管、輸送、包装、流通加工の概要、倉庫業務の概要	24		
	情報処理の基礎	データ管理、情報システム管理	12		
能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10			
学 科 計			58時間		
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6	Off-JT	地主体
	データ処理実習	各種データ作成、ファイル管理、受発注処理システム、在庫管理システム、情報処理システム	6		
実 技 計			12時間		
Off-JT（教育訓練施設）小計			100時間		
有期実習型訓練合計			500時間		
主な設備機器		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用器具、パレット、パソコン、その他情報機器			

※500時間（OJT:400時間、Off-JT:100時間） 8時間/日 → 約63日

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例3】卒業者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

訓練科名（コース名）	倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等（OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、災害の種類と対策、労働災害の防止	62	有期実習型訓練の内容	地主体
	業務計画・推進基礎実習	コンプライアンス、物流マネジメント、物流実務、設備・資材	62		
	業務運営基礎実習	コンプライアンス、物流の概念と要素、ロジスティクスと基本概念、物流管理の概要、情報処理システム、コミュニケーションシステム	62		
	倉庫内作業管理実習	コンプライアンス、作業管理の概要、情報システムの基礎知識、ケレム処理の概要、作業事故・災害事例	62		
	帳簿処理実習（各種）	コンプライアンス、情報システムの基礎知識、システム運用、情報システムの概要・管理概要、倉庫業務に必要不可欠	62		
	商品管理基礎実習	コンプライアンス、商品管理の概要、棚卸し数量算定の概要、作業事故・災害事例、モラル向上	62		
	棚卸し実習	コンプライアンス、棚卸しの概要、棚卸し数量の差異の知識、作業事故・災害事例、モラル向上	62		
	入出荷作業実習	コンプライアンス、倉庫内作業の概要、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム	70		
	保管作業実習	コンプライアンス、常温倉庫作業の概要、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム	70		
	定温保管作業実習	コンプライアンス、低温倉庫作業の概要、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム	70		
	危険品保管作業実習	コンプライアンス、危険品倉庫作業の概要、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム	70		
	ピッキング・仕分け作業実習	コンプライアンス、ピッキング・仕分けの概要、ピッキング設備、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム	70		
流通加工作業実習	コンプライアンス、流通加工の概要、荷役運搬機器等の知識、ユニットロードシステム	62			
OJT計			768時間		
学 科	キースキル講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、健康管理（仕事理解、健康管理、組織と業務分析）	24	Off-JT	地主体
	安全衛生	〇〇（整理、整頓、清掃、点検、しつけ）、安全作業（安全点検、KY/T）、労働災害の防止、健康管理、救急処置	6		
	物流知識	物流知識（物流・ロジスティクスの概念、物流の種類と機能、保管、輸送、包装、流通加工）、物流管理の概要、物流の種類とロジスティクスの概念、物流管理の概要、輸送・物流管理、物流効率化と物流コスト管理、在庫管理、情報伝達と情報管理	32		
	輸送知識	輸送知識（輸送の定義と種類、輸送の役割、道路輸送、鉄道輸送、海上輸送、航空輸送、輸送システム、共同輸送・配送システム、宅配）	16		
	関係法規	物流法関係法（各種関係法令・貨物自動車運送事業法、輸送安全規制、道路運送法、倉庫法、倉庫業法施行令、倉庫業法施行規則）	16		
	IT知識	ITリテラシー、データ管理、情報システム管理	8		
能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10			
学 科 計			104時間		
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6	Off-JT	地主体
	物流機械運転実習	フォークリフトの運転、荷役作業	40		
データ処理実習	各種データ作成、ファイル管理	40			
実 技 計			86時間		
Off-JT（教育訓練施設）小計			192時間		
有期実習型訓練合計			960時間		
主な設備機器		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用器具、パレット、パソコン、その他情報機器			

※960時間（OJT:768時間、Off-JT:192時間） 8時間/日 → 約120日

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1	学 科 : 2時間			実 技 : 2時間	
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2	学 科 および 実 技 : 3時間			学 科 および 実 技 : 5時間	

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

訓練科名（コース名）	倉庫業務実践科（入出荷・保管・仕分け作業）	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考			
実習等（OJT）	入出荷作業実習	入出荷作業の基本的な流れ、荷役機器や情報機器の取り扱い、書類の受け渡し、パレットの積み下ろしの手順	70	有期実習型訓練の内容	地主体			
	保管作業実習	保管物のロケーション管理、在庫数チェック、異常確認等	20					
	棚卸し作業実習	棚卸し作業の目的、実施手順、事務手続き等	12					
	ピッキング・仕分け作業実習	ピッキング・仕分け作業の基本的な流れ、実施手順、正確な作業の実施、危険な作業の実施	70					
OJT計			172時間					
学 科	職業能力基礎講習（キースキル講習）	コミュニケーション、グループディスカッション、企業研修、キャリア形成の概要、荷役の基本動作の概要、物流知識	12	Off-JT	地主体			
	安全衛生	〇〇（整理、整頓、清掃、点検、しつけ）、安全作業（安全点検、KY/T）、労働災害の防止、健康管理、救急処置	3					
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10					
	学 科 計					25時間		
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6			Off-JT	地主体	
	データ処理実習	各種データ作成、ファイル管理、受発注処理システム、在庫管理システム、情報処理システム	12					
実 技 計			18時間					
Off-JT（教育訓練施設）小計			43時間					
有期実習型訓練合計			215時間					
主な設備機器		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用器具、パレット、パソコン、その他情報機器						

※215時間（OJT:172時間、Off-JT:43時間） 8時間/日 → 約27日

補 足 ※有期実習型訓練の訓練基準
 ・6カ月訓練の総時間数425時間以上（3ヶ月訓練では215時間以上）
 ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割～2割の範囲

ロジスティクス分野の教科名等の例

訓練形態		教科名	教科の内容
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、災害の種類と対策、労働災害
0JT	実技	業務計画・推進基礎実習	コンプライアンス、物流マネジメント、物流実務、設備・資材
0JT	実技	業務運営基礎実習	コンプライアンス、物流の概念と要素、ロジスティクスと基本概念、物流管理と組織、問題解決技法、コミュニケーション手法
0JT	実技	倉庫内作業管理実習	コンプライアンス、作業管理の概要、情報システムの基礎知識、クレーム処理の知識、作業事故・災害事例
0JT	実技	帳簿処理実習（各種）	コンプライアンス、情報システムの基礎知識、システム運用、情報システムの性能・障害管理、担当業務に係る帳票入力
0JT	実技	現品管理基礎実習	コンプライアンス、現品管理の概要、棚卸し数量差異の知識、作業事故・災害事例、モラル向上策
0JT	実技	棚卸し実習	コンプライアンス、棚卸しの概要、棚卸し数量の差異の知識、作業事故・災害事例、モラル向上策
0JT	実技	入出荷作業実習	入出荷作業の概要、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム
0JT	実技	保管作業実習	コンプライアンス、普通倉庫作業の概要、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム
0JT	実技	定温保管作業実習	コンプライアンス、定温倉庫作業の概要、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム
0JT	実技	危険品保管作業実習	コンプライアンス、危険品倉庫作業の概要、荷役運搬機器等の知識、免許・資格、ユニットロードシステム
0JT	実技	ピッキング・仕分け作業実習	コンプライアンス、ピッキング・仕分けの概要、ピッキング設備、荷役運搬機器等の知識、資格、ユニットロードシステム
0JT	実技	流通加工作業実習	コンプライアンス、流通加工の概要、荷役運搬機器等の知識、ユニットロードシステム
0JT	実技	物流業務計画の策定実習	物流マネジメント方針、運送作業の概要、計画書作成概要、設備・資材、在庫ロケーション、荷役運搬機器の知識
0JT	実技	業務管理実習	会計規則、経理に関する法律と会計原則、簿記の基本、伝票式会計、財務諸表の作成と表示、業績管理
0JT	実技	指標管理実習	作業生産性管理、物流品質管理、車輛の運行・整備・作業管理に関する知識、科学的管理法、品質管理手法
0JT	実技	輸送品質の維持・向上実習	教育訓練方法の知識、企業の安全対策、輸配送実務の知識
0JT	実技	契約業務実習	コンプライアンス、保険処理実務、請負契約等の実務
0JT	実技	精算業務実習	会計規則、経理に関する法律と会計原則、簿記の基本、伝票式会計、財務諸表の作成と表示、業績管理
0JT	実技	作業管理実習	輸送実務の概要、運行管理の実務、クレーム処理の知識、作業計画全般、作業手順書、作業事故・災害事例、モラル向上策

ロジスティクス分野の教科名等の例

訓練形態		教科名	教科の内容
0JT	実技	運転者の責務	コンプライアンス、トラックの知識、安全運転の知識
0JT	実技	輸配送作業における基本動作	コンプライアンス、整備管理の実務、運行管理の実務、正しい貨物の積載や固縛方法、情報機器、機器取扱マニュアル
0JT	実技	運転マナーと顧客対応	運転者の接客マナー、コンプライアンス、問題解決法の知識、コミュニケーション手法、ステークホルダー
0JT	実技	事故・トラブル対応	コンプライアンス、事故・災害時の措置、緊急連絡体制等のマニュアル整備
0JT	実技	特定車輛運転	コンプライアンス、安全運転の知識、大型自動車に関する知識、トレーラに関する知識、運行管理の実務
0JT	実技	一般貨物輸送作業	コンプライアンス、安全運転の知識、運行管理の実務、荷役運搬機器の運転資格、安全作業、ステークホルダー
0JT	実技	定温貨物輸送作業	コンプライアンス、安全運転の知識、運行管理の実務、定温輸送の実務、荷役運搬機器の運転資格、ステークホルダー
0JT	実技	危険物輸送作業	コンプライアンス、安全運転の知識、運行管理の実務、タンクローリ輸送の実務、危険物輸送取扱
0JT	実技	コンテナ輸送作業	コンプライアンス、安全運転の知識、運行管理の実務、コンテナ輸送作業
0JT	実技	運送包装作業	ユニットロードシステム、ユニットロード機材、包装の適正化・標準化、包装材・緩衝材、包装の外注先、容器包装リサイクル法
0JT	実技	輸送包装の適正化作業	環境対応方針、ユニットロードシステム、包装材のリデュース・リユース・リサイクル（3R）、環境問題に対する基本的知識
0JT	実技	車輛整備に関する知識と対応	コンプライアンス、整備管理の実務、関連技術分野の情報の入手、関連法令改正等の情報の入手、ステークホルダー
0JT	実技	日常点検整備	コンプライアンス、整備管理の実務、整備又は改造に関する知識
0JT	実技	定期点検整備	コンプライアンス、整備管理の実務、整備又は改造に関する知識、整備の外部委託、ステークホルダー
Off-JT	学科	キースキル講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解：倫理規定、組織と業務分掌）
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（安全点検、KYT）、労働災害の防止、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	物流概論	物流概論（物流・ロジスティクスの概念、物流の構成と領域、保管、荷役・運搬、輸送、包装流通加工）、物流管理概論（物流とロジスティクスの概念、物流管理の意義、機能別物流管理、物流効率化と物流コスト管理、在庫管理、適性在庫と情報管理）
Off-JT	学科	輸送論	輸送概論（輸送の定義と種類、輸送の役割、道路輸送、鉄道輸送、海上輸送、航空輸送、輸送システム、共同輸送・配送システム、宅配便）
Off-JT	学科	関係法規	物流法令概論（各種関係法令：貨物自動車運送事業法、輸送安全規則、道路交通法、倉庫業法、倉庫業法施行令、倉庫業法施行規則）

ロジスティクス分野の教科名等の例

訓練形態		教科名	教科の内容
Off-JT	学科	I T 概論	I T リテラシー、データ管理、情報システム管理
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	物流機械運転実習	フォークリフトの運転・荷役作業
Off-JT	実技	データ処理実習	各種データ作成、ファイル管理

② 造園工事業

◆ 作成ガイドライン

造園工事業においては、現場業務のほか現場作業を支援する造園計画・設計の準備や作業補助業務に関わる訓練科を作成していること。

造園工事実践科（現場支援コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	造園工事実践科 (現場支援コース)	就職 の 職務	造園企画、現場管理、施工管理
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、造園工事の業務を理解し、造園工事受注のための営業活動や顧客ニーズに対応した計画・設計の準備及び作業に必要な基本的な知識、技能・技術を習得する。		
仕上がり像	顧客への営業活動やニーズに対応した造園計画・設計の準備や作業の補助ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

造園工事実践科（現場支援コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		造園工事実践科（現場支援コース）			Off-JTの実施主体	備考				
	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間							
有期実習型訓練の内容	実習等（OJT）	造園実習	石工事、園路・広場工事、添景物の施工、水景工、柵・塀・垣根等の施工、関連工事（植栽含む）	100	/					
		営業活動基礎実習	顧客対応、社内連携、折衝提案、現況調査	70						
		企画書作成基礎実習	計画・設計の策定、積算・見積・調達	80						
		施工関連書類作成実習（届出書類等の作成）	設計図書等の書類に関する知識、工法全般、官公庁届出書類の作成と時期、道路交通法規、道路管理者や警察への届出及びその対応法、現場工事写真の撮影及び写真管理	60						
		自主管理実習	品質管理、原価管理、工程管理、安全管理、環境管理	30						
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、造園作業に伴う安全衛生	他実習に包含						
	OJT計				340時間					
	座学等（Off-JT）	学科	職業能力基礎講習	会社概要、会社のルール、会社理念、就業規則、造園人心得、ビジネスマナー、コミュニケーションほか	12	/				
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理	3					
			造園一般	造園・庭園の概要（種類、構成、特徴、役割）、公共工事の知識	3					
			営業一般	営業計画、営業活動、造園に係る関連工事の概要	3					
			施工管理	品質・原価・工程・安全・環境管理、造園維持の留意点	3					
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10					
		学科計						34時間		
		実技	安全衛生作業	安全作業、安全管理、衛生管理実務、救急法	6			/		
造園基本実習			機械、器工具の取扱い・手入れ・保管、器具・材料等の運搬、段取り、関連工事	27						
パソコン実習			文書作成（作業日誌、報告書）、表計算、CAD、写真整理	18						
実技計				51時間						
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間						
有期実習型訓練合計				425時間						
主な設備機器等		運搬用小型自動車、パワーショベル、動力噴霧器、動力刈り払い機、動力芝刈り機、トリマー、散水機、ポータブルサンダ、コンクリート用ミキサ、ランマ、チェーンソー、各種携帯用電気工具、造園用・作業用工具類、計測器類、パソコン（ソフトウェア含）								

造園工事実践科（現場支援コース）訓練計画予定表

平成21年1月作成

訓練名（コース名）		造園工事実践科（現場支援コース）						
		職務名又は教科名	HO 年	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)		造園実習						
		営業活動基礎実習						
		企画書作成基礎実習						
		施工関連書類作成実習（届出書類等の作成）						
		自主管理実習						
		安全衛生作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習						
		安全衛生						
		造園一般						
		営業一般						
		施工管理						
		能力評価						
	実技	安全衛生作業						
		造園基本実習						
パソコン実習								
		職業能力の評価						
		教育訓練の時間数						

造園工事実践科（現場業務コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	造園工事実践科 (現場業務コース)	就職 の 職務	施工技能、維持管理
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、造園工事における業務全体を理解し、現場への材料の搬入・搬出作業、工事、品質・工程・安全・資機材の確認作業、ルールに則した確実かつ安全な工事の遂行及び造園工事で施工された庭園や樹木等を適切な状態に保つための作業に必要な基本的な知識や技能を習得する。		
仕上がり像	造園工事の施工補助及び庭園や樹木等の維持管理補助ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

造園工事実践科（現場業務コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		造園工事実践科（現場業務コース）			Off-JTの実施主体	備考
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間			
実習等 (OJT)	現場準備作業	器具・材料等の運搬、段取り、工事管理	60	他実習に包含		
	植栽実習	地ごしらえ・造成、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽、関連工事	80			
	造園実習	石工事・園路・広場工事、添景物の施工、水景工、棚・塀・垣根等の施工、関連工事	80			
	樹木・植物管理実習	樹木の管理、地被植物・草花の管理	120			
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、植栽・造園作業に伴う安全衛生	他実習に包含			
OJT計			340時間			
有期実習型訓練の内容 座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	会社概要、会社のルール、会社理念、就業規則、造園人心得、ビジネスマナー、コミュニケーション他	12		
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理	3		
		造園一般	造園・庭園の概要（種類、構成、特徴、役割）、公共工事の知識	3		
		施工管理概論	品質・原価・工程・安全・環境管理、造園維持の留意点	1		
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）	10		
学科計			29時間			
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6			
	造園基本実習	機械、器工具の取扱い・手入れ・保管、器具・材料等の運搬、段取り、関連工事	32			
	パソコン実習	文書作成（作業日誌、報告書）、表計算	18			
実技計			56時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間			
有期実習型訓練合計			425時間			
主な設備機器等		運搬用小型自動車、パワーショベル、動力噴霧器、動力刈り払い機、動力芝刈り機、トリマー、散水機、ポータブルサンダ、コンクリート用ミキサ、ランマ、チェーンソー、各種携帯用電気工具、造園用・作業用工具類、計測器類、パソコン（ソフトウェア含）				

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

造園工事実践科（現場業務コース）訓練カリキュラム				
平成21年1月作成				
訓練科名（コース名）	造園工事実践科（現場業務コース）	Off-JTの実施主体	備考	
実習等（OJT）	現場準備作業	器具・材料等の運搬、設取り、工事管理	60	
	植栽実習	地ごしらえ・造成、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽、開墾工事	80	
	造園実習	石工事、園路・広場工事、造園物の施工、水景工、橋・廊・垣等の施工、開墾工事	80	
	樹木・植物管理実習	樹木の管理、地被植物・草花の管理	120	
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、植栽・造園作業に伴う安全衛生	85	
	OJT計 340時間			
	学料等（Off-JT）			
職業能力基礎講習	会社概要、会社のルール、会社理念、職業観、進路心構え、ビジネスマナー、コミュニケーション他	12		
安全衛生	6S（整理、整頓、清掃、清拭、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処置	3		
造園一般	造園・庭園の概要（種類、構成、特徴、役割）、公共工事の知識	3		
施工管理概論	品質・原価・工程・安全・環境管理、造園維持の留意点	1		
能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当、訓練生）	10		
学料計 29時間				
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法	6		
造園基本実習	機械、器具の取扱い・手入れ・保管、器具・材料等の運搬、設取り、開墾工事	32		
パソコン実習	文書作成（作業日報、報告書）、表計算	18		
実技計 56時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計 85時間				
有期実習型訓練合計 425時間				
主な設備機器等				
運搬用小型自動車、パワーショベル、動力噴霧器、動力刈り払い機、動力芝刈り機、トリマー、散水機、ポータブルサンダ、コンクリート用ミキサ、ランマ、チェーンソー、各種携帯用電気工具、造園用・作業用工具類、計測器類、パソコン（ソフトウェア等）				

造園工事実践科（現場業務コース）訓練カリキュラム				
平成21年1月作成				
訓練科名（コース名）	造園工事実践科（現場業務コース）	Off-JTの実施主体	備考	
実習等（OJT）	現場準備作業	器具・材料等の運搬、設取り、工事管理	40	
	植栽実習	地ごしらえ・造成、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽、開墾工事	120	
	造園実習	石工事、園路・広場工事、造園物の施工、水景工、橋・廊・垣等の施工、開墾工事	120	
	樹木・植物管理実習	樹木の管理、地被植物・草花の管理	120	
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、植栽・造園作業に伴う安全衛生	85	
	OJT計 400時間			
	学料等（Off-JT）			
職業能力基礎講習	会社概要、会社のルール、会社理念、職業観、進路心構え、ビジネスマナー、コミュニケーション他	9		
安全衛生	6S（整理、整頓、清掃、清拭、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処置	8		
造園一般	造園・庭園の概要（種類、構成、特徴、役割）、公共工事の知識	12		
施工管理概論	品質・原価・工程・安全・環境管理、造園維持の留意点	5		
能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当、訓練生）	10		
学料計 44時間				
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法	6		
造園基本実習	機械、器具の取扱い・手入れ・保管、器具・材料等の運搬、設取り、開墾工事、 表計算・積算書作成	51		
実技計 56時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計 100時間				
有期実習型訓練合計 500時間				
主な設備機器等				
運搬用小型自動車、パワーショベル、動力噴霧器、動力刈り払い機、動力芝刈り機、トリマー、散水機、ポータブルサンダ、コンクリート用ミキサ、ランマ、チェーンソー、各種携帯用電気工具、造園用・作業用工具類、計測器類、パソコン（ソフトウェア等）				

変更 時間変更
変更 時間変更
変更 時間変更
変更 時間変更
変更 時間変更
変更 時間変更
変更 内容変更
削除

※500時間（OJT:400時間、Off-JT:100時間） 8時間/日 → 約63日

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1) 実習:2時間		学科:2時間		実技:2時間	
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2) 学科および実技:3時間			学科および実技:5時間		

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合
【活用事例3】造園工事に初めて携わる方に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練の場合

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

造園工事実践科（現場業務コース）訓練カリキュラム				
平成21年2月作成				
訓練科名（コース名）	造園工事実践科（現場業務コース）	Off-JTの実施主体	備考	
実習等（OJT）	現場準備作業	器具・材料等の運搬、設取り、工事管理	20	
	植栽実習	地ごしらえ・造成、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽、開墾工事	60	
	造園実習	石工事、園路・広場工事、造園物の施工、水景工、橋・廊・垣等の施工、開墾工事	60	
	樹木・植物管理実習	樹木の管理、地被植物・草花の管理	30	
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、植栽・造園作業に伴う安全衛生	55	
	OJT計 172時間			
	学料等（Off-JT）			
職業能力基礎講習	会社概要、会社のルール、会社理念、職業観、進路心構え、ビジネスマナー、コミュニケーション他	6		
安全衛生	6S（整理、整頓、清掃、清拭、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処置	3		
造園一般	造園・庭園の概要（種類、構成、特徴、役割）、公共工事の知識	3		
施工管理概論	品質・原価・工程・安全・環境管理、造園維持の留意点	1		
能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当、訓練生）	10		
学料計 19時間				
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法	3		
造園基本実習	機械、器具の取扱い・手入れ・保管、器具・材料等の運搬、設取り、開墾作業	21		
実技計 24時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計 43時間				
有期実習型訓練合計 215時間				
主な設備機器等				
運搬用小型自動車、パワーショベル、動力噴霧器、動力刈り払い機、動力芝刈り機、トリマー、散水機、ポータブルサンダ、コンクリート用ミキサ、ランマ、チェーンソー、各種携帯用電気工具、造園用・作業用工具類、計測器類				

※215時間（OJT:172時間、Off-JT:43時間） 8時間/日 → 約27日

造園工事実践科（現場業務コース）訓練カリキュラム				
平成20年11月作成				
訓練科名（コース名）	造園工事実践科（現場業務コース）	Off-JTの実施主体	備考	
実習等（OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、造園作業に伴う安全衛生	80	
	樹木の植栽実習	地ごしらえ・造成、樹木の植栽方法、土壌改良	80	
	草花の植栽実習	樹木に関する準備知識、植栽方法、クレーン等の適切な作業、灌水を必要とする樹木に関する知識、樹木の運搬方法	80	
	地被植物の植栽実習	地被植物の種類、地被植物の植栽設備付け時期、芝生の造成の施工方法	80	
	樹木・植物管理実習	樹木の植栽、芝生の苗木に関する知識、樹木の植栽方法、樹木の施工方法、樹木の手入れ、剪定作業	80	
	石工事	加工石の植栽、加工石に必要な機械、野面石の採掘と特性、石の扱い方の基本技法、配石方法、土かけ作業	80	
	園路・広場工事	園路・広場の積層と構成、飛石、段段の積層、飛石の施工方法、段段の施工方法	80	
	造園物の施工実習	石造造園物の種類と形状、構造物の扱い方、つばい等の配付方法、石灯籠の配付方法、その他造園物に関する知識、土かけ作業	64	
	水景工事実習	滝工事、流れ施工、池施工	64	
	開墾工事	土木工事、コンクリート工事、左官工事、工事に使用する材料の種類・性質・用途、大型造園物工事	80	
	樹木の管理実習	工事に使用する機械・道具の種類と使用方法、樹木の剪定・製法作業、除雪・灌水作業、施設の種類と使用方法、病害虫駆除作業、補植に関する知識、保護・養生に関する知識、土壌に関する知識	80	
	地被植物・草花の管理実習	地被植物の種類と特性、地被植物の維持管理方法、土壌の種類と特性、病害虫駆除の時期とその方法	80	
	OJT計 768時間			
	学料等（Off-JT）			
職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己探求）、自己評価）、ビジネスマナー、職場情報（仕事情報）	24		
安全衛生	6S（整理、整頓、清掃、清拭、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処置	4		
倫理の遵守	企業（会社）に関する知識、行動規範に関する知識、職業倫理	4		
造園・庭園文化・技術	造園の概念、造園における今日的課題、造園の様式と歴史、公園（都市公園、自然公園）	16		
環境共生	環境共生に造園が果たすべき役割、造園工事の環境影響の削減	16		
作業管理	品質管理、工程管理、環境管理、材料・器具・工具管理、記録管理	24		
設取り	安全衛生、作業設取りに関する知識、施工手順	16		
IT概論	ITリテラシー、文書作成、データ管理	8		
学料計 104時間				
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法	8		
設取り作業	安全衛生作業法、作業設取り、施工	40		
IT実習	文書作成、表計算、CAD、見積書・積算書作成	40		
実技計 88時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計 192時間				
有期実習型訓練合計 960時間				
主な設備機器等				
運搬用小型自動車、パワーショベル、動力噴霧器、動力刈り払い機、動力芝刈り機、トリマー、散水機、ポータブルサンダ、コンクリート用ミキサ、ランマ、チェーンソー、各種携帯用電気工具、造園用・作業用工具類、計測器類、パソコン（ソフトウェア等）				

※960時間（OJT:768時間、Off-JT:192時間） 8時間/日 → 約120日

造園工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策、造園作業に伴う安全衛生
0JT	実技	顧客対応実習	顧客対応、近隣対応、社内連携、営業活動、プレゼンテーション
0JT	実技	折衝提案実習	折衝関連知識と方法、造園工事関連知識、デザイン作成、工法提案
0JT	実技	現況調査実習	敷地条件の情報収集及び判断方法、現況調査
0JT	実技	計画・設計の策定実習	基本計画に関する知識、基本設計に関する知識、実施設計図書の種類と書き方、関連法規
0JT	実技	積算・見積・調達実習	見積・積算・調達関連知識、見積書・積算書作成
0JT	実技	施工関連書類作成実習	設計図書等の書類に関する知識、工法全般、道路交通法規、道路管理者や警察への届出及びその対応法
0JT	実技	自主管理実習	品質管理、原価管理、工程管理、安全管理、環境管理
0JT	実技	地ごしらえ・造成実習	測量、地ごしらえ・造成、排水の施工方法、土壌改良
0JT	実技	樹木の植栽実習	助木に関する予備知識、植栽方法、クレーン等の玉かけ作業、灌水を必要とする樹木に関する知識、樹木の運搬方法
0JT	実技	草花の植栽実習	草花の種類と特長、草花の植え付け方
0JT	実技	地被植物の植栽実習	地被植物の種類、地被植物の種類別植え付け時期、芝生の造成の施工方法
0JT	実技	柵・塀・垣根等の施工実習	垣根の種類、生垣の苗木に関する知識、垣根の施工器具、垣根の施工方法、組積工事、玉かけ作業
0JT	実技	石工事	加工石の種類、石工事に必要な器具、野面石の種類と特性、石の使い方の基本技法、配石方法、玉かけ作業
0JT	実技	園路・広場工事	園路・広場の種類と機能。飛石・延段の種類、飛石の施工方法、延段の施工方法
0JT	実技	添景物の施工実習	石造添景物の種類と形状、機工具の使い方、つくばいの据付方法、石灯笼の据付方法、その他添景物に関する知識、玉かけ作業
0JT	実技	水景工実習	滝施工、流れ施工、池施工
0JT	実技	関連工事	土木工事、コンクリート工事、左官工事、工事に使用する材料の種類・性質・用途、大型添景物工事
0JT	実技	樹木の管理実習	工事に使用する機械・道具の種類と使用方法、樹木の剪定・整枝作業、除草・灌水作業、施肥の種類と方法、病虫害駆除作業、補植に関する知識、保護・養生に関する知識、土壌に関する知識

造園工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
OJT	実技	地被植物・草花の管理実習	地被植物の種類と特性、地被植物の維持管理方法、土壌の種類と特徴、病害虫駆除の時期とその方法
Off-JT	学科	キースキル講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	倫理の遵守	企業（会社）に関する知識、行動規範に関する知識、職業倫理
Off-JT	学科	造園・庭園文化・技術	造園の概念、造園における今日的な課題、造園の様式と歴史、公園（都市公園、自然公園）
Off-JT	学科	環境共生	環境共生に造園が果たすべき役割、造園工事の環境影響の削減
Off-JT	学科	営業活動と管理	営業計画関連知識、営業活動関連知識、造園工事関連知識
Off-JT	学科	諸官庁届出書類作成	官公庁届出必要書類、届出時期、届出書作成、電子登録（CALS、CORINS）
Off-JT	学科	段取り	安全衛生、作業段取りに関する知識、作業員の配置、施工手順、関連他工事との連携
Off-JT	学科	IT概論	ITリテラシー、文書作成、データ管理
Off-JT	学科	作業管理	品質管理、工程管理、環境管理、材料・器具・工具管理、近隣対応
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、安全管理、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	諸官庁届出書類作成実習	官公庁届出必要書類の作成及び届出時期、図面作成、電子登録（CALS、CORINS）作業
Off-JT	実技	段取り作業	安全衛生作業法、作業段取り、稼働率・作業効率、施工
Off-JT	実技	IT実習	文書作成、表計算、CAD、見積書・積算書作成

③ 電気通信工事業

◆ 作成ガイドライン

- (1) 電気通信工事業においては、大きく電気設備工事を主体とする事業所と電気通信設備工事を主体とする事業所の2種類の事業所があるため、現場主導型コースと研修主導型コースの2種類のモデルカリキュラムを作成していること。
- (2) 現場主導型コースは、電気設備工事主体の事業所向けに以下の内容を加味してカリキュラムを作成していること。
 - ① O f f – J Tの教科に、現場におけるO J Tの受講に必要となる資格取得（「高所作業者の運転の業務に係る特別教育」、「酸素欠乏危険作業特別教育（第1種・第2種）」）の教科目を設定していること
 - ② O J T実施前に各施工における作業を意識して設定していること。
- (3) 研修主導型コースは、電気通信工事主体の事業所向けに以下の内容を加味してモデルカリキュラムを作成していること。
 - ① 電気通信設備の施工は、有資格者のみが従事できることから、資格取得を目的とした科目を設定し、O f f – J Tの割合を総訓練時間の8割としていること
 - ② O f f – J Tの教科に、現場主導型コースと同様、現場におけるO J Tの受講に必要となる資格取得（特別教育）の教科目を設定していること。

電気通信工事实践科（研修主導型コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	電気通信工事实践科 (研修主導型コース)	就職 の 職務	電気通信設備施工
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、電気通信工事における各種施工作业に必要な知識や技能を習得する。		
仕上がり像	電気通信設備の基本的な施工作业ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：85時間 Off-JT：340時間）			

電気通信工事実践科（研修主導型コース）訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		電気通信工事実践科（研修主導型コース）			Off-JTの実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容 座学等（Off-JT）	実習等（OJT）	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	/		
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	他実習に包含			
		通信用メタルケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、通信用メタルケーブル施工	21			
		光ケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、光ケーブル施工	21			
		ネットワーク施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、ネットワーク施工	21			
		SE作業管理実習	品質・工程維持、施工態度、SE作業準備、SE作業管理	22			
	OJT計				85時間		
	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針	6	（外部研修機関）		
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理	3			
		電気通信工事作業の基本知識	基本的な諸法令・規則等、基本的な用語および材料や器具・工具・測定器の名称と用途、作業の流れ、作業の注意事項、材料の品質基準等	3			
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10				
学科計				22時間			
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、救急法	6	（外部研修機関）			
	通信用メタルケーブル施工実習	通信用メタルケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等	54				
	光ケーブル施工実習	光ケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等	60				
	ネットワーク施工実習	ネットワーク施工、施工に必要な資格取得講習等	60				
	SE作業管理実習	SE作業、SE作業に必要な資格取得講習等	60				
	その他電気通信工事業に必要な資格取得実習	その他電気通信工事に必要な資格取得講習等	60				
	電気通信工事に係る特別教育	高所作業車の運転の業務に係る特別教育、酸素欠乏危険作業特別教育（第1種・第2種）	18				
実技計				318時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計				340時間			
有期実習型訓練合計				425時間			
主な設備機器等		融着接続器、光パルス試験器、各種測定器類、各種専用工具類、各種専用治具、パソコン（各種ソフトウェア含）					

電気通信工事实践科（研修主導型コース）訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		電気通信工事实践科（研修主導型コース）					
職務名又は教科名		H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	通信用メタルケーブル施工作业						
	光ケーブル施工作业						
	ネットワーク施工作业						
	SE作業管理実習						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		電気通信工事作業の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	通信用メタルケーブル施工実習						
	光ケーブル施工実習						
	ネットワーク施工実習						
	SE作業管理実習						
	その他電気通信工事業に必要な資格取得実習						
	電気通信工事に係る特別教育						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

電気通信工事実践科（現場主導型コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	電気通信工事実践科 (現場主導型コース)	就職 の 職務	電気通信設備施工
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、電気通信工事における各種施工作業に必要な知識や技能を習得する。		
仕上がり像	電気通信設備の基本的な施工作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

電気通信工事実践科（現場主導型コース）訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		電気通信工事実践科（現場主導型コース）		Off-JTの実施主体	備考	
	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間			
有期実習型訓練の内容 座学等（Off-JT）	実習等 （OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	他実習に包含		
		通信用メタルケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、通信用メタルケーブル施工	90		
		光ケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、光ケーブル施工	90		
		ネットワーク施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、ネットワーク施工	80		
		SE作業管理実習	品質・工程維持、施工態度、SE作業準備、SE作業管理	80		
	OJT計			340時間		
	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針	6		
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理	3		
		電気通信工工作業の基本知識	基本的な諸法令・規則等、基本的な用語および材料や器具・工具・測定器の名称と用途、作業の流れ、作業の注意事項、材料の品質基準等、工法、材料の分別保管、器具・工具・計測器の整理整頓	6		
		電気通信の専門知識	通信用メタルケーブル（ケーブルの種類、施工方法、測定の流れ）、光ケーブル（ケーブルの種類、接続および施工方法、測定の流れ）、ネットワーク配線（無線LANの種類、配線作業、測定の流れ）	12		
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10		
	学科計			37時間		
	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6		
		電気通信工事基本実習	材料・器具・工具・測定器の識別と準備方法、通信用メタルケーブル（接続方法、配線方法、成端方法、測定試験の方法）、光ケーブル（光ファイバの取扱い、接続方法、配線方法、測定試験の方法）、ネットワーク配線（無線LAN配線作業、測定試験の方法）	24		
		電気通信工事必須実習	高所作業車の運転の業務に係る特別教育、酸素欠乏危険作業特別教育（第1種・第2種）	18		（指定講習機関）
実技計			48時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間		
有期実習型訓練合計				425時間		
主な設備機器等	融着接続器、光パルス試験器、各種測定器類、各種専用工具類、各種専用治具、パソコン（各種ソフトウェア含）					

電気通信工事実践科（現場主導型コース）訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		電気通信工事実践科（現場主導型コース）					
	職務名又は教科名	H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
		実習等 (OJT)	安全衛生作業				
	通信用メタルケーブル施工作业						
	光ケーブル施工作业						
	ネットワーク施工作业						
	SE作業管理実習						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		電気通信工事作業の基本知識					
		電気通信の専門知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	電気通信工事基本実習						
	電気通信工事必須実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●現場主導型モデルカリキュラム 6か月訓練・425時間

電気通信工事実践科（現場主導型コース）訓練カリキュラム 平成21年1月作成			
訓練科名（コース名）	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間
実習等（OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	90
	通信用メタルケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、通信用メタルケーブル施工	90
	光ケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、光ケーブル施工	80
	ネットワーク施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、ネットワーク施工	80
	S/E作業管理実習	品質・工程維持、施工態度、S/E作業準備、S/E作業管理	80
OJT計			340時間
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場環境（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針	6
	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全確保や危険物の性能及び取扱い、健康管理、救急処置	3
	電気通信工事作業の基本知識	基本的な用語・略称等、基本的な用語および材料や器具・工具・測定器の名称と用途、作業の流れ、作業の注意事項、材料の品質基準等、工法、材料の分別保管、器具・工具・計測器の取り扱い	6
	電気通信の専門知識	通信用メタルケーブル（ケーブルの種類、施工方法、測定の流れ）、光ケーブル（ケーブルの種類、接続および施工方法、測定の流れ）、ネットワーク配線（無難LANの種類、配線作業、測定の流れ）	12
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10
学 科 計			37時間
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実習、救急法	6
	電気通信工事基本実習	材料・器具・工具・測定器の識別と準備方法、通信用メタルケーブル（種類方法、配線方法、成端方法、測定試験の方法）、光ケーブル（先ファイバの取扱い、接続方法、配線方法、測定試験の方法）、ネットワーク配線（無難LAN配線作業、測定試験の方法）	24
	電気通信工事必須実習	高所作業の運転の要領に係る特別教育、電気火災危険作業特別教育（第1種・第2種）	18
実 技 計			48時間
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間
有期実習型訓練合計			425時間
主な設備機器等		離着陸機、光パルス試験器、各種測定器類、各種専用工具類、各種専用治具、パソコン（各種ソフトウェア等）	

【活用事例1】経験の無い方に電気通信工事の基本的な知識や技能および運動習慣を身につけさせる訓練の場合

電気通信工事実践科（現場主導型コース）訓練カリキュラム 平成21年1月作成			
訓練科名（コース名）	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間
実習等（OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	210
	通信用メタルケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、通信用メタルケーブル施工、光ケーブル施工	210
	光ケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、光ケーブル施工	190
	ネットワーク施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、ネットワーク施工	190
	S/E作業管理実習	品質・工程維持、施工態度、S/E作業準備、S/E作業管理	190
OJT計			400時間
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場環境（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針	6
	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全確保や危険物の性能及び取扱い、健康管理、救急処置	3
	電気通信工事作業の基本知識	基本的な用語・略称等、基本的な用語および材料や器具・工具・測定器の名称と用途、作業の流れ、作業の注意事項、材料の品質基準等、工法、材料の分別保管、器具・工具・計測器の取り扱い	6
	電気通信の専門知識	通信用メタルケーブル（ケーブルの種類、施工方法、測定の流れ）、光ケーブル（ケーブルの種類、接続および施工方法、測定の流れ）、ネットワーク配線（無難LANの種類、配線作業、測定の流れ）	12
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10
学 科 計			37時間
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実習、救急法	6
	電気通信工事基本実習	材料・器具・工具・測定器の識別と準備方法、通信用メタルケーブル（種類方法、配線方法、成端方法、測定試験の方法）、光ケーブル（先ファイバの取扱い、接続方法、配線方法、測定試験の方法）、ネットワーク配線（無難LAN配線作業、測定試験の方法）	24
	電気通信工事必須実習	高所作業の運転の要領に係る特別教育、電気火災危険作業特別教育（第1種・第2種）	18
実 技 計			63時間
Off-JT（教育訓練機関）小計			100時間
有期実習型訓練合計			500時間
主な設備機器等		離着陸機、光パルス試験器、各種測定器類、各種専用工具類、各種専用治具、パソコン（各種ソフトウェア等）	

※500時間（OJT:400時間、Off-JT:100時間） 8時間/日 → 約63日

●研修主導型モデルカリキュラム 6か月訓練・425時間

電気通信工事実践科（現場主導型コース）訓練カリキュラム 平成21年1月作成			
訓練科名（コース名）	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間
実習等（OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	21
	通信用メタルケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、通信用メタルケーブル施工	21
	光ケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、光ケーブル施工	21
	ネットワーク施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、ネットワーク施工	21
	S/E作業管理実習	品質・工程維持、施工態度、S/E作業準備、S/E作業管理	22
OJT計			85時間
学 科	職業能力基礎講習（キースキル講習）	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場環境（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針	6
	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全確保や危険物の性能及び取扱い、健康管理、救急処置	3
	電気通信工事作業の基本知識	基本的な用語・略称等、基本的な用語および材料や器具・工具・測定器の名称と用途、作業の流れ、作業の注意事項、材料の品質基準等、工法、材料の分別保管、器具・工具・計測器の取り扱い	6
	電気通信の専門知識	通信用メタルケーブル（ケーブルの種類、施工方法、測定の流れ）、光ケーブル（ケーブルの種類、接続および施工方法、測定の流れ）、ネットワーク配線（無難LANの種類、配線作業、測定の流れ）	12
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10
学 科 計			22時間
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、救急法	6
	通信用メタルケーブル施工実習	通信用メタルケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等	54
	光ケーブル施工実習	光ケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等	60
	ネットワーク施工実習	ネットワーク施工、施工に必要な資格取得講習等	60
	S/E作業管理実習	S/E作業、S/E作業に必要な資格取得講習等	60
その他電気通信工事に必要な資格取得実習			60
電気通信工事に係る特別教育			18
実 技 計			318時間
Off-JT（教育訓練機関）小計			240時間
有期実習型訓練合計			425時間
主な設備機器等		離着陸機、光パルス試験器、各種測定器類、各種専用工具類、各種専用治具、パソコン（各種ソフトウェア等）	

※425時間（OJT:85時間、Off-JT:340時間） 8時間/日 → 約54日

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1) 学 科:2時間		実 技:2時間			
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2) 学 科および実 技:3時間			学 科および実 技:5時間		

【活用事例2】ある程度の知識や経験を有する方に運動習慣や技能を確認させ、より早く現場復帰させるための訓練の場合

電気通信工事実践科（現場主導型コース）訓練カリキュラム 平成21年1月作成				
訓練科名（コース名）	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	
実習等（OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	50	
	通信用メタルケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、通信用メタルケーブル施工	40	
	光ケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、光ケーブル施工	40	
	ネットワーク施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、ネットワーク施工	40	
	S/E作業管理実習	品質・工程維持、施工態度、S/E作業準備、S/E作業管理	42	
OJT計			172時間	
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場環境（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針、電気通信工事作業の基本知識、経営方針	6	
	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全確保や危険物の性能及び取扱い、健康管理、救急処置	3	
	電気通信の専門知識	通信用メタルケーブル（ケーブルの種類、施工方法、測定の流れ）、光ケーブル（ケーブルの種類、接続および施工方法、測定の流れ）、ネットワーク配線（無難LANの種類、配線作業、測定の流れ）	10	
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10	
	学 科 計			19時間
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実習、救急法	3	
	電気通信工事基本実習	材料・器具・工具・測定器の識別と準備方法、通信用メタルケーブル（種類方法、配線方法、成端方法、測定試験の方法）、光ケーブル（先ファイバの取扱い、接続方法、配線方法、測定試験の方法）、ネットワーク配線（無難LAN配線作業、測定試験の方法）	3	
	電気通信工事必須実習	高所作業の運転の要領に係る特別教育、電気火災危険作業特別教育（第1種・第2種）	18	
	実 技 計			24時間
	Off-JT（教育訓練機関）小計			43時間
有期実習型訓練合計			215時間	
主な設備機器等		離着陸機、光パルス試験器、各種測定器類、各種専用工具類、各種専用治具、パソコン（各種ソフトウェア等）		

※215時間（OJT:172時間、Off-JT:43時間） 8時間/日 → 約27日

補 足

- ※有期実習型訓練の訓練基準
- ・6か月訓練の総時間数425時間以上（3ヶ月訓練では215時間以上）
- ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割～2割の範囲

電気通信工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
OJT	実技	S E 作業管理実習	施工態度・施工マナーの実践、基本的なS E 作業の実施、品質・工程維持の状況理解、品質作業の遵守、工程作業の見極めの方法理解、安全作業の遵守、使用機器類の整理・整頓
OJT	実技	S E 作業管理実習	品質・工程維持、施工態度、S E 作業準備、S E 作業管理
OJT	実技	S E 作業準備実習	施工態度・施工マナーの実践、作業内容の確認と役割の確認、道具・作業向け機器類の数流確認と準備、注意事項の確認
OJT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
OJT	実技	作業準備に向けた知識	作業の準備、器具・工具・材料等の数量確認
OJT	実技	通信用メタルケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、通信用メタルケーブル施工
OJT	実技	通信用メタルケーブル施工実習	施工態度・施工マナーの実践、品質・工程維持の状況理解、指示内容の理解と施工補助（通信用メタルケーブルの配線施工、通信用メタルケーブル施工時の測定試験）
OJT	実技	ネットワーク施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、ネットワーク施工
OJT	実技	ネットワーク施工実習	施工態度・施工マナーの実践、品質・工程維持の状況理解、指示内容の理解と施工補助（ネットワークの配線施工、ネットワーク施工時の測定試験）
OJT	実技	光ケーブル施工作業	作業準備、品質・工程維持、施工態度、光ケーブル施工
OJT	実技	光ケーブル施工実習	施工態度・施工マナーの実践、品質・工程維持の状況理解、指示内容の理解と施工補助（光ケーブルの配線施工、光ケーブル施工時の測定試験）
OJT	実技	品質や工程維持のための知識	基本作業の実施、材料・器具・工具の点検、材料等の区分（分別）と保管、安全作業の遵守、作業内容と役割の理解
Off-JT	学科	S E 作業概論	作業の用語と道具の名称と用途、作業における役割、ソフトウェアに関する専門知識、ハードウェアに関する専門知識
Off-JT	学科	S E 作業準備に向けた知識	ソフトウェアに関する知識（ネットワーク・データベースに関わる知識、OSに関わる知識、プログラミング言語に関する知識、ネットワーク環境に関する知識、個人情報保護、セキュリティに関する知識） ハードウェアに関する知識（情報通信ネットワーク原理に関わる知識、インターネット通信方式の原理用途に関わる知識、情報配線方式の種類に関する知識、LANに関わる知識、配線関連規格に関わる知識、情報配線システムの構成機器に関する知識、配線設計に関する知識、配線設計の要件に関する知識、メタルケーブルに関する知識）
Off-JT	学科	安全衛生	5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	作業準備に向けた知識	作業段取り（電気通信作業手順書、収集すべき情報、工程表・作業手順書の読解、現場作業に必要な準備内容の理解、地域協定等の周知内容の理解）、作業関連の知識（作業の不具合に関する事例、新工法、作業改善事例）
Off-JT	学科	作業準備に向けた知識	施工の用語や器具・工具・材料の名称と用途、作業と作業段取りの理解（電気通信作業手順書の要点、工程表・作業手順書の読解要点）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習（キースキル講習）	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針
Off-JT	学科	電気通信工事概論（専門知識）	ソフトウェアに関する知識（ネットワーク・データベースに関わる知識、OSに関わる知識、プログラミング言語に関する知識、ネットワーク環境に関する知識、個人情報保護、セキュリティに関する知識） ハードウェアに関する知識（情報通信ネットワーク原理に関わる知識、インターネット通信方式の原理用途に関わる知識、情報配線方式の種類に関する知識、LANに関わる知識、配線関連規格に関わる知識、情報配線システムの構成機器に関する知識、配線設計に関する知識、配線設計の要件に関する知識、メタルケーブルに関する知識）
Off-JT	学科	電気通信工事業の概要	企業理念・経営方針・社是・社訓等の理解、諸法令・規則の概要、作業現場のルールとマナー、業務担当マニュアルの理解、守秘義務の基本知識、行動規範の基本、環境保全への取り組み理念
Off-JT	学科	電気通信工事業のコンプライアンス概要	組織のコンプライアンス（企業理念、経営方針、社是、社訓、行動指針、倫理憲法、倫理要綱、倫理規定、就業規則、関連諸規定、業務担当マニュアル、マナー）、コンプライアンスマネジメントの知識（リスクアセスメント、組織体制、違反に対する連絡体制、コンプライアンス教育）、関連法規（企業に関わる法規、社会性に関わる法規、営業関連の法規、構築物に関する法規、現場経営に関する法規）

電気通信工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	学科	電気通信工事作業の基本知識	基本的な諸法令・規則等、基本的な用語および材料や器具・工具・測定器の名称と用途、作業の流れ、作業の注意事項、材料の品質基準等、工法、材料の分別保管、器具・工具・計測器の整理整頓
Off-JT	学科	電気通信工事に関連する専門知識	ソフトウェアに関する知識（ネットワーク・データベースに関わる知識、OSに関わる知識、プログラミング言語に関する知識、ネットワーク環境に関する知識、個人情報保護、セキュリティに関する知識） ハードウェアに関する知識（情報通信ネットワーク原理に関わる知識、インターネット通信方式の原理用途に関わる知識、情報配線方式の種類に関する知識、LANに関わる知識、配線関連規格に関わる知識、情報配線システムの構成機器に関する知識、配線設計に関する知識、配線設計の要件に関する知識、メタルケーブルに関する知識）
Off-JT	学科	電気通信の専門知識	通信用メタルケーブル（ケーブルの種類、施工方法、測定の流れ）、光ケーブル（ケーブルの種類、接続および施工方法、測定の流れ）、ネットワーク配線（無線LANの種類、配線作業、測定の流れ）
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）
Off-JT	学科	品質や工程維持のための知識	元請、下請けの役割分担、品質基準の要点理解、器具・工具・材料の適切な保管方法の理解、作業環境の整理整頓・片付け
Off-JT	実技	OJT補完実習 （〇〇研修センター）	SE作業、SE作業に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	OJT補完実習 （〇〇研修センター）	その他電気通信工事に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	OJT補完実習 （〇〇研修センター）	通信メタルケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	OJT補完実習 （〇〇研修センター）	ネットワーク施工、施工に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	OJT補完実習 （〇〇研修センター）	光ケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	SE作業	SE作業準備、SE作業管理
Off-JT	実技	SE作業確認演習	作業内容の確認、安全活動方法の確認、道具・作業向け機器類の準備、作業の流れと役割確認および疑問点の解消
Off-JT	実技	SE作業準備確認演習	作業内容の確認、安全活動方法の確認、道具・作業向け機器類の準備、作業の流れと役割確認および疑問点の解消、周辺環境の確認、注意事項の確認
Off-JT	実技	SE作業管理実習	SE作業、SE作業に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、救急法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	作業準備確認演習	作業段取り演習（電気通信作業手順の理解、収集すべき情報の準備、現場作業に必要な準備、地域協定等の周知内容の理解）
Off-JT	実技	作業準備に向けた知識	作業と作業段取りの理解、器具・工具の使い方、施工方法の確認
Off-JT	実技	その他電気通信工事業に必要な資格取得実習	その他電気通信工事に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	電気通信工事関連基礎実習	ソフトウェアに関する基礎実習（ネットワーク・データベースに、OS、プログラミング言語、ネットワーク環境等に関わる演習及び実習） ハードウェアに関する知識（情報通信ネットワークの原理、インターネット通信方式の原理や用途、情報配線方式の種類、LAN、配線設計の要領の理解、メタルケーブル等材料の理解等）に関わる演習及び実習
Off-JT	実技	電気通信工事基礎実習	各種ケーブルの種類と接続方法及び測定器・試験器の取扱い、通信用メタルケーブル施工、光ケーブル施工、ネットワーク施工、保守・運用
Off-JT	実技	電気通信工事基本実習	材料・器具・工具・測定器の識別と準備方法、通信用メタルケーブル（接続方法、配線方法、成端方法、測定試験の方法）、光ケーブル（光ファイバの取扱い、接続方法、配線方法、測定試験の方法）、ネットワーク配線（無線LAN配線作業、測定試験の方法）
Off-JT	実技	電気通信工事に係る特別教育	高所作業車の運転の業務に係る特別教育、酸素欠乏危険作業特別教育（第1種・第2種）
Off-JT	実技	電気通信工事に関連基礎実習	ソフトウェアに関する基礎実習（ネットワーク・データベース、OS、プログラミング言語、ネットワーク環境等）に関わる演習及び実習 ハードウェアに関する知識（情報通信ネットワークの原理、インターネット通信方式の原理や用途、情報配線方式の種類、LAN、配線設計の要領の理解、メタルケーブル等材料の理解等）に関わる演習及び実習

電気通信工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	実技	電気通信工事必須実習	高所作業車の運転の業務に係る特別教育、酸素欠乏危険作業特別教育（第1種・第2種）
Off-JT	実技	品質・工程維持演習	作業段取りの確認（電気通信作業手順書、工程表・作業手順書の読解）、作業関連の知識（作業の不具合に関する事例、新工法、作業改善事例）
Off-JT	実技	光ケーブル施工実習	光ケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等
Off-JT	実技	通信用メタルケーブル施工実習	通信メタルケーブル施工、施工に必要な資格取得講習等

④ 鉄筋工事業

◆ 作成ガイドライン

- (1) 鉄筋工事業の施工技能においては、加工場での鉄筋加工業務と現場での鉄筋組立業務があり、それぞれの業務が部署によって分かれている事業所と1つの部署で両業務をおこなう事業所がある。そのため、施工技能においては、鉄筋加工と鉄筋組立についてモデルカリキュラムを作成していること。
- (2) 鉄筋工事業においては、カンやコツが重要であるが、工程管理等の業務においては論理的な考え方や仕事の進め方などが重要であることから、特に施工管理に関するコースを作成していること。

鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	鉄筋工事実践科 (鉄筋加工作業コース)	就職 の 職務	鉄筋加工作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、鉄筋加工について、職場のルールとともに作業打合せ及び職長（現場管理職）等の指示を理解し、場内・場外の加工場での基本的な加工作業等を安全に行うことができる知識と技能を習得する。		
仕上がり像	鉄筋工事の作業段取りを理解し、材料加工の補助を安全に行うことができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

鉄筋工事实践科（鉄筋加工作業コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事实践科（鉄筋加工作業コース）			Off-JTの実施主体	備考	
	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間				
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	実習に 包含	/		
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	160			
		鉄筋加工作業	段取り作業、加工態度、鉄筋加工	180			
		OJT計					340時間
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	12	/	
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	6		
			鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳（絵符）、鉄筋組立作業の手順	6		
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
			学科計				
	実技	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全に留意した作業機械の操作方法	7	(指定講習機関)	受講させる 技能講習お よび特別教 育により時 間の変更が 必要です
			作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、分別保管の方法、運搬、整理整頓	6		
			鉄筋加工基本実習	切断作業・曲げ加工作業の方法、整理整頓	8		
			安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習（玉掛け等）、労働安全衛生法に基づく特別教育（クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等）	30		
			実技計				
	Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間	/	
有期実習型訓練合計				425時間	/		
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、鉄筋工事用工具類、計測器類					

鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）訓練計画予定表

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	作業管理実習						
	鉄筋加工作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	作業管理基本実習						
	鉄筋加工基本実習						
	安全衛生基礎実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	鉄筋工事实践科 (鉄筋工事施工管理コース)	就職 の 職務	鉄筋施工計画及び施工管理
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、鉄筋工事に関わる施工管理や計画における各種業務の準備作業を通じて、鉄筋工事全般についての計画・管理に関する基本的な知識や行動規範を習得する。		
仕上がり像	職長や先輩等の指示に基づいて各種資料準備を行うことができ、施工管理の基本的内容を理解し、率先して行動する姿勢を体得することができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）			Off-JTの実 施主体	備考	
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間				
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持、安全作業の点検	実習に 包含	/		
		施工管理実習	見積作成、実行予算作成、自主検査	160			
		鉄筋施工計画作成作業	鉄筋施工計画書類作成、打ち合わせ	80			
		自主管理作業	現場巡回、現場作業の確認、連絡・報告・相談の実践、鉄筋材料の検収・搬入・保管	100			
	OJT計				340時間		
	座学等 (Off-JT)	学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	15	/	
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	9		
			施工管理の基本知識	安全管理、品質管理、原価管理、関連法令の知識	6		
			鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器工具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳（絵符）、鉄筋組立作業の手順	3		
			鉄筋施工計画の基本知識	受注から引渡しまでの流れ、歩掛り、安全書類及び必要書類	3		
自主管理の基本知識			設計図書とその見方、仕様書、工程表、作業標準、作業安全指示書、品質管理基準、鉄筋材の検収の流れ	6			
能力評価			オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10			
学科計				52時間			
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法、KY活動	6	/			
	施工管理実習	必要書類の手配と作成方法、見積作成、実行予算作成、歩掛りの考え方、自主検査について	15				
	自主管理実習	安全作業点検方法、現場作業の確認要領、現場作業の進捗確認要領、自主検査の要領	12				
実技計				33時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間			
有期実習型訓練合計				425時間			
主な設備機器		製図器、製図用具類、パソコン、営業ツール					

鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）訓練計画予定表

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	施工管理実習						
	鉄筋施工計画作成作業						
	自主管理作業						
座学等 (Off-JT)	学 科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		施工管理の基本知識					
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識					
		鉄筋施工計画の基本知識					
		自主管理の基本知識					
	能力評価						
実 技	安全衛生作業						
	施工管理実習						
	自主管理実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	鉄筋工事実践科 (鉄筋組立作業コース)	就職 の 職務	鉄筋組立作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、鉄筋組立について、現場のルールとともに作業打合せ及び職長（現場管理職）等の指示を理解し、作業工程における建設現場の作業手順に従い施工作业を安全に行うことができる知識と技能を習得する。		
仕上がり像	鉄筋材料の施工段取り及び組立作業を安全に行うことができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）			Off-JTの実施主体	備考
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間			
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	実習に包含	/	
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	160		
		鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立	180		
		OJT計				
	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	12	/	
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	6		
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳（絵符）、鉄筋組立作業の手順	6		
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
	学科計			34時間	/	
	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法	7		
作業管理基本実習		鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4			
鉄筋組立基本実習		鉄筋組立作業の方法、整理整頓	10			
安全衛生基礎実習		労働安全衛生法に基づく技能講習（玉掛け等）、労働安全衛生法に基づく特別教育（クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等）	30			
実技計			51時間	(指定講習機関)	受講させる技能講習および特別教育により時間の変更が必要	
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間	/	
有期実習型訓練合計				425時間		
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、ガス圧接機、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類				

鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）訓練計画予定表

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）					
		H○年 ○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	職務名又は教科名						
	安全衛生作業						
	作業管理実習						
	鉄筋組立作業						
座学等 (Off-JT)	学科						
	職業能力基礎講習						
	安全衛生						
	鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識						
	能力評価						
実技	安全衛生作業						
	作業管理基本実習						
	鉄筋組立基本実習						
	安全衛生基礎実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】 経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	160	OJT計 340時間	美習に相当
	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	160		
	鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立	180		
学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規範、就業規則、経営理念	12	学科計 34時間	有期実習型訓練の内容
	安全衛生	5S(整理・整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	6		
	鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・加工器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工機(給棒)、鉄筋組立作業の手順	6		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10		
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法	7	実技計 51時間	有期実習型訓練の内容
	作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4		
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	10		
	安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習(玉掛け等)、労働安全衛生法に基づく特別教育(クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等)	30		
Off-JT(教育訓練機関)小計 85時間					有期実習型訓練合計 425時間
実技計 51時間					
主な設備機器 鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、積重機、ガス圧接機、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類					

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	160	OJT計 400時間	美習に相当
	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓、 作業取り	160		
	鉄筋組立作業	組立段取り作業、鉄筋組立、 態度、整頓	240		
学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規範、就業規則、 経営理念、安全衛生	26	学科計 40時間	有期実習型訓練の内容
	安全衛生	5S(整理・整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理	6		
	鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・加工器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工機(給棒)、鉄筋組立作業の手順	4		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10		
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法	7	実技計 60時間	有期実習型訓練の内容
	作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4		
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	23		
	安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習(玉掛け等)、労働安全衛生法に基づく特別教育(クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等)	30		
Off-JT(教育訓練機関)小計 100時間					有期実習型訓練合計 500時間
実技計 60時間					
主な設備機器 鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、積重機、ガス圧接機、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類					

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1) 学科:2時間		実技:2時間			
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2) 学科および実技:3時間			学科および実技:5時間		

訓練期間を3ヶ月で計画した場合
 【活用事例2】 経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	144	OJT計 172時間	美習に相当
	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	52		
	鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立	120		
学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規範、就業規則、経営理念、鉄筋組立作業の基本知識	12	学科計 25時間	有期実習型訓練の内容
	安全衛生	5S(整理・整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理	3		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10		
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法、KY活動、健康管理(健康診断の受診)、救急処置、安全防具の正しい着用方法	6		
実技	作業管理基本実習	鉄筋材料の識別と分別保管の方法、運搬、整理整頓	6	実技計 18時間	有期実習型訓練の内容
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	6		
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	6		
Off-JT(教育訓練機関)小計 43時間					有期実習型訓練合計 215時間
実技計 18時間					
主な設備機器 工事用リフト、コンクリートミキサ、ランマ、バイブレータ、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、ガス圧接機、携帯用電気丸のこ、携帯用電気かんざ、電気ドリル、電気ハンマ、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類					

※助成金受給の条件
 ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
 ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割~2割の範囲

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合
 【活用事例3】 学卒者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	144	OJT計 768時間	美習に相当
	鉄筋組立準備作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の点検整備と準備	144		
	鉄筋材料分別保管作業(作業取り)	現場のマナー、器具・工具類の片付け、整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬	152		
学科	研習作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け、整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業	152	学科計 768時間	有期実習型訓練の内容
	運搬作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業による場内運搬作業	160		
	鉄筋組立作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け、整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋組立手順の理解	160		
	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規範、就業規則、経営理念	24		
実技	安全衛生	5S(整理・整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理	8	実技計 88時間	有期実習型訓練の内容
	作業段取り概論(組立基礎知識)	鉄筋組立作業にかかわる用語、材料、器具、工具、機械等の名称と用途、研習作業の手順、場内運搬作業の手順、配筋図の見方	30		
	施工概論	現場制約の遵守、新規入場者教育および退出し教育の遵守、安全の確保等の遵守、挨拶の励み、報告・相談・連絡の重要性	16		
	鉄筋加工作業概論	作業段取りの工夫と作業効率の重要性、法令および諸規定の概要	16		
実技	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10	実技計 88時間	有期実習型訓練の内容
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法、KY活動、健康管理(健康診断の受診)、救急処置、安全防具の正しい着用方法	8		
	鉄筋組立準備作業	作業進捗目標の設定要領の確認、道具や材料の準備要領の確認、器具・工具類の点検整備と準備の要領の確認	40		
実技	鉄筋組立作業	作業内容の理解と確認等の要領、職長・先輩等からの指示内容理解等の要領、あいばん作業の要領、器具・工具・機械等の取扱い方法、配筋図の見方の要領、研習作業の要領、場内運搬作業の手順の要領	40	実技計 88時間	有期実習型訓練合計 960時間
	鉄筋組立作業	作業内容の理解と確認等の要領、職長・先輩等からの指示内容理解等の要領、あいばん作業の要領、器具・工具・機械等の取扱い方法、配筋図の見方の要領、研習作業の要領、場内運搬作業の手順の要領	40		
Off-JT(教育訓練機関)小計 192時間					有期実習型訓練合計 960時間
実技計 88時間					
主な設備機器 工事用リフト、コンクリートミキサ、ランマ、バイブレータ、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、ガス圧接機、携帯用電気丸のこ、携帯用電気かんざ、電気ドリル、電気ハンマ、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類					

※960時間(OJT:768時間、Off-JT:192時間) 8時間/日 → 約120日

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持、安全作業の点検
0JT	実技	運搬作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業による場内運搬作業
0JT	実技	運搬作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業による場内運搬作業
0JT	実技	営業活動・顧客管理実習	マナー、営業話法、営業日報の作成、設計図書の理解、鉄筋組立工法の確認、顧客（元請、発注者）ニーズの理解、顧客等に対する対応
0JT	実技	営業実習	営業活動、顧客管理、見積作成
0JT	実技	組立作業実践	施工態度（マナー）、材料の運搬、鉄筋組立補助（主筋、配力筋、補強筋、組立筋等に関わる作業補助、組立に関する継手や定着、かぶり厚、スベーサ位置、結束方法）、機械および工具の取扱い、作業効率を考えた材料・工具等の配置、現場の作業安全（現場のルール）
0JT	実技	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓
0JT	実技	作業段取り実習	施工態度（マナー）、安全衛生（材料・器具・工具・機械等の取扱い方法、安全装置や保護具の取扱い方法）、事前の情報収集（足場・仮置ヤードの大きさ・揚重機等）
0JT	実技	作業段取り実践	施工態度（マナー）、安全衛生（材料・器具・工具・機械等の取扱い方法、安全装置や保護具の取扱い方法）、事前の情報収集（足場・仮置ヤードの大きさ・揚重機等）、鉄筋作業の補助（配筋図の符号の理解、鉄筋の組立手順の理解）、鉄筋組立技能の習得（社内作業手順書、マニュアル等）
0JT	実技	自主管理作業	現場巡回、現場作業の確認、連絡・報告・相談の実践、鉄筋材料の検収・搬入・保管
0JT	実技	自主管理実習	現場巡回、健康診断受診、仕事の内容の理解、作業安全指示書の理解、現場作業の確認、連絡・報告・相談の実践、現場作業の進捗確認、鉄筋材料の検収・搬入・保管
0JT	実技	鉄筋加工作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備
0JT	実技	鉄筋加工作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業補助、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋加工作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業補助、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋加工作業	段取り作業、施工態度、鉄筋加工
0JT	実技	鉄筋加工作業実習	施工態度（マナー）、材料の運搬、加工補助（鉄筋の折り曲げ基準と加工方法、鉄筋加工、絵符の読解）、機械および工具の取扱い（鉄筋加工設備の使用法）、作業効率を考えた材料・工具等の配置
0JT	実技	鉄筋加工準備作業	鉄筋工事業界のルール、加工現場のルール、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋加工準備作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業補助、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋組立作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋組立手順の理解

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	鉄筋組立作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋組立手順の理解
0JT	実技	鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立
0JT	実技	鉄筋組立準備作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備
0JT	実技	鉄筋組立準備作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業	加工現場のマナー、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業 (作業段取り)	現場のマナー、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業 (作業段取り)	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業 (作業段取り)	現場のマナー、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋施工計画書類作成実習	仮設計書の把握、作業方法の理解、パソコンの活用、正確な情報伝達、必要書類の手配・作成
0JT	実技	鉄筋切断・折り曲げ加工実習	鉄筋工事業界のルール、加工現場のルール、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業および補助作業
0JT	実技	鉄筋切断・折り曲げ加工実習	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業および補助作業
0JT	実技	荷受作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業
0JT	実技	荷受作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業
0JT	実技	見積作成実習	現場踏査への参加、条件の明確化作業、打合せ内容の聞き取り、設計図面や躯体構造図の読解、数量の拾い出し要領、定型的数量の拾い出し作業と書類作成
0JT	実技	鉄筋施工計画作成作業	鉄筋施工計画書類作成、打ち合わせ
Off-JT	学科	安全衛生	5 S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	安全衛生	5 S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理
Off-JT	学科	営業活動・顧客管理概論 (基本的知識)	営業活動の流れ、営業話法、営業日報の作成知識、上司の指示や指導の理解、設計図書の種類理解、鉄筋組立工法の知識、顧客 (元請、発注者) のニーズ把握方法の要点、顧客等に対する対応方法、要点整理のポイント、見積作成作業の基礎知識 (数量の拾い出し)
Off-JT	学科	営業活動の基本知識	日報等報告書類、営業ツール (名刺等)、見積の作成要領
Off-JT	学科	組立作業	現場の安全作業知識 (作業標準、職長の指示内容、あいばん作業)、鉄筋組立方法の知識 (主筋、配力筋、補強筋、組立筋等の種類と構造的な意味、組立に関する継手や定着、かぶり厚、スパーサ位置、結束方法)、鉄筋組立工法 (在来工法、プレファブ工法、先組み工法等)
Off-JT	学科	組立段取り作業	現場の安全知識 (現場の基本ルール、顧客 (元請、発注者) の規則)、鉄筋作業の進め方 (配筋図の符号の理解、作業の用語や道具・器具の名称と使い方、作業手順書による鉄筋の組立手順)、鉄筋組立技能の習得 (社内作業手順書、マニュアル等)
Off-JT	学科	作業管理の知識	安全衛生 (労働安全衛生法、KY活動)、作業管理 (1日の作業工程、職長からの指示内容、JIS G 3112、器工具・機械等の取扱い方法、廃材分別)

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名等の例	教科の内容例
Off-JT	学科	作業段取り概論（加工基礎知識）	鉄筋加工作業にかかわる用語、材料・器具・工具・機械等の名称と用途、鉄筋加工作業の工程、鉄筋加工作業手順
Off-JT	学科	作業段取り概論（組立基礎知識）	鉄筋組立作業にかかわる用語、材料・器具・工具・機械等の名称と用途、荷受作業の手順、場内運搬作業の手順、配筋図の見方
Off-JT	学科	自主管理	安全作業点検、作業安全指示書、現場作業の確認方法、連絡・報告・相談の重要性、品質管理基準、現場作業の進捗確認の要点
Off-JT	学科	自主管理の基本知識	設計図書、仕様書、工程表、作業標準、作業安全指示書、品質管理基準、鉄筋材の検収の流れ
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	施工概論	現場規則の遵守、新規入場者教育および送出し教育の遵守、企業の諸規定の遵守、挨拶の励行、報告・相談・連絡の重要性
Off-JT	学科	施工概論	作業所規則、新規入場者教育および送出し教育、企業のルール、挨拶の励行、報告・相談・連絡の重要性
Off-JT	学科	施工態度	基本ルール（顧客（元請、発注者）の作業所規則、新規入場者教育の遵守）、企業の諸規定（就業規則、労働基準法概要）、マナー（挨拶の励行、報告・相談・連絡の基本、チームワーク）
Off-JT	学科	段取りの知識	安全衛生（材料・器具・工具・機械等の名称および持込手続きの要領、安全装置や保護具の性能、片付け・整理整頓・清潔保持）、作業段取りの知識（鉄筋作業手順、事前の情報収集（足場・仮置ヤードの大きさ・揚重機等）、工程表や作業手順所の理解、作業準備（スペーサ・結束線等の数量確認）、近隣協定等の徹底事項確認）
Off-JT	学科	鉄筋加工作業概論	作業段取りの工夫と作業効率の重要性、法令および諸規定の概要
Off-JT	学科	鉄筋加工作業概論	作業段取りの工夫と作業効率の重要性、鉄筋工事業界のルール
Off-JT	学科	鉄筋加工作業の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、作業区域、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳、絵符の理解
Off-JT	学科	鉄筋加工作業の知識	法令および諸規定の知識（建築工事標準仕様書）、加工方法（鉄筋の折り曲げ基準と加工方法、鉄筋加工、絵符の読解）、機械および工具の取扱い（鉄筋加工設備の種類・用途および使用方法）、揚重機設備の安全基準と操作方法）
Off-JT	学科	鉄筋組立作業の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、作業区域、あいばん作業のルール、場内運搬作業の手順、鉄筋組立作業の手順
Off-JT	学科	鉄筋施工計画	仮設計画の把握方法、作業方法、必要書類の手配・作成
Off-JT	学科	鉄筋施工計画の基本知識	鉄筋加工および鉄筋組立の作業方法、安全書類及び必要書類
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理（健康診断の受診）、救急処理、安全防具の正しい着用方法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、健康管理、安全防具の正しい着用方法
Off-JT	実技	営業活動・顧客管理実習（フォローアップ問題解決編）	営業日報の作成要領、設計図書の種類の理解、鉄筋組立工法の確認、顧客（元請、発注者）のニーズ把握についての意見交換、顧客等に対する対応事例

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名等の例	教科の内容例
Off-JT	実技	営業基本実習	営業日報の記入方法、顧客対応の方法（ビジネスマナー）、必要書類の手配と作成方法
Off-JT	実技	組立作業	鉄筋組立方法（主筋、配力筋、補強筋、組立筋等の種類、組立に関する継手や定着、かぶり厚、スぺーサ位置、結束方法）、鉄筋組立工法概要（在来工法、プレファブ工法、先組み工法等）
Off-JT	実技	作業段取り演習	安全衛生（材料・器具・工具・機械等の取扱い方法、安全装置や保護具の取扱い方法）、事前の情報収集演習（足場・仮置ヤードの大きさ・揚重機等）
Off-JT	実技	作業段取り演習	鉄筋作業の進め方（配筋図の符号の理解、作業手順書による鉄筋の組立手順の理解）、鉄筋組立技能の習得（社内作業手順書、マニュアル等）
Off-JT	実技	自主管理実習	安全作業点検方法、現場作業の確認要領、現場作業の進捗確認要領
Off-JT	実技	自主管理実習（フォローアップ問題解決編）	安全作業点検方法の確認、作業安全指示書の理解、現場作業の確認方法、品質管理基準、現場作業の進捗確認要点、顧客検査結果の要点
Off-JT	実技	鉄筋加工基本作業	切断作業・曲げ加工作業の方法、整理整頓
Off-JT	実技	鉄筋加工基本作業（準備編）	作業進捗目標の要点、道具や材料の準備要点、器具・工具類の数量確認と準備の要点
Off-JT	実技	鉄筋加工基本作業（準備編）	作業進捗目標の設定要領、道具や材料の準備要領、器具・工具類の数量確認と準備の要領
Off-JT	実技	鉄筋加工作業	加工方法（鉄筋の折り曲げ基準と加工方法、鉄筋加工、絵符の読解）、機械および工具の取扱い（鉄筋加工設備の使用方法）、作業効率を考えた材料・工具等の配置
Off-JT	実技	鉄筋加工作業（フォローアップ問題解決編）	作業内容の理解と確認等の要領、職長・先輩等からの指示内容理解等の要領、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業の要領、絵符の読解の要領、器工具・機械等の取扱い方法
Off-JT	実技	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（準備編）	作業進捗目標の設定要領の確認、道具や材料の準備要領の確認、器具・工具類の数量確認と準備の要点
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（準備編）	作業進捗目標の設定要領の確認、道具や材料の準備要領の確認、器具・工具類の数量確認と準備の要領の確認
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（フォローアップ問題解決編）	作業内容の理解と確認等の要点確認、職長・先輩等からの指示内容等の要点確認、あいばん作業の要点、器工具・機械等の取扱い方法、配筋図の見方の要点、荷受作業の要点、場内運搬作業の手順の要点
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（フォローアップ問題解決編）	作業内容の理解と確認等の要領、職長・先輩等からの指示内容理解等の要領、あいばん作業の要領、器工具・機械等の取扱い方法、配筋図の見方の要領、荷受作業の要領、場内運搬作業の手順の要領
Off-JT	実技	鉄筋施工計画実習（フォローアップ問題解決編）	仮設計画把握の要点、正確な情報伝達の要点、必要書類の手配と作成
Off-JT	実技	作業管理基本実習	鉄筋材料の識別と分別保管の方法、運搬、整理整頓

⑤ 自動車製造業

◆ 作成ガイドライン

- (1) 自動車製造では、普通四輪、大型四輪、二輪の自動車が製造されているが、普通四輪と大型四輪と二輪の2つのコースについてモデルカリキュラムを作成していること。
- (2) 自動車製造業のOJTにおいては、事業所の生産自動車の違いや関連会社を含めた製造分担等があるため、OJT教科の標準化が困難であることから、モデルカリキュラムには一定の標準化をおこなった教科とその内容を記載したが、訓練時間はOJT全体の時間を記載することとしていること。そのため、事業所において独自カリキュラムを作成するにあたっては、必要な教科に対して必要な訓練時間を設定して計画する必要があること。

自動車組立実践科（普通四輪・大型四輪コース）訓練カリキュラム総括表

平成20年12月作成

訓練科名 (コース名)	自動車組立実践科 (普通四輪・大型四輪コース)	就職 の 職務	自動車生産ラインにおける各種組立作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、自動車製造業における自動車生産ラインにおける各種組立作業に必要な知識と技能を習得し、安全に組立業務および上司等の業務の補助ができる。		
仕上がり像	自動車製造業における自動車組立作業および作業補助ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日 総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

自動車組立実践科（普通四輪・大型四輪コース）訓練カリキュラム

平成20年12月作成

訓練科（コース名）		自動車組立実践科（普通四輪・大型四輪コース）		Off-JTの実施主体	備考	
	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間			
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	内装組立作業	かん合、ボルト締付け、敷き込み等の組立方法による組立作業	企業により作業選択 340	各組立作業に包含 各作業に包含	
		外装組立作業	かん合、ボルト締付け、接着等の組立方法による組立作業			
		配線・配管作業	配線、結線、締付け等の組立方法による組立作業			
		エンジン回り組立作業	かん合、ボルト締付け等の組立方法による組立作業			
		足周りの組立作業	ボルト締付け等の組立方法による組立作業			
		油脂類注入作業	油脂類注入方法による油脂注入作業			
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策			
	OJT計			340時間		
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習（企業常識）	ビジネスマナー、自動車製造業の概要（品質管理、ISO、小集団活動・改善提案）、社内倫理規定・行動規範、就業規則と関連諸規定、組織構造と業務分担及び指示系統、役割分担、コミュニケーション	12	
			安全衛生	安全衛生と防災の意義、設備環境の安全、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（異常時の措置、保護具の使用、作業環境の管理、環境の改善）、健康管理、救急処理	3	
能力評価		オリエンテーション、能力評価（能力評価者、訓練生）	10			
学科計			25時間			
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6			
	機械・器工具使用法	工具、機器等の基本的取扱い及び点検方法、各種部品・材料の取扱い及び取付方法、各作業に使用する運搬道具や治工具・設備の取扱い方法、部品・材料及び機械・器工具の不具合事例とその報告方法	15			
	基本組立作業	タクトタイム、内装組立作業、外装組立作業、配線・配管組立作業、エンジン回りの組立作業、足回りの組立作業、油脂類注入作業、各作業における異常（トラブル）事例とその報告方法	39			
実技計			60時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間		
有期実習型訓練合計				425時間		
主な設備機器等		オートリフト、コンベア（モノレール）、ジャッキ、各種テスタ、各種組立用工具類（エア・電動工具含）				

自動車組立実践科（二輪コース）訓練カリキュラム総括表

平成20年12月作成

訓練科名 (コース名)	自動車組立実践科 (二輪コース)	就職 の 職務	自動車生産ラインにおける各種組立作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、自動車製造業における自動車生産ラインにおける各種組立作業に必要な知識と技能を習得し、安全に組立業務および上司等の業務の補助ができる。		
仕上がり像	自動車製造業における自動車組立作業および作業補助ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

自動車組立実践科（二輪コース）訓練カリキュラム

平成20年12月作成

訓練科（コース名）		自動車組立実践科（二輪コース）			Off-JTの実施主体	備考	
	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間				
有期実習型訓練の内容	実習等（OJT）	外装組立作業	かん合、ボルト締付け等の組立方法による組立作業	企業により作業選択 340 各作業に包含	/		
		配線・配管作業	配素、結線、締付け等の組立方法による組立作業				
		エンジン回り組立作業	かん合、ボルト締付け等の組立方法による組立作業				
		足周りの組立作業	ボルト締付け等の組立方法による組立作業				
		油脂類注入作業	油脂類注入方法による油脂注入作業				
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策				
	OJT計			340時間			
	座学等（Off-JT）	学科	職業能力基礎講習（企業常識）	ビジネスマナー、自動車製造業の概要（品質管理、ISO、小集団活動・改善提案）、社内倫理規定・行動規範、就業規則と関連諸規定、組織構造と業務分担及び指示系統、役割分担、コミュニケーション	12	/	
			安全衛生	安全衛生と防災の意義、設備環境の安全、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（異常時の措置、保護具の使用、作業環境の管理、環境の改善）、健康管理、救急処理	3		
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（能力評価者、訓練生）	10		
学科計			25時間				
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6	/			
	機械・器工具使用法	工具、機器等の基本的取扱い及び点検方法、各種部品・材料の取扱い及び取付方法、各作業に使用する運搬道具や治工具・設備の取扱い方法、部品・材料及び機械・器工具の不具合事例とその報告方法	15				
	基本組立作業	タクトタイム、外装組立作業、配線・配管組立作業、エンジン回りの組立作業、足回りの組立作業、油脂類注入作業、各作業における異常（トラブル）事例とその報告方法	39				
実技計			60時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間			
有期実習型訓練合計				425時間			
主な設備機器		オートリフト、モノレール、ジャッキ、各種テスタ、各種組立用工具類（エア・電動工具含）					

自動車組立実践科（二輪コース）訓練計画予定表

平成20年12月作成

訓練科（コース名）		自動車組立実践科（二輪コース）						
		職務名又は教科名	H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)		外装組立作業						
		配線・配管作業						
		エンジン回り組立作業						
		足周りの組立作業						
		油脂類注入作業						
		安全衛生作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習（企業常識）						
		安全衛生						
		能力評価						
実技		安全衛生作業						
		機械・器工具使用法						
		基本組立作業						
		職業能力の評価						
		教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】 経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

訓練科(コース名)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考					
実習等 (OJT)	実習等 (OJT)	内装組立作業	かん合、ボルト締め付け、動き込み等の組立方法による組立作業	340	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		外装組立作業	かん合、ボルト締め付け、塗装等の組立方法による組立作業							
		配線・配管作業	配線、配管、継付等の組立方法による組立作業							
		エンジン廻り組立作業	かん合、ボルト締め付け等の組立方法による組立作業							
		足廻りの組立作業	ボルト締め付け等の組立方法による組立作業							
		油類注入作業	油類注入方法による油類注入作業							
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策							
		OJT計 340時間								
		有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	職業能力基礎講習(企業実習)			ビジネスマナー、自動車製造業の概要(生産設備、1日10時間労働、労働時間、労働安全、社内研修制度、行動規範、就業規則と就業環境、就職機軸と業務内容及び給与体系、役割分担、コミュニケーション)	12	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)
				安全衛生			安全衛生と防災の意義、設備環境の安全、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業(異常時の対応、非常時の対応、作業環境の管理、環境の改善)、健康管理、救急処置	3		
能力評価	オリエンテーション、能力評価(能力評価者、訓練者)			10						
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法			6						
機械・部工具使用法	工具、機器等の基本的取扱い及び点検方法、各種部品、材料の取扱い及び取付方法、各作業に使用する機器及び工具、作業環境の管理(方法、部品、材料及び機械、部工具の不具合発生時の対応方法)			15						
実技	実技	基本組立作業	クワタタイム、内装組立作業、外装組立作業、配線・配管作業、エンジン廻りの組立作業、足回り組立作業、油類注入作業、各作業における異常(トラブル)事例とその対応方法	20	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		実技計 60時間								
		Off-JT(教育訓練時間) 小計 65時間								
有期実習型訓練合計 425時間										
主な設備機器等 オートリフト、コンベア(モノレーン)、ジャッキ、各種メスタ、各種組立用工具類(エア-電動工具等)										

訓練科(コース名)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考					
実習等 (OJT)	実習等 (OJT)	内装組立作業	かん合、ボルト締め付け、動き込み等の組立方法による組立作業	140	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		外装組立作業	かん合、ボルト締め付け、塗装等の組立方法による組立作業	140						
		配線・配管作業	配線、配管、継付等の組立方法による組立作業	90						
		エンジン廻り組立作業	かん合、ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	100						
		足廻りの組立作業	ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	120						
		油類注入作業	油類注入方法による油類注入作業							
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策							
		OJT計 400時間								
		有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	職業能力基礎講習(企業実習)			ビジネスマナー、自動車製造業の概要(生産設備、1日10時間労働、労働時間、労働安全、社内研修制度、行動規範、就業規則と就業環境、就職機軸と業務内容及び給与体系、役割分担、コミュニケーション)	12	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)
				安全衛生			安全衛生と防災の意義、設備環境の安全、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業(異常時の対応、非常時の対応、作業環境の管理、環境の改善)、健康管理、救急処置	8		
能力評価	オリエンテーション、能力評価(能力評価者、訓練者)			10						
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法			6						
機械・部工具使用法	工具、機器等の基本的取扱い及び点検方法、各種部品、材料の取扱い及び取付方法、各作業に使用する機器及び工具、作業環境の管理(方法、部品、材料及び機械、部工具の不具合発生時の対応方法)			10						
実技	実技	基本組立作業	クワタタイム、内装組立作業、外装組立作業、配線・配管作業、エンジン廻りの組立作業、足回り組立作業、油類注入作業、各作業における異常(トラブル)事例とその対応方法	44	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		実技計 70時間								
		Off-JT(教育訓練時間) 小計 100時間								
有期実習型訓練合計 500時間										
主な設備機器等 オートリフト、コンベア(モノレーン)、ジャッキ、各種メスタ、各種組立用工具類(エア-電動工具等)										

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1) 学科:2時間				実技:2時間	
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2) 学科および実技:3時間			学科および実技:5時間		

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例3】 学卒者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】 経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、より早く生産活動に参加させる訓練をおこなう場合

訓練科(コース名)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考					
実習等 (OJT)	実習等 (OJT)	内装組立作業	かん合、ボルト締め付け、動き込み等の組立方法による組立作業	40	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		外装組立作業	かん合、ボルト締め付け、塗装等の組立方法による組立作業	40						
		配線・配管作業	配線、配管、継付等の組立方法による組立作業	30						
		エンジン廻り組立作業	かん合、ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	30						
		足廻りの組立作業	ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	32						
		油類注入作業	油類注入方法による油類注入作業							
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策							
		OJT計 172時間								
		有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	職業能力基礎講習(企業実習)			ビジネスマナー、自動車製造業の概要(生産設備、1日10時間労働、労働時間、労働安全、社内研修制度、行動規範、就業規則と就業環境、就職機軸と業務内容及び給与体系、役割分担、コミュニケーション)	6	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)
				安全衛生			安全衛生と防災の意義、設備環境の安全、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業(異常時の対応、非常時の対応、作業環境の管理、環境の改善)、健康管理、救急処置	3		
能力評価	オリエンテーション、能力評価(能力評価者、訓練者)			10						
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法			3						
機械・部工具使用法	工具、機器等の基本的取扱い及び点検方法、各種部品、材料の取扱い及び取付方法、各作業に使用する機器及び工具、作業環境の管理(方法、部品、材料及び機械、部工具の不具合発生時の対応方法)			9						
実技	実技	基本組立作業	クワタタイム、内装組立作業、外装組立作業、配線・配管作業、エンジン廻りの組立作業、足回り組立作業、油類注入作業、各作業における異常(トラブル)事例とその対応方法	17	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		実技計 24時間								
		Off-JT(教育訓練時間) 小計 43時間								
有期実習型訓練合計 215時間										
主な設備機器等 オートリフト、コンベア(モノレーン)、ジャッキ、各種メスタ、各種組立用工具類(エア-電動工具等)										

訓練科(コース名)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考					
実習等 (OJT)	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	204	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		内装組立作業	かん合、ボルト締め付け、動き込み等の組立方法による組立作業	204						
		外装組立作業	かん合、ボルト締め付け、塗装等の組立方法による組立作業	204						
		配線・配管作業	配線、配管、継付等の組立方法による組立作業	90						
		エンジン廻り組立作業	かん合、ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	100						
		足廻りの組立作業	ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	120						
		油類注入作業	油類注入方法による油類注入作業							
		OJT計 768時間								
		有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	職業能力基礎講習(企業実習)			ビジネスマナー、自動車製造業の概要(生産設備、1日10時間労働、労働時間、労働安全、社内研修制度、行動規範、就業規則と就業環境、就職機軸と業務内容及び給与体系、役割分担、コミュニケーション)	22	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)
				安全衛生			安全衛生と防災の意義、設備環境の安全、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業(異常時の対応、非常時の対応、作業環境の管理、環境の改善)、健康管理、救急処置	4		
能力評価	オリエンテーション、能力評価(能力評価者、訓練者)			10						
安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、救急法			6						
機械・部工具使用法	工具、機器等の基本的取扱い及び点検方法、各種部品、材料の取扱い及び取付方法、各作業に使用する機器及び工具、作業環境の管理(方法、部品、材料及び機械、部工具の不具合発生時の対応方法)			16						
実技	実技	内装組立作業	かん合、ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	16	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)	自動車製結立実装科(普通四輪・大型四輪コース)				
		外装組立作業	かん合、ボルト締め付け、塗装等の組立方法による組立作業	16						
		エンジン廻り組立作業	かん合、ボルト締め付け等の組立方法による組立作業	16						
実技計 48時間										
Off-JT(教育訓練時間) 小計 90時間										
有期実習型訓練合計 858時間										
主な設備機器等 オートリフト、コンベア(モノレーン)、ジャッキ、各種メスタ、各種組立用工具類(エア-電動工具等)										

補足

※有期実習型訓練の訓練基準

- ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
- ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割~2割の範囲

自動車製造業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	足周りの組立作業	ボルト締付け等の組立方法による組立作業
0JT	実技	足周りの組立作業実習	ボルト締付け等の組立方法による組立作業実践
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
0JT	実技	エンジン回り組立作業	かん合、ボルト締付け等の組立方法による組立作業
0JT	実技	エンジン周り組立作業実習	かん合、ボルト締付け等の組立方法による組立作業実践
0JT	実技	外装組立作業	かん合、ボルト締付け、接着等の組立方法による組立作業
0JT	実技	外装組立作業	かん合、ボルト締付け等の組立方法による組立作業
0JT	実技	内装組立作業	かん合、ボルト締付け、敷き込み等の組立方法による組立作業
0JT	実技	内装組立作業実習	かん合、ボルト締付け、敷き込み等の組立方法による組立作業実践
0JT	実技	配線・配管作業	配素、結線、締付け等の組立方法による組立作業
0JT	実技	配線・配管作業実習	配素、結線、締付け等の組立方法による組立作業実践
0JT	実技	油脂類注入作業	油脂類注入方法による油脂注入作業
0JT	実技	油脂類注入作業実習	油脂類注入方法による油脂注入作業実践
Off-JT	学科	足周りの組立作業の知識	足周りの組立作業の知識（タイヤ、フロント／リアフォーク、リヤアーム、リヤショック、チェーン等主要部品の種類と機能）、治工具・設備の知識（取扱い方法、日常点検項目）、作業のルール（不良品発見時の行動ルール、誤品・欠品発見時の行動ルール、治工具・設備の異常時の行動ルール）
Off-JT	学科	足周りの組立作業の知識	足周りの組立作業の知識（サスペンション、アクスル、タイヤ等主要部品の種類と機能）、治工具・設備の知識（取扱い方法、日常点検項目）、作業のルール（不良品発見時の行動ルール、誤品・欠品発見時の行動ルール、治工具・設備の異常時の行動ルール）
Off-JT	学科	安全衛生	安全衛生と防災の意義、設備環境の安全、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（異常時の措置、保護具の使用、作業環境の管理、環境の改善）、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	異常発見とその措置	製品の異常発見と措置（製品の仕様、標準作業マニュアルの理解、行動マニュアルの理解、報告の仕方） 治工具の異常と措置（日常点検項目、移動基準と条件、行動マニュアルの理解、報告の仕方）
Off-JT	学科	エンジン周り組立作業の知識	エンジン周りの組立作業の知識（エンジン搭載、プレーキ関連部品の取付け等に関わる主要部品の種類と機能）、治工具・設備の知識（取扱い方法、日常点検項目）、作業のルール（不良品発見時の行動ルール、誤品・欠品発見時の行動ルール、治工具・設備の異常時の行動ルール）
Off-JT	学科	改善活動の知識	作業内容の正確な理解、作業品質や生産目標に関する知識、標準作業の知識（機能と役割の理解、内容の理解、その他）、改善活動の事例とその要点
Off-JT	学科	外装組立作業の知識	外装作業の知識（ヘッドランプ、バンパ、ウィンドウガラス等主要部品の種類と機能）、治工具・設備の知識（取扱い方法、日常点検項目）、作業のルール（不良品発見時の行動ルール、誤品・欠品発見時の行動ルール、治工具・設備の異常時の行動ルール）
Off-JT	学科	企業倫理と社会的責任	社内の倫理規定・行動規範（企業理念、経営方針、社訓、社是、倫理憲章・倫理要綱、倫理規定、ガイドライン）、会社の就業規則および関連諸規定、企業の社会的責任（環境問題、個人情報保護、その他）

自動車製造業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	学科	自動車組立概論（二輪編）	外装組立作業の知識（ヘッドランプ、バンパ、ウィンドウガラス等主要部品の種類と機能、かん合、ボルト締付け、接着などの組立方法）、配線・配管組立作業の知識（ワイヤハーネス、ブレーキ及び燃料配管、エアコンガス配管等の主要部品の種類と機能、配線、結線、締付けなどの組立方法）、エンジン回りの組立作業の知識（エンジン搭載、ブレーキ関連部品の取付け等に関わる主要部品の種類と機能、かん合、ボルトの締付けなどの組立方法）、足回りの組立作業の知識（サスペンション、アクスル、タイヤ等主要部品の種類と機能、ボルト締付けなどの組立方法）、油脂類注入作業の知識（デフオイル、ブレーキオイル、エアコンガス、不凍液、ウィンドウォッシュ液、パワーステアリングオイル、エンジンオイル、クラッチオイル等主要油脂類の種類と特徴、油脂類注入方法）、各作業に使用する運搬道具や治工具・設備の知識
Off-JT	学科	自動車組立概論（二輪編）	外装組立作業の知識、配線・配管組立作業の知識、エンジン回りの組立作業の知識、足回りの組立作業の知識、油脂類注入作業の知識、各作業に使用する運搬道具や治工具・設備の知識
Off-JT	学科	自動車組立概論（四輪編）	内装組立作業の知識、外装組立作業の知識、配線・配管組立作業の知識、エンジン回りの組立作業の知識、足回りの組立作業の知識、油脂類注入作業の知識、各作業に使用する運搬道具や治工具・設備の知識
Off-JT	学科	自動車組立概論（四輪編）	内装組立作業の知識（インストルメントパネル、シート、天井内張り等主要部品の種類と機能、かん合、ボルト締付け、敷き込みなどの組立方法）、外装組立作業の知識（ヘッドランプ、バンパ、ウィンドウガラス等主要部品の種類と機能、かん合、ボルト締付け、接着などの組立方法）、配線・配管組立作業の知識（ワイヤハーネス、ブレーキ及び燃料配管、エアコンガス配管等の主要部品の種類と機能、配線、結線、締付けなどの組立方法）、エンジン回りの組立作業の知識（エンジン搭載、ブレーキ関連部品の取付け等に関わる主要部品の種類と機能、かん合、ボルトの締付けなどの組立方法）、足回りの組立作業の知識（サスペンション、アクスル、タイヤ等主要部品の種類と機能、ボルト締付けなどの組立方法）、油脂類注入作業の知識（デフオイル、ブレーキオイル、エアコンガス、不凍液、ウィンドウォッシュ液、パワーステアリングオイル、エンジンオイル、クラッチオイル等主要油脂類の種類と特徴、油脂類注入方法）、各作業に使用する運搬道具や治工具・設備の知識
Off-JT	学科	自動車製造業常識（企業常識）	社内の倫理規定・行動規範（企業理念、経営方針、社訓、社是、倫理憲章・倫理要綱、倫理規定、ガイドライン）、会社の就業規則および関連諸規定、組織構造と業務分担構造と指示系統、役割分担と権限、改善活動（作業内容の正確な理解、作業品質や生産目標に関する知識、標準作業の知識（機能と役割の理解、内容の理解、その他）、改善活動の事例とその要点）
Off-JT	学科	自動車製造業の概要（企業常識）	社内の倫理規定・行動規範、会社の就業規則および関連諸規定、組織構造と業務分担構造と指示系統、役割分担と権限、改善活動
Off-JT	学科	社内連携の知識	組織構造と業務分担構造と指示系統、役割分担と権限、コミュニケーションツールの知識（口頭、書面、電子メール、その他）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習（企業常識）	ビジネスマナー、自動車製造業の概要（品質管理、ISO、QC活動・改善提案）、社内倫理規定・行動規範、就業規則と関連諸規定、組織構造と業務分担及び指示系統、役割分担、コミュニケーション
Off-JT	学科	内装組立作業の知識	内装作業の知識（インストルメントパネル、シート、天井内張り等主要部品の種類と機能）、治工具・設備の知識（取扱い方法、日常点検項目）、作業のルール（不良品発見時の行動ルール、誤品・欠品発見時の行動ルール、治工具・設備の異常時の行動ルール）
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（能力評価者、訓練生）
Off-JT	学科	配線・配管組立作業の知識	配線・配管作業の知識（ワイヤハーネス、ブレーキ及び燃料配管、エアコンガス配管等の主要部品の種類と機能）、治工具・設備の知識（取扱い方法、日常点検項目）、作業のルール（不良品発見時の行動ルール、誤品・欠品発見時の行動ルール、治工具・設備の異常時の行動ルール）
Off-JT	学科	油脂類注入作業の知識	油脂類の知識（デフオイル、ブレーキオイル、エアコンガス、不凍液、ウィンドウォッシュ液、パワーステアリングオイル、エンジンオイル、クラッチオイル等主要油脂類の種類と特徴）、治工具・設備の知識（取扱い方法、日常点検項目）、作業のルール（不良品発見時の行動ルール、誤品・欠品発見時の行動ルール、治工具・設備の異常時の行動ルール）

自動車製造業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	学科	運搬道具、治工具・設備の知識	構造の理解、使用基準と使用条件、日常点検項目
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	機械・器工具使用法	工具、機器等の基本的取扱い及び点検方法、各種部品・材料の取扱い及び取付方法、各作業に使用する運搬道具や治工具・設備の取扱い方法、部品・材料及び機械・器工具の不具合事例とその報告方法
Off-JT	実技	基本組立作業	工具、機器等の基本的取扱い
Off-JT	実技	基本組立作業	タクトタイム、外装組立作業、配線・配管組立作業、エンジン回りの組立作業、足回りの組立作業、油脂類注入作業、各作業における異常（トラブル）事例とその報告方法
Off-JT	実技	コミュニケーション手法	敬語、言葉遣い、話し方、話法、マナー、その他
Off-JT	実技	コミュニケーション手法	挨拶、敬語、言葉遣い、話し方、話法、会話マナー、その他
Off-JT	実技	部品受入・供給作業	運搬道具および治工具・設備の利用方法と保全技術、作業ルール（不良品発見時の行動ルール、運搬道具、治工具・設備異常時の行動ルール、その他）

⑥ パン製造業

◆ 作成ガイドライン

パン製造業においては、パン製造とパン販売を分業しておこなう事業所とパン製造と販売を同一の従業員がおこなう事業所がある。モデルカリキュラムを分業している事業所で活用する際には、作成するカリキュラムをそれぞれの部門で必要な教科で構成していただくことを想定し、この2つを盛り込んで作成していること。

パン製造販売実践科訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	パン製造販売実践科	就職 の 職務	パン製造、販売、店舗運営、 商品開発
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキルおよびビジネスマナーを身につけ、パン製造に必要な仕込み・発酵、分割・成形、焼成・仕上げに係る知識と技能を習得し、さらに接客・陳列・包装・レジ打ちなどの販売業務に係る知識と技能も習得する。		
仕上がり像	パン製造及び販売に係る基本的な業務ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

パン製造販売実践科訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名(コース名)		パン製造販売実践科		Off-JTの実施主体	備考	
	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間			
有期実習型訓練の内容 座学等(Off-JT)	実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	他実習に包含	/	
		仕込み・発酵実習	原材料の保管・管理、計量・ミキシング、発酵、冷蔵・解凍	120		
		分割・成形実習	分割・丸め、ベンチタイム、成形・型詰、ホイロ	100		
		焼成・冷却・仕上げ実習	焼成、冷却、仕上げ	60		
		接客・販売実習	接客、陳列、包装、販売事務(レジ操作、売り上げ処理)、クレーム対応	60		
	OJT計			340時間		
	学 科	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念、コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング(自己理解、自己評価)、パソコン操作	20		
		安全	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理	3		
		食品衛生	食品衛生の基礎理論、食品衛生関係法令	3		
		パン製造概論	原材料、製パン方法、製パン工程	6		
		パン販売概論	パンの種類と特徴、パン関連食品の種類と特徴、製パン販売技術に関する知識、最新の技術動向に関する知識	6		
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、訓練生)	10		
		学科計			48時間	
	実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6		
		機械・器具・備品の取扱実習	パン製造器具・備品(ミキサー、オープン、食型等)の取扱方法、販売備品(トンゴ、トレイ、バスケット等)の取扱方法、洗浄・消毒方法、保管・保存方法	6		
パン製造実習		計量・ミキシング、発酵、パン生地(分割・丸め、ベンチタイム、ホイロ、焼成、仕上げ)	18			
パソコン実習		報告書、計画書等の作成	7			
実技計			37時間			
Off-JT(教育訓練機関)小計				85時間		
有期実習型訓練合計				425時間		
主な設備機器	発酵室、ミキサー、モルダ、パイローラ、ホイロ、オープン、電子レンジ、フライヤ、分割機、冷凍庫、冷蔵庫、洗浄機、製パン用工具類、作業台、計測器類等					

パン製造販売実践科訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)		パン製造販売実践科					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	仕込み・発酵実習						
	分割・成形実習						
	焼成・冷却・仕上げ実習						
	接客・販売実習						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全					
		食品衛生					
		パン製造概論					
		パン販売概論					
	能力評価						
実技	安全衛生作業						
	機械・器具・備品の取扱実習						
	パン製造実習						
	パソコン実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】 経験の無い方にパン製造の基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

パン製造販売実践科訓練カリキュラム				平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	パン製造販売実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	60	OJT計 340時間
	仕込み・発酵実習	原材料の保管・管理、計量・ミキシング、発酵、冷蔵・解凍	120	
	分割・成形実習	分割・丸め、ベンチタイム、成形・型割、ホイロ	100	
	焼成・冷却・仕上げ実習	焼成、冷却、仕上げ	60	
	接客・販売実習	接客、陳列、包装、販売事務(レジ操作、売り上げ処理)、クレーム対応	60	
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、職業理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念、コミュニケーション、グループワーク、パソコン、キャリア形成、キャリアコンサルティング(自己理解、自己評価)、パソコン操作	30	OJT計 40時間
	安全	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつぱ)、安全作業、健康管理、救急処置	3	
	食品衛生	食品衛生の基礎理論、食品衛生関係法令	3	
	パン製造概論	原材料、製パン方法、製パン工程	6	
	パン販売概論	パンの種類と特徴、パン関連商品の種類と特徴、製パン販売技術に関する知識、最新の技術動向に関する知識	6	
実技	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、訓練士)	10	実技計 27時間
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6	
	機械・器具・備品の取扱実習	パン製造器具・備品(ミキサー、オーブン、発酵箱)の取扱方法、販売備品(トング、トレイ、バスケット等)の取扱方法、洗浄・消毒方法、保管・保存方法	6	
	パン製造実習	計量・ミキシング、発酵、パン生地を分割・丸め、ベンチタイム、ホイロ、焼成、仕上げ	18	
	パソコン実習	報告書、計画書等の作成	7	
主な設備機器				発酵室、ミキサー、モルダ、パイロロー、ホイロ、オーブン、電子レンジ、フライヤ、分割機、冷凍庫、冷蔵庫、洗浄機、製パン用工具類、作業台、計測器類等

パン製造販売実践科訓練カリキュラム				平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	パン製造販売実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	60	OJT計 340時間
	仕込み・発酵実習	原材料の保管・管理、計量・ミキシング、発酵、冷蔵・解凍	120	
	分割・成形実習	分割・丸め、ベンチタイム、成形・型割、ホイロ	100	
	焼成・冷却・仕上げ実習	焼成、冷却、仕上げ	60	
	接客・販売実習	接客、陳列、包装、販売事務(レジ操作、売り上げ処理)、クレーム対応	60	
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、職業理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念、コミュニケーション、グループワーク、パソコン、キャリア形成、キャリアコンサルティング(自己理解、自己評価)、パソコン操作	30	OJT計 40時間
	安全	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつぱ)、安全作業、健康管理、救急処置	3	
	食品衛生	食品衛生の基礎理論、食品衛生関係法令	3	
	パン製造概論	原材料、製パン方法、製パン工程	6	
	パン販売概論	パンの種類と特徴、パン関連商品の種類と特徴、製パン販売技術に関する知識、最新の技術動向に関する知識	6	
実技	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、訓練士)	10	実技計 27時間
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	6	
	機械・器具・備品の取扱実習	パン製造器具・備品(ミキサー、オーブン、発酵箱)の取扱方法、販売備品(トング、トレイ、バスケット等)の取扱方法、洗浄・消毒方法、保管・保存方法	6	
	パン製造実習	計量・ミキシング、発酵、パン生地を分割・丸め、ベンチタイム、ホイロ、焼成、仕上げ	18	
	パソコン実習	報告書、計画書等の作成	7	
主な設備機器				発酵室、ミキサー、モルダ、パイロロー、ホイロ、オーブン、電子レンジ、フライヤ、分割機、冷凍庫、冷蔵庫、洗浄機、製パン用工具類、作業台、計測器類等

変更 時間追加
変更 時間追加
削除

変更 内容追加
時間追加
削除

変更 時間追加
削除

※425時間(OJT:340時間、Off-JT:85時間) 8時間/日 → 約54日

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1) 学科:2時間				実技:2時間	
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2) 学科および実技:3時間			学科および実技:5時間		

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例3】 新たにパン製造・販売に就く者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】 経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、より早く現場復帰させるための訓練をおこなう場合

パン製造販売実践科訓練カリキュラム				平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	パン製造販売実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	60	OJT計 172時間
	仕込み・発酵実習	原材料の保管・管理、計量・ミキシング、発酵、冷蔵・解凍	60	
	分割・成形実習	分割・丸め、ベンチタイム、成形・型割、ホイロ	60	
	焼成・冷却・仕上げ実習	焼成、冷却、仕上げ	30	
	接客・販売実習	接客、陳列、包装、販売事務(レジ操作、売り上げ処理)、クレーム対応	32	
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、職業理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念、コミュニケーション、グループワーク、パソコン、キャリア形成、キャリアコンサルティング(自己理解、自己評価)、パソコン操作	6	OJT計 25時間
	安全	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつぱ)、安全作業、健康管理、救急処置	1	
	食品衛生	食品衛生の基礎理論、食品衛生関係法令	3	
	パン製造概論	原材料、製パン方法、製パン工程	3	
	パン販売概論	パンの種類と特徴、パン関連商品の種類と特徴、製パン販売技術に関する知識、最新の技術動向に関する知識	2	
実技	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、訓練士)	10	実技計 18時間
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	3	
	機械・器具・備品の取扱実習	パン製造器具・備品(ミキサー、オーブン、発酵箱)の取扱方法、販売備品(トング、トレイ、バスケット等)の取扱方法、洗浄・消毒方法、保管・保存方法	6	
	パン製造実習	計量・ミキシング、発酵、パン生地を分割・丸め、ベンチタイム、ホイロ、焼成、仕上げ	6	
	パソコン実習	報告書、計画書等の作成	3	
主な設備機器				発酵室、ミキサー、モルダ、パイロロー、ホイロ、オーブン、電子レンジ、フライヤ、分割機、冷凍庫、冷蔵庫、洗浄機、製パン用工具類、作業台、計測器類等

※215時間(OJT:172時間、Off-JT:43時間) 8時間/日 → 約27日

補足 ※助成金受給の条件
・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割〜2割の範囲

パン製造販売実践科訓練カリキュラム				平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	パン製造販売実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	60	OJT計 768時間
	仕込み・発酵実習	原材料の保管・管理、計量・ミキシング、発酵、冷蔵・解凍	220	
	分割・成形実習	分割・丸め、ベンチタイム、成形・型割、ホイロ	220	
	焼成・冷却・仕上げ実習	焼成、冷却、仕上げ	228	
	接客・販売実習	接客、陳列、包装、販売事務(レジ操作、売り上げ処理)、クレーム対応	100	
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、職業理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念、コミュニケーション、グループワーク、パソコン、キャリア形成、キャリアコンサルティング(自己理解、自己評価)、パソコン操作	18	OJT計 52時間
	安全	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつぱ)、安全作業、健康管理、救急処置	6	
	食品衛生	食品衛生の基礎理論、食品衛生関係法令	6	
	パン製造概論	原材料、製パン方法、製パン工程	6	
	パン販売概論	パンの種類と特徴、パン関連商品の種類と特徴、製パン販売技術に関する知識、最新の技術動向に関する知識	6	
実技	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、訓練士)	10	実技計 140時間
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	12	
	機械・器具・備品の取扱実習	パン製造器具・備品(ミキサー、オーブン、発酵箱)の取扱方法、販売備品(トング、トレイ、バスケット等)の取扱方法、洗浄・消毒方法、保管・保存方法	56	
	パン製造実習	計量・ミキシング、発酵、パン生地を分割・丸め、ベンチタイム、ホイロ、焼成、仕上げ	60	
	パソコン実習	報告書、計画書等の作成	12	
主な設備機器				発酵室、ミキサー、モルダ、パイロロー、ホイロ、オーブン、電子レンジ、フライヤ、分割機、冷凍庫、冷蔵庫、洗浄機、製パン用工具類、作業台、計測器類等

※968時間(OJT:768時間、Off-JT:192時間) 8時間/日 → 約120日

パン製造業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
0JT	実技	仕込み・発酵実習	原材料の保管・管理、計量・ミキシング、発酵、冷蔵・解凍
0JT	実技	接客・販売実習	接客、陳列、包装、販売事務（レジ操作、売り上げ処理）
0JT	実技	接客・販売実習	接客、陳列、包装、販売事務（レジ操作、売り上げ処理）、クレーム対応
0JT	実技	分割・成形実習	分割・丸め、ベンチタイム、成形・型詰、ホイロ
0JT	実技	焼成・冷却・仕上げ実習	焼成、冷却、仕上げ
Off-JT	学科	I T 概論	I T リテラシー、データ管理、情報システム管理
Off-JT	学科	安全	5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	安全衛生	5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、食品安全の3原則（菌をつけない、殺す、増やさない）、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念、コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、パソコン操作
Off-JT	学科	職業能力基礎講習 （キースキル講習）	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	職業能力基礎講習 （キースキル講習）	ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念、コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、パソコン操作
Off-JT	学科	食品衛生	食品衛生の基礎理論、食品衛生関係法令
Off-JT	学科	食品衛生法関係法規	食品衛生の基礎理論、食品衛生関係法令、計量法関係法令
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）
Off-JT	学科	パン製造概論	パン生地の調整・発酵方法、パンの材料の種類・性質・用途、製パン技術・理論に関する技術、最新の技術動向に関する知識
Off-JT	学科	パン製造概論	原材料、製パン方法、製パン工程
Off-JT	学科	パン販売概論	パンの種類と特徴、パン関連食品の種類と特徴、製パン販売技術に関する知識、最新の技術動向に関する知識
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	機械・器具・備品の取扱実習	パン製造器具・備品（ミキサー、オープン、食型等）の取扱方法、販売備品（トング、トレイ、バスケット等）の取扱方法、洗浄・消毒方法、保管・保存方法
Off-JT	実技	データ処理実習	各種データ作成、ファイル管理、在庫管理システム、経理処理システム
Off-JT	実技	パソコン実習	報告書、計画書等の作成
Off-JT	実技	パン製造実習	仕込み・発酵作業（原材料の保管・管理、計量・ミキシング、発酵、冷蔵・解凍）、分割・整形作業（パン生地の分割丸め）、焼成・仕上げ作業（焼成、冷却、装飾）
Off-JT	実技	パン製造実習	計量・ミキシング、発酵、パン生地の分割・丸め、ベンチタイム、ホイロ、焼成、仕上げ

⑦ スーパーマーケット業

◆ 作成ガイドライン

- (1) スーパーマーケットは、基本的にセルフサービスの形態をとっているため、業界の人材需要の観点からスーパーマーケット業のモデルカリキュラムは、調理および加工、チェッカー業務について作成していること。
- (2) スーパーマーケット業のモデル評価シートは、3つの職務に対して3シート作成されている。しかしながら、調理や加工においては、対象物に応じた作業があるため、調理および加工についてのモデルカリキュラムは調理等対象毎に作成していること。

青果調理加工科訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	青果調理加工科	就職 の 職務	青果の調理・加工
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、青果の商品知識（特性、用途、鮮度等）および安全衛生に関する知識を学習し、青果の調理・加工ができる技能を習得する。		
仕上がり像	青果の調理・加工および安全衛生作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

青果調理加工科訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		青果調理加工科		Off-JTの 実施主体	備考		
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	教科目に 包含		
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策				
		青果調理・加工作業					
		(商品化作業)	加工前準備・後片付、追熟処理作業、選果選別作業、青果のカッティング、カットフルーツのアイテム作り	140			
		(ラッピング作業)	贈答用及び慶弔用セット作り作業	20			
	(パッキング作業)	機械操作作業、計量作業	60				
	(発注・補充作業)	発注作業、陳列・補充	120				
	OJT計				340時間		
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	18		
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	3		
			商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い方、加工品の処理方法の知識、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識	6		
			発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本、計数管理	3		
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
	学科計				40時間		
	実技	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6		
青果調理・加工基本実習							
(商品化基本実習)			包丁砥ぎ、選果選別作業、青果のカッティング、カットフルーツの商品化、カット野菜の商品化	18			
(ラッピング基本実習)			贈答および慶弔用セットの作成	3			
(パッキング基本実習)			機械操作と計量作業	6			
(発注・補充基本実習)	商品陳列・補充の方法	12					
実技計				45時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間			
有期実習型訓練合計				425時間			
主な設備機器	包丁、砥石、まないた、計量機・ラベラー、その他加工用器具、包装機、包装資材、調理台、作業台、冷蔵庫、保管庫、洗浄剤等、清掃用具、その他						

青果調理加工科訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)		青果調理加工科					
	職務名又は教科名	H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
		実習等 (OJT)	安全衛生作業				
青果調理・加工作業							
(商品化作業)							
(ラッピング作業)							
(パッキング作業)							
(発注・補充作業)							
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		商品化の基本知識					
		発注・補充の基本知識					
		能力評価					
	実技	安全衛生作業					
		青果調理・加工基本実習					
		(商品化基本実習)					
		(ラッピング基本実習)					
		(パッキング基本実習)					
		(発注・補充基本実習)					
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

惣菜調理加工科訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	惣菜調理加工科	就職 の 職務	惣菜の調理・加工
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、惣菜の商品知識（特性、加工調理法）等および安全衛生に関する知識を学習し、惣菜の調理・加工ができる技能を習得する。		
仕上がり像	惣菜の調理・加工および安全衛生作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

惣菜調理加工科訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		惣菜調理加工科		Off-JTの 実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	/	
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策	教科目に 包含		
		惣菜調理・加工作業 (商品化作業)	加工前準備・後片付、調理済仕入商品の詰め替え、素材の加工と調理（てんぷら・フライ類等、弁当類等、各種寿司）、盛り付け、機器・器具の操作、ラッピングとラベル付け			240
		(販売管理作業)	保管及び販売管理、発注・補充	100		
	OJT計			340時間	/	
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	18	/
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	6	
			商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い方、素材の加工および調理方法の知識、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識、盛り付け基準	12	
			発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本、計数管理	3	
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10	
学科計			49時間			
実技	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6	/	
		惣菜調理・加工基本実習 (商品化基本実習)	加工前準備・後片付、調理済仕入商品の詰め替え、基本商材の加工と調理手順、計量、盛り付け方法、機器・器具の操作、ラベル付け、包丁砥ぎ	18		
		(発注・補充基本実習)	商品陳列・補充の方法	12		
		実技計				36時間
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間	/	
有期実習型訓練合計				425時間	/	
主な設備機器		包丁、砥石、まないた、冷蔵庫、冷凍庫、保管庫、炊飯器、寿司ロボット、スチームコンベクションオープン、フライヤー、電磁調理器、器具類、ラベラー、調理台、作業台、包装資材、清掃用具、その他				

惣菜調理加工科訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)		惣菜調理加工科						
職務名又は教科名		H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月	
実習等 (OJT)	安全衛生作業							
	惣菜調理・加工作業							
	(商品化作業)							
	(販売管理作業)							
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習						
		安全衛生						
		商品化の基本知識						
		発注・補充の基本知識						
		能力評価						
	実技	安全衛生作業						
		惣菜調理・加工基本実習						
		(商品化基本実習)						
(発注・補充基本実習)								
職業能力の評価								
教育訓練の時間数								

水産物調理加工科訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	水産物調理加工科	就職 の 職務	水産物の調理・加工
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、水産物の商品知識（特性、用途、鮮度等）および安全衛生に関する知識を学習し、水産物の調理・加工ができる技能を習得する。		
仕上がり像	水産物の調理・加工および安全衛生作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

水産物調理加工科訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		水産物調理加工科		Off-JTの 実施主体	備考
職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間			
実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策	教科目に 包含	/	
	水産物調理・加工作業 (商品化作業)	加工前準備・後片付、魚種に応じた卸し、盛り合わせ、ラッピング機器操作	120		
	(水産加工品商品化作業)	セット物の調理加工、その他食品調理・加工	120		
	(発注・補充作業)	発注作業、陳列・補充	100		
	OJT計				
有期実習型訓練の内容 座学等 (Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	18	/	
	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	3		
	商品化の基本知識	用語、魚種・食材・調味料等の知識、道具・器具の名称と使い方、加工手順、卸し方・盛り合わせ方法、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識	6		
	発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本、計数管理	3		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
	学科計				
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6	/	
	水産物調理・加工基本実習 (商品化基本実習)	魚種に応じた卸し方、盛り合わせ・姿作りの方法、パッキング機械の操作、セット物調理・加工、その他調理・加工、包丁砥ぎ	27		
	(発注・補充基本実習)	商品陳列・補充の方法	12		
	実技計				
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間	/	
有期実習型訓練合計			425時間		
主な設備機器		包丁、砥石、まないた、計量機・ラベラー、その他加工用器具、包装機、包装資材、冷蔵庫、保管庫、調理台、備品類、清掃用具、その他			

水産物調理加工科訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)		水産物調理加工科						
職務名又は教科名		H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月	
実習等 (OJT)	安全衛生作業							
	水産物調理・加工作業							
	(商品化作業)							
	(水産加工品商品化作業)							
	(発注・補充作業)							
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習						
		安全衛生						
		商品化の基本知識						
		発注・補充の基本知識						
		能力評価						
	実技	安全衛生作業						
		水産物調理・加工基本実習						
		(商品化基本実習)						
(発注・補充基本実習)								
職業能力の評価								
教育訓練の時間数								

食肉調理加工科訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	食肉調理加工科	就職 の 職務	食肉の調理・加工
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、食肉の商品知識（特性、用途、鮮度）等および安全衛生に関する知識を学習し、食肉の調理・加工ができる技能を習得する。		
仕上がり像	食肉の調理・加工および安全衛生作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

食肉調理加工科訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名（コース名）		食肉調理加工科		Off-JTの 実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	教科目に 包含	
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策			
		食肉調理・加工作業 (商品化作業)	加工前準備・後片付、部位の除去作業、小割・整形作業、カッティング、チョッパー作業	140		
		(ラッピング作業)	機械操作作業、計量作業	80		
		(発注・補充作業)	発注作業、陳列・補充	120		
	OJT計 340時間					
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	18	
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	3	
			商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い方、畜種別の除去部位、加工品の処理方法の知識、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識	6	
			発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本、計数管理	3	
能力評価			オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
学科計 40時間						
実技	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6		
		食肉調理・加工基本実習 (商品化基本実習)	部位の除去作業、小割・整形作業、カッティング、チョッパー作業、スライサー作業、包丁砥ぎ	18		
		(パッキング基本実習)	機械操作作業、計量作業	9		
		(発注・補充基本実習)	商品陳列・補充の方法	12		
		実技計 45時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計 85時間						
有期実習型訓練合計 425時間						
主な設備機器		包丁、砥石、まないた、スライサー、チョッパー、計量機・ラベラー、その他加工用器具、包装機、包装資材、調理台、作業台、冷蔵庫、保管庫、洗浄材等、清掃用具、その他				

食肉調理加工科訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)		食肉調理加工科					
	職務名又は教科名	H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
		実習等 (OJT)	安全衛生作業				
食肉調理・加工作業							
(商品化作業)							
(ラッピング作業)							
(発注・補充作業)							
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		商品化の基本知識					
		発注・補充の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	食肉調理・加工基本実習						
	(商品化基本実習)						
	(パッキング基本実習)						
	(発注・補充基本実習)						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

チェックアウト業務実践科訓練カリキュラム総括表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)	チェックアウト業務実践科	就職 の 職務	店舗のチェックアウト業務
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、レジ精算等に必要な知識を学習し、接客やチェックアウト業務の技能を習得する。		
仕上がり像	接客及びレジ精算などのチェックアウト業務、レジ周辺等の整理や安全・衛生・クレンネス等を実施することができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間 (OJT：340時間 Off-JT：85時間)			

チェックアウト業務実践科訓練カリキュラム

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)		チェックアウト業務実践科		Off-JTの 実施主体	備考	
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間			
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策	教科に 包含	/	
		チェックアウト業務実習	レジの精算業務、価格・商品の確認、サッカー作業、発注・在庫管理（レジに必要な在庫品確認、発注、検収と不良品等の処理）、接客、応対、実習報告	180		
		サービスカウンター業務実習	受付業務、案内業務、迷子・忘れ物などの対応、販売情報の収集・報告、発注・在庫管理（サービスカウンターで必要な在庫品確認、発注、検収と不良品等の処理）、接客、応対、電話対応	160		
		OJT計		340時間		
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	18	/
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理（食中毒含む）	3	
			チェックアウト業務の基本知識	チェックアウト業務の流れ、スキヤニングスピード・違算率等の基準、金券の処理、カード払いの手順	12	
			サービスカウンター業務の基本知識	インスタプロモーション・店舗企画の理解、贈答品受付の流れ、領収書の発行手順、紙幣の両替手順、売り場と取扱い商品の理解、迷子・忘れ物の記録、顧客の要望と売れ筋商品情報の収集と販売情報の報告、計数管理	12	
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
		学科計		55時間		
実技		安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6		
		チェックアウト業務基本実習	レジの取扱い、袋詰め作業、在庫品の確認と発注方法、検収と不良品等の処理方法、接客、応対	12		
	サービスカウンター業務基本実習	贈答品受付の方法、商品包装の方法、在庫品の確認と発注方法、検収と不良品等の処理方法、接客、応対	12			
実技計		30時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間			
有期実習型訓練合計			425時間			
主な設備機器		レジスター、什器、包装資材、伝票・領収書等、店内放送設備、清掃用具、その他				

チェックアウト業務実践科訓練計画予定表

平成21年2月作成

訓練科名 (コース名)		チェックアウト業務実践科					
職務名又は教科名		H○ 年	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	チェックアウト業務実習						
	サービスカウンター業務実習						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		チェックアウト業務の基本知識					
		サービスカウンター業務の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	チェックアウト業務基本実習						
	サービスカウンター業務基本実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

青果調理加工科訓練カリキュラム					平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策	教科目 に含む		140
	青果調理・加工作業 (商品化作業)	加工前準備・後片付、造熟処理作業、選果選別作業、青果のカットニング、カットフルーツのアイテム作り			
	(ラッピング作業)	贈答用及び専用セット作り作業	20		
	(パッキング作業)	機械操作作業、計量作業	60		
	(発注・補充作業)	発注作業、陳列・補充	120		
OJT計			340時間		
有期実習型訓練の内容	産学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念	18	
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	3	
		商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い分け、加工品の処理方法の知識、定位管理と衛生管理の知識、品質維持の知識	6	
		発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、陳列表、陳列の基本、計数管理	3	
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者)	10	
学料計			40時間		
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6		18
	青果調理・加工基本実習 (商品化基本実習)	包丁抜き、選果選別作業、青果のカットニング、カットフルーツの商品化、カット野菜の商品化	3		
	(ラッピング基本実習)	贈答および専用セットの作成	6		
	(パッキング基本実習)	機械操作と計量作業	12		
	(発注・補充基本実習)	商品陳列・補充の方法	12		
実技計			45時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			65時間		
有期実習型訓練合計			425時間		
主な設備機器		包丁、砥石、まな板、計量機、ラベラー、その他加工用器具、包装機、包装資材、調理台、作業台、冷蔵庫、保管庫、洗浄剤等、清掃用具、その他			

青果調理加工科訓練カリキュラム					平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策	教科目 に含む		160
	青果調理・加工作業 (商品化作業)	加工前準備・後片付、造熟処理作業、選果選別作業、青果のカットニング、カットフルーツのアイテム作り			
	(ラッピング作業)	贈答用及び専用セット作り作業	20		
	(パッキング作業)	機械操作作業、計量作業	120		
	(発注・補充作業)	発注作業、陳列・補充	120		
OJT計			400時間		
有期実習型訓練の内容	産学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念	18	
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	3	
		商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い分け、加工品の処理方法の知識、定位管理と衛生管理の知識、品質維持の知識	6	
		発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、陳列表、陳列の基本、計数管理	3	
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者)	10	
学料計			40時間		
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6		18
	青果調理・加工基本実習 (商品化基本実習)	包丁抜き、選果選別作業、青果のカットニング、カットフルーツの商品化、カット野菜の商品化	3		
	(ラッピング基本実習)	贈答および専用セットの作成	6		
	(パッキング基本実習)	機械操作と計量作業	24		
	(発注・補充基本実習)	商品陳列・補充の方法	12		
実技計			60時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			100時間		
有期実習型訓練合計			500時間		
主な設備機器		包丁、砥石、まな板、計量機、ラベラー、その他加工用器具、包装機、包装資材、調理台、作業台、冷蔵庫、保管庫、洗浄剤等、清掃用具、その他			

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

4ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

【活用事例3】卒業者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

青果調理加工科訓練カリキュラム					平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策	教科目 に含む		50
	青果調理・加工作業 (商品化作業)	加工前準備・後片付、造熟処理作業、選果選別作業、青果のカットニング、カットフルーツのアイテム作り			
	(ラッピング作業)	贈答用及び専用セット作り作業	40		
	(パッキング作業)	機械操作作業、計量作業	42		
	(発注・補充作業)	発注作業、陳列・補充	40		
OJT計			172時間		
有期実習型訓練の内容	産学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念	3	
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	3	
		商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い分け、加工品の処理方法の知識、定位管理と衛生管理の知識、品質維持の知識	6	
		発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、陳列表、陳列の基本、計数管理	3	
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10	
学料計			25時間		
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ	6		3
	青果調理・加工基本実習 (商品化基本実習)	包丁抜き、選果選別作業、青果のカットニング、カットフルーツの商品化、カット野菜の商品化	3		
	(ラッピング基本実習)	贈答および専用セットの作成	3		
	(パッキング基本実習)	機械操作と計量作業	3		
	(発注・補充基本実習)	商品陳列・補充の方法	3		
実技計			18時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			43時間		
有期実習型訓練合計			215時間		
主な設備機器		包丁、砥石、まな板、計量機、ラベラー、その他加工用器具、包装機、包装資材、調理台、作業台、冷蔵庫、保管庫、洗浄剤等、清掃用具、その他			

青果調理加工科訓練カリキュラム					平成21年2月作成
訓練科名(コース名)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策	教科目 に含む		230
	青果調理・加工作業(青果)	加工前準備・後片付、商品化、ラッピングとラベル付け、贈答用セットづくり、発注・補充			
	調理・加工作業(食肉)	加工前準備・後片付、商品化、ラッピングとラベル付け、発注・補充	154		
	調理・加工作業(水産品および水産加工)	水産物調理・加工(加工前準備、商品化、ラッピングとラベル付け、選果選別)、水産物加工(セット商品の調理・加工、集付け加工、その他の調理・加工)	230		
	調理・加工作業(惣菜)	加工前準備、商品化、ラッピングとラベル付け、保管及び販売管理、発注・補充、調理加工の指示	154		
OJT計			768時間		
有期実習型訓練の内容	産学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念	18	
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理	30	
		商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い分け、加工品の処理方法の知識、定位管理と衛生管理の知識、品質維持の知識	30	
		発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、陳列表、陳列の基本、計数管理	24	
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10	
学料計			112時間		
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	12		36
	商品化基本実習	加工前準備・後片付、調理済仕入商品の詰め替え、素材の加工と調理準備、器具類、ラベラー、作業台等付着、商品包装および消耗品資材、清掃用具、その他	36		
	販売管理基本実習	商品陳列・補充の方法、計数管理	32		
実技計			80時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			192時間		
有期実習型訓練合計			960時間		
主な設備機器		包丁、砥石、まな板、冷蔵庫、冷凍庫、保管庫、炊飯器、真空ロケット、スチームコンベクションオープン、フライヤー、電磁調理器、器具類、ラベラー、調理台・作業台等付着、商品包装および消耗品資材、清掃用具、その他			

補足

- ※助成金受給の条件
- ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
- ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割~2割の範囲

※960時間(OJT:768時間、Off-JT:192時間) 8時間/日 → 約120日

スーパーマーケット業の教科名等の例

訓練形態		教科名等の例	教科の内容例
OJT	実技	(商品化作業) (食肉)	加工前準備・後片付、部位の除去作業、小割・整形作業、カットニング、チョッパー作業、半調理品の味付け調理
OJT	実技	(商品化作業) (水産物)	加工前準備・後片付、魚種に応じた卸し、盛り合わせ、ラッピング機器操作
OJT	実技	(商品化作業) (青果)	加工前準備・後片付、追熟処理作業、選果選別作業、青果のカットニング、カットフルーツのアイテム作り
OJT	実技	(商品化作業) (惣菜)	加工前準備・後片付、調理済仕入商品の詰め替え、素材の加工と調理（てんぷら・フライ類等、弁当類等、各種寿司）、盛り付け、機器・器具の操作、ラッピングとラベル付け
OJT	実技	(水産加工品商品化作業) (水産物)	セット物の調理加工、味付け加工、その他食品調理・加工
OJT	実技	(パッキング作業) (青果)	機械操作作業、計量作業
OJT	実技	(発注・補充作業) (食肉)	発注作業、陳列・補充
OJT	実技	(発注・補充作業) (水産物)	発注作業、陳列・補充
OJT	実技	(発注・補充作業) (青果)	発注作業、陳列・補充
OJT	実技	(販売管理作業) (惣菜)	保管及び販売管理、発注・補充
OJT	実技	(ラッピング作業) (食肉)	機械操作作業、計量作業
OJT	実技	(ラッピング作業) (青果)	機械操作作業、計量作業、贈答用及び慶弔用セット作り
OJT	実技	(ラッピング作業) (青果)	贈答用及び慶弔用セット作り作業
OJT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
OJT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策
OJT	実技	安全衛生作業	身の回りの衛生管理、器具・工具の準備、衛生保持（清掃等）、施設管理、定位置管理
OJT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理（クレンリネス）、施設管理、環境対策
OJT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、整理整頓、施設管理、環境対策
OJT	実技	コミュニケーション実践	コミュニケーション法（5W2H、情報の共有化）、確認事項や問題事項の整理方法、自社の動向（インスタプロモーション、販売戦略、販売動向、その他）、会議運営方法、マニュアル
OJT	実技	サービスカウンター業務基本実習	各種受付に対する対処の補助（返品、返金規定、領収書の発行手順、その他）、接客対応
OJT	実技	サービスカウンター業務実習	受付業務、案内業務、迷子・忘れ物などの対応、販売情報の収集・報告、発注・在庫管理（サービスカウンターで必要な在庫品確認、発注、検取と不良品等の処理）、接客、応対、電話対応
OJT	実技	サービスカウンター業務実践	各種受付に対する対処（返品、返金規定、領収書の発行手順、その他）、接客対応、ラッピング
OJT	実技	サービスカウンター業務補助実践	各種受付に対する規定・手順（返品、返金規定、領収書の発行手順、その他）、店内放送の実践、接客
OJT	実技	対面販売実践	わかりやすい接客・応対（顧客の要望把握）、販売、包装、値段入力、商品補充、実習報告
OJT	実技	地域との共生活動を通じたニーズ把握実践	地域のニーズ把握（顧客の意見、住民の意識調査、地域の諸団体、地域のイベント・行事、地域の環境活動、地域の防災マップ）
OJT	実技	チェックアウト業務基本実習	チェックアウト業務補助、接客
OJT	実技	チェックアウト業務実習	レジの精算業務、価格・商品の確認、サッカー作業、発注・在庫管理（レジで必要な在庫品確認、発注、検取と不良品等の処理）、接客、応対、実習報告

スーパーマーケット業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
OJT	実技	チェックアウト業務実践	売り場のレイアウト確認、自店の取扱商品知識の確認、チェックアウト業務、接客
OJT	実技	チェックアウト業務補助実践	売り場のレイアウト確認、自店の取扱商品知識の確認（部門毎の取扱い商品、季節商品、インスタプロモーション、チラシ特売商品、その他）、チェックアウト業務補助、接客
OJT	実技	調理・加工作業（食肉）	加工前準備・後片付、商品化、ラッピングとラベル付け、発注・補充
OJT	実技	調理・加工作業（水産品および水産品加工）	水産物調理・加工（加工前準備、商品化、ラッピングとラベル付け、発注補充）、水産物加工（セットものの調理・加工、味付け加工、その他の調理・加工）
OJT	実技	調理・加工作業（青果）	加工前準備・後片付、商品化、ラッピングとラベル付け、贈答用セットづくり、発注・補充
OJT	実技	調理・加工作業（惣菜）	加工前準備、商品化、ラッピングとラベル付け、保管及び販売管理、発注・補充、調理加工の指示
OJT	実技	陳列作業実践	陳列作業、POP・ショーカードの作成・取付け、商品補充および商品の管理
OJT	実技	陳列補助実習	効果的な演出方法（棚割表、棚割、フェース取り、縦型陳列、フック陳列、ボリューム陳列、空間利用法、プライスカード、演出資材の活用、その他） POPおよびショーカード（情報の入手先、レイアウトの基礎知識、その他）
OJT	実技	発注・在庫管理実践	在庫数の確認、保管スペースの確保、商品の発注、検収、返品処理、伝票等の取扱い、実習報告
OJT	実技	販売実践実習	接客、話し方、商品知識
OJT	実技	販売補助実習	対面販売のポイント、販売の準備、接客、商品知識、話し方
OJT	実技	ラッピング実践	包装機の使い方、計量機・ラベラーの取り扱い方、加工用器具の用途と取扱い方法、包装資材
OJT	実技	商品にあった盛り付け方法基本実習	盛り合わせ、コミュニケーション、安全衛生、ラッピング、その他
OJT	実技	商品にあった盛り付け方法演習	盛り合わせ、かざり付け、その他
OJT	実技	商品目的にあった切り方応用実習	包丁の砥ぎ方、青果に適したカット方法、カットフルーツのアイテム作り、コミュニケーション、安全衛生、その他
OJT	実技	商品目的にあった切り方基本実習	砥石の扱い方、包丁の砥ぎ方、包丁の扱い方、青果に適したカット方法、カットフルーツのアイテム作り、コミュニケーション、安全衛生、その他
OJT	実技	商品目的にあった切り方演習	砥石の扱い方、包丁の砥ぎ方、包丁の扱い方、青果に適したカット方法、カットフルーツのアイテム作り、
Off-JT	学科	安全・衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、衛生管理
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、救急処理、食品表示、商品知識、衛生管理（食中毒含む）
Off-JT	学科	サービスカウンター業務	各種受付に対する規定・手順（返品、返金規定、領収書の発行手順、その他）、店内放送技術

スーパーマーケット業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	学科	サービスカウンター業務の基本知識	インスタプロモーション・店舗企画の理解、贈答品受付の流れ、領収書の発行手順、紙幣の両替手順、売り場と取扱い商品の理解、迷子・忘れ物の記録、顧客の要望と売れ筋商品情報の収集と販売情報の報告
Off-JT	学科	サービスカウンター業務の基本知識	インスタプロモーション・店舗企画の理解、贈答品受付の流れ、領収書の発行手順、紙幣の両替手順、売り場と取扱い商品の理解、迷子・忘れ物の記録、顧客の要望と売れ筋商品情報の収集と販売情報の報告、計数管理
Off-JT	学科	商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い方、畜種別の除去部位、加工品の処理方法の知識、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識
Off-JT	学科	商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い方、加工品の処理方法の知識、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識
Off-JT	学科	商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い方、素材の加工および調理方法の知識、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識、盛り付け基準
Off-JT	学科	商品化の基本知識	用語、魚種・食材・調味料等の知識、道具・器具の名称と使い方、加工手順、卸し方・盛り合わせ方法、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識
Off-JT	学科	商品化の基本知識	用語、商品知識、道具・器具の名称と使い方、畜種別の除去部位、加工品の処理方法の知識、定位置管理と衛生管理の知識、品質維持の知識
Off-JT	学科	商品販売の基本知識	対面販売の理解、作業の進め方の基本、商品知識と用語、売り場の基本知識（棚割、陳列の知識と種類、演出の知識、商品補充の知識、不良品・廃棄品の取扱いの知識、商品の手直し・整理の知識）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、パソコン操作、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	食の安全と安心のための知識	店舗営業方針、食品表示（名称、原産地、養殖、原材料名、解凍の例、内容量、消費期限、賞味期限、その他） 商品知識（有機食品、遺伝子組み換え商品、BSE、その他） 衛生管理（職場のルール、正しい手洗いの方法、髪の整え方のルール、その他）
Off-JT	学科	スーパーマーケット業に関わる基本知識	社内規定・行動規範（経営理念、社是・社訓、就業規則、倫理憲章、行動ガイドライン、マニュアル） 主要法令概要（商法、食品衛生法、JAS法、PL法、消費者保護法、独占禁止法、不正競争防止法、景品表示法、労働法、雇用機会均等法、セクハラ防止関連、個人情報保護法、環境関連法、その他）、リスクマネジメントの基本、顧客特性把握のための手段
Off-JT	学科	スーパーマーケット業に関わる基本知識	社内規定・行動規範、コンプライアンス（主要法令の概要）、非常時対応、業界用語の理解、販売ツールの知識
Off-JT	学科	対面販売の基本知識	販売計画（重点商品、売上目標、インスタプロモーションの計画、その他）、商品知識（旬・新物・季節商材、用途・産地、食べ方、調理方法、その他）、陳列方法
Off-JT	学科	地域との共生の知識	企業の社会的責任 地域と顧客のニーズ（顧客の意見、住民の意識調査、地域の諸団体、地域のイベント・行事、地域の環境活動、地域の防災マップ） バリアフリー（バリアフリー化、車椅子介助、盲導犬、その他） 安全衛生管理実務（設備環境の安全化、設備のあるべき状態の熟知）

スーパーマーケット業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	学科	チェックアウト業務	売り場のレイアウト、自店の取扱商品知識（部門毎の取扱い商品、季節商品、インスタプロモーション、チラシ特売商品、その他）、チェックアウト業務の手順、定物定位、環境への配慮
Off-JT	学科	チェックアウト業務の基本知識	チェックアウト業務の流れ、スキャニングスピード・違算率等の基準、金券の処理、カード払いの手順
Off-JT	学科	調理・加工（青果）の基本知識	鮮度管理（品質維持、スピード、商品知識）、追熱処理、商品目的にあった切り方（青果に適したカット方法、カットフルーツのアイテム作り）、商品にあった盛り付け方法（盛り合わせ、かざり付け、その他）、ラッピングの方法（包装機の使い方、計量機・ラベラーの取り扱い方、加工用器具の用途と取扱い方法、包装資材）、包丁砥ぎ（砥石の種類、包丁の種類、包丁の扱い方、その他）、慶弔の知識、マニュアル
Off-JT	学科	調理・加工（青果）の基本知識	調理・加工の概要（鮮度管理、追熱処理、その他）、商品目的にあった切り方概要、商品にあった盛り付け方法概要、ラッピングの知識、包丁砥ぎ（砥石の種類、包丁の種類、包丁の扱い方、その他）、慶弔の知識
Off-JT	学科	陳列の概要	陳列基準（空間利用方法、カラーコントロール、清潔性、その他）、時間帯の顧客特性割り出し方法、品切れ基準、在庫量
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）
Off-JT	学科	発注・在庫管理の概要	発注に関するルール、最低在庫量、調達期間、平均販売数、販売予測、年間の行事（お中元、お歳暮、その他）
Off-JT	学科	発注・在庫管理の基本知識	在庫数の確認、商品発注の知識と用語、返品処理の知識と用語、各種伝票
Off-JT	学科	発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本
Off-JT	学科	発注・補充の基本知識	発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本、計数管理
Off-JT	学科	販売管理の基本知識	商品の保管方法、発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本、ロスの知識
Off-JT	学科	販売管理の基本知識	商品の保管方法、発注作業の流れ、棚割表、陳列の基本、ロスの知識、計数管理
Off-JT	学科	非常時対応の知識	クレーム処理の概要、非常時の対応方法概要（事故発生時の処理方法、非常時の対応方法、マニュアル、その他）
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （食肉）	部位の除去作業、小割・整形作業、カッティング、チョッパー作業
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （食肉）	部位の除去作業、小割・整形作業、カッティング、チョッパー作業、スライサー作業、包丁砥ぎ
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （水産物）	魚種に応じた卸し方、盛り合わせ・姿作りの方法、ラッピング機械の操作、セット物調理・加工、味付け加工、その他調理・加工
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （水産物）	魚種に応じた卸し方、盛り合わせ・姿作りの方法、パッキング機械の操作、セット物調理・加工、味付け加工、その他調理・加工、包丁砥ぎ
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （青果）	追熱処理、選果選別作業、青果のカッティング、カットフルーツのアイテム作り
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （青果）	包丁砥ぎ、追熱処理、選果選別作業、青果のカッティング、カットフルーツの商品化、カット野菜の商品化
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （惣菜）	加工前準備・後片付、調理済仕入商品の詰め替え、素材の加工と調理手順、計量、盛り付け方法、機器・器具の操作、ラベル付け
Off-JT	実技	（商品化基本実習） （惣菜）	加工前準備・後片付、調理済仕入商品の詰め替え、基本商材の加工と調理手順、計量、盛り付け方法、機器・器具の操作、ラベル付け、包丁砥ぎ
Off-JT	実技	（パッキング基本実習） （食肉）	機械操作作業、計量作業

スーパーマーケット業の教科名等の例

訓練形態		教科名等の例	教科の内容例
Off-JT	実技	(パッキング基本実習) (青果)	機械操作と計量作業
Off-JT	実技	(発注・補充基本実習) (食肉)	商品陳列・補充の方法
Off-JT	実技	(発注・補充基本実習) (水産物)	商品陳列・補充の方法
Off-JT	実技	(発注・補充基本実習) (青果)	商品陳列・補充の方法
Off-JT	実技	(販売管理基本実習) (惣菜)	商品陳列・補充の方法
Off-JT	実技	(ラッピング基本実習) (食肉)	機械操作作業、計量作業
Off-JT	実技	(ラッピング基本実習) (青果)	機械操作と計量作業、贈答および慶弔用セットの作成
Off-JT	実技	(ラッピング基本実習) (青果)	贈答および慶弔用セットの作成
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法（応急手当・救急措置の方法）
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、整理整頓
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務（身だしなみ）、救急法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、身だしなみ
Off-JT	実技	顧客対応業務（チェックアウト業務、サービスカウンター業務）演習（準備編）	売り場の確認、自店の取扱商品把握、チェックアウト業務手順の理解、各種受付に対する規定・手順の理解（返品、返金規定、領収書の発行手順、その他）、ラッピング方法
Off-JT	実技	サービスカウンター業務演習	各種受付に対する規定・手順の理解（返品、返金規定、領収書の発行手順、その他）
Off-JT	実技	サービスカウンター業務演習（フォローアップ問題解決編）	各種受付に対する規定・手順の確認（返品、返金規定、領収書の発行手順、その他）、ラッピングの要領
Off-JT	実技	サービスカウンター業務基本実習	贈答品受付の方法、商品包装の方法、在庫品の確認と発注方法、検収と不良品等の処理方法、接客、応対
Off-JT	実技	商品化基本実習	加工前準備・後片付、調理済仕入商品の詰め替え、素材の加工と調理手順、計量、盛り付け方法、機器・器具の操作、ラベル付け
Off-JT	実技	接客演習	接客のルール（礼儀作法に関する社内ルールと水準、顧客対応ルール、ホスピタリティ、その他） TPOに応じた会話（接客用語、敬語の使い方、話し方・話法、その他） 商品知識（売価変更の確認、裸売り商品の確認、その他）
Off-JT	実技	接客演習	接客のルール（礼儀作法に関する社内ルールと水準、顧客対応ルール、ホスピタリティ、その他） TPOに応じた会話（接客用語、敬語の使い方、話し方・話法、その他）
Off-JT	実技	接客演習	接客演習（礼儀作法、顧客対応、身だしなみ、金銭授受）、TPOに応じた会話（接客用語、話し方）、商品知識
Off-JT	実技	対面販売基本実習	接客・応対の言葉、販売の手順
Off-JT	実技	チェックアウト業務演習	売り場のレイアウト確認、自店の取扱商品知識把握（部門毎の取扱い商品、季節商品、インスタプロモーション、チラシ特売商品、その他）、チェックアウト業務の手順理解、定物定位の原則、環境への配慮

スーパーマーケット業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	実技	チェックアウト業務演習 (フォローアップ問題解決編)	チェックアウト業務手順の要領確認、取り扱い商品知識の把握方法、その他
Off-JT	実技	チェックアウト業務基本実習	レジの取扱い、袋詰め作業、在庫品の確認と発注方法、検収と不良品等の処理方法、接客、応対
Off-JT	実技	調理・加工(青果)作業(準備編)	商品目的にあった切り方(青果に適したカット方法)、商品にあった盛り付け方法(盛り合わせ、かざり付け)、ラッピングの方法(包装機の使い方、計量機・ラベラーの取扱い方、加工用器具の取扱い方法)、包丁砥ぎ(包丁の砥ぎ方、包丁の扱い方)
Off-JT	実技	調理・加工(青果)作業(フォローアップ問題解決編)	商品目的にあった切り方の要領確認(青果に適したカット方法、カットフルーツのアイテム作り)、商品にあった盛り付け方法要領確認(盛り合わせ、かざり付け、その他)、ラッピングの方法、包丁砥ぎの要点(砥石の扱い方、包丁の砥ぎ方、包丁の扱い方、その他)
Off-JT	実技	調理・加工(青果)実習	商品目的にあった切り方(青果に適したカット方法、カットフルーツのアイテム作り)、商品にあった盛り付け方法(盛り合わせ、かざり付け、その他)、ラッピングの方法(包装機の使い方、計量機・ラベラーの取扱い方、加工用器具の用途と取扱い方法、包装資材)、包丁砥ぎ(砥石の扱い方、包丁の砥ぎ方、包丁の扱い方、その他)
Off-JT	実技	陳列基本実習	POPとショーカードの作成・取付け、商品の補充方法と商品管理の方法、ストアコンピュータの取扱い方法、売価チェックの方法
Off-JT	実技	発注・在庫管理基本実習	在庫数の確認方法、商品発注の方法、検収の方法、返品処理の方法、伝票の取扱い方法
Off-JT	実技	販売管理基本実習	商品陳列・補充の方法、計数管理
Off-JT	実技	非常時対応演習	非常時対応(事故発生時の処理方法、非常時の対応方法、マニュアル、その他) TPOに応じた会話(接客用語、敬語の使い方、話し方・話法、その他) 商品知識(売価変更の確認、裸売り商品の確認、その他)
Off-JT	実技	地域社会貢献演習	防犯対策(防犯の方策、警察・病院の位置と連絡先、警備体制、警備保障システムの把握) 非常時対応実務(災害時の避難場所、応急手当・救急措置の方法、その他) コミュニケーション法

⑧ ホテル業

◆ 作成ガイドライン

- (1) ホテル業においては、フルサービスをおこなうホテルと宿泊業務のみをおこなうホテルがある。そのため、モデルカリキュラムにおいては、OJT主導型として宿泊業務に特化したコースとOff-JT主導型としてフルサービスに対応するコースを作成していること。
- (2) ホテル業のモデルカリキュラムにおいては、Off-JTにおいて、明確に学科と実技を分けた標準化を行うことが困難であるため、Off-JTの訓練時間数については、Off-JTの総訓練時間として記載したこと。そのため、事業所が独自のカリキュラムを作成するにあたっては、学科および実技を区分し、具体的な教科の訓練時間を記載する必要があること。
- (3) ホテル業のモデルカリキュラムにおいては、OJTにおいて、明確に教科の標準化を行うことが困難であるため、一定の標準化を行った教科とその内容、OJTの総訓練時間を記載している。そのため、事業所が独自のカリキュラムを作成するにあたっては、具体的な教科の訓練時間を記載する必要があること。
- (4) OJT主導型コースについては、ロビーサービス、フロントサービス、ハウスキーピングの各業務を柱とし、OJTを重視して、OJTとOff-JTの訓練時間割合を8対2の割合で作成していること。
- (5) Off-JT主導型コースについては、ロビーサービス、フロントサービス、レストランサービス、ルームサービスを柱とし、Off-JTにおいて知識や技能の習得に加え、十分なロールプレイングをおこなうことで、OJTにおいてお客様の前に立つ段階でほぼ訓練目標に掲げる育成ができている状況であることを想定しているため、OJTとOff-JTの訓練時間割合を2対8の割合で作成していること。

ホテルサービス科（OJT主導型コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)	ホテルサービス科 (OJT主導型コース)	就職 の 職務	フロント・ロビーサービス、 フロントオフィス、ハウス キーピング、レストランサー ビス、ルームサービス
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、ホテル業におけるフロント・ロビーサービス、フロントオフィス及びレストランサービス業務に係る必要な知識と技能を習得する。		
仕上がり像	ホテル業におけるフロント・ロビーサービス業務、フロントオフィス業務やレストランサービス業務の基本的な業務ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

ホテルサービス科（OJT主導型コース）訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		ホテルサービス科（OJT主導型コース）		Off-JTの実施主体	備考		
職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間					
実習等 （OJT）	ロビーサービス実務（基礎）	送迎（ドア）、荷物預かり（クローク）、案内（ベル）	要選択 340	/			
	フロントオフィス実務（基礎）	電話オペレーター（案内、対応）、インフォメーション（問合せへの対応）、カウンター業務（客室予約受付補助、パソコン操作）、夜間業務					
	ハウスキーピング実務（基礎）	客室の清掃・整備（ハウスキーパー）					
	ルームサービス実務（基礎）	オーダー受付、配送・提供、関連実務、接客サービス					
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理（食品衛生）、施設管理（防犯・防災）、環境対策	他教科に包含				
OJT計			340時間				
有期実習型訓練の内容 座学等（Off-JT）	学科	職業能力基礎講習（企業常識）	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進（企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割）、ホスピタリティの実践（CS、ES、SS）、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス、館内知識、商品知識、クレーム処理（事例等）	要選択 85 (10)			
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理（食品衛生）、施設管理（防犯・防災）、環境対策				
		外国語（基礎）	ビジネス英会話ほか				
	実技	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）				
		安全衛生実習	安全作業、衛生管理（衛生管理）、施設管理（防犯・防災）、環境対策、救急法				
		ロビーサービス基礎実習	送迎（ドア）、荷物預かり（クローク）、案内（ベル）、ロールプレイング				
	フロントサービス基礎実習	ホスピタリティの実践（接客・接遇）、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、パソコン操作、ロールプレイング					
	ルームサービス基礎実習	オーダー受付、配送・提供、関連実務、接客サービス、ロールプレイング					
	Off-JT（教育訓練機関）計			85時間			
	有期実習型訓練合計			425時間			
主な設備機器等		パソコン、電卓、電話機、複写機、掃除機、接客用具類、応接用具類、作業用具類					

ホテルサービス科（OJT主導型コース）訓練計画予定表

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		ホテルサービス科（OJT主導型コース）					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	ロビーサービス実務（基礎）						
	フロントオフィス実務（基礎）						
	ハウスキーピング実務（基礎）						
	ルームサービス実務（基礎）						
	安全衛生作業						
座学等 (OfficeJT)	学科	職業能力基礎講習（企業常識）					
		安全衛生					
		外国語（基礎）					
		能力評価					
	実技	安全衛生実習					
		ロビーサービス基礎実習					
		フロントサービス基礎実習					
		ルームサービス基礎実習					
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

ホテルサービス科（O f f - J T 主導型コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)	ホテルサービス科 (O f f - J T 主導型コース)	就職の 職務	フロント・ロビーサービス、フロント オフィス、ハウスキーピング、レスト ランサービス、ルームサービス
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、ホテル 業におけるフロント・ロビーサービス、フロントオフィス及びレストランサービス業 務に係る必要な知識と技能を習得する。		
仕上がり像	ホテル業におけるフロント・ロビーサービス業務、フロントオフィス業務やレスト ランサービス業務の基本的な業務ができる。		

実施月	O J T ・ O f f - J T 区分	時間	備 考
月	O J T		
	O f f - J T		
	月 計	日	
月	O J T		
	O f f - J T		
	月 計	日	
月	O J T		
	O f f - J T		
	月 計	日	
月	O J T		
	O f f - J T		
	月 計	日	
月	O J T		
	O f f - J T		
	月 計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（O J T：85時間 O f f - J T：340時間）			

ホテルサービス科（Off-JT主導型コース）訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		ホテルサービス科（Off-JT主導型コース）			Off-JTの実施主体	備考
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間			
実習等 （OJT）	ロビーサービス実務	送迎（ドア）、荷物預かり（クローク）、案内（ベル）	要選 択 85	/		
	フロントオフィス実務	電話オペレーター（案内、対応）、インフォメーション（問合せへの対応）、カウンター業務（客室予約受付補助、パソコン操作）、夜間業務				
	ハウスキーピング実務	客室の清掃・整備（ハウスキーパー）				
	レストランサービス実務	バスボーイ・バスガール実務（レストランフロアの清掃と準備、テーブルセッティング、食器類のクリアと後片付け）、ウェ이터・ウェイトレス実務（オーダーの受付、食事提供、飲料提供、お見送り実務、宴会実務）、接客サービス、パソコン操作				
	ルームサービス実務	オーダー受付、配送・提供、関連実務、接客サービス				
	安全衛生作業	安全確保、衛生管理（食品衛生）、施設管理（防犯・防災）、環境対策				
	OJT計					
有期実習型訓練の内容	座学等 （Off-JT）	職業能力基礎講習（企業常識）	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進（企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割）、ホスピタリティの実践（CS、ES、SS）、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス、館内知識、商品知識	要選 択 340 (10)		
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理（食品衛生）、施設管理（防犯・防災）、環境対策			
		外国語（基礎）	ビジネス英会話ほか			
		ホテルサービスの基礎知識	ロビーサービス、フロントサービス、送迎車両管理、ハウスキーピング、レストランサービス、ルームサービス、クレーム処理（事例ほか）			
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）				
	実技	安全衛生実習	安全作業、衛生管理（衛生管理）、施設管理（防犯・防災）、環境対策、救急法			
		ロビーサービス基礎実習（ロールプレイング）	送迎（ドア）、荷物預かり（クローク）、案内（ベル）			
		フロントサービス基礎実習（ロールプレイング）	ホスピタリティの実践（接客・接遇）、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、パソコン操作			
		送迎車両管理基礎実習（ロールプレイング）	送迎、車両管理			
		ハウスキーピング基礎実習（ロールプレイング）	客室の清掃・整備（ハウスキーパー）			
レストランサービス基礎実習（ロールプレイング）		準備と片付け、テーブルマナー、食事の提供、パソコン操作				
ルームサービス基礎実習（ロールプレイング）	オーダー受付、配送・提供、関連実務、接客サービス					
Off-JT（教育訓練機関）計			340時間			
有期実習型訓練合計			425時間			
主な設備機器等		パソコン、電卓、電話機、複写機、掃除機、接客用具類、応接用具類、作業用具類				

ホテルサービス科（O f f – J T 主導型コース）訓練計画予定表

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		ホテルサービス科（O f f – J T 主導型コース）						
		職務名又は教科名	H○年 ○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (O J T)		ロビーサービス実務						
		フロントオフィス実務						
		ハウスキーピング実務						
		レストランサービス実務						
		ルームサービス実務						
		安全衛生作業						
座学等 (O f f – J T)	学科	職業能力基礎講習（企業常識）						
		安全衛生						
		外国語（基礎）						
		ホテルサービスの基礎知識						
		能力評価						
	実技	安全衛生実習						
		ロビーサービス基礎実習（ロールプレイング）						
		フロントサービス基礎実習（ロールプレイング）						
		送迎車両管理基礎実習（ロールプレイング）						
		ハウスキーピング基礎実習（ロールプレイング）						
		レストランサービス基礎実習（ロールプレイング）						
		ルームサービス基礎実習（ロールプレイング）						
		職業能力の評価						
	教育訓練の時間数							

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】経験の無い方にロビーサービス、フロントオフィスの基本知識と運動習慣、技能を身につけさせる場合

ホテルサービス科 (OJT主導型コース) 訓練カリキュラム			
訓練科名 (コース名)	ホテルサービス科 (OJT主導型コース)	職務又は教科の内容	時間
実習等 (OJT)	ロビーサービス実務 (基礎)	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)	60
	フロントオフィス実務 (基礎)	電話オペレーター (案内、対応)、インフォメーション (問合せへの対応)、カウンター業務 (客室予約受付補助、パソコン操作)、夜間業務	112
	ハウスキーピング実務 (基礎)	客室の清掃・整備 (ハウスキーパー)	340
	ルームサービス実務 (基礎)	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス	100
安全衛生作業			85
OJT計			340時間
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習 (企業実習)	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進 (企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割)、ホスピタリティの実践 (CS、ES、SS)、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス、取組知識、異動知識、クレーム処理 (事例等)	6
	安全衛生	5S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理 (食品衛生)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策	3
	外国語 (基礎)	ビジネス英会話ほか	6
	能力評価	オリエンテーション、能力評価 (評価担当、訓練士)	10
	安全衛生実習	安全作業、衛生管理 (衛生管理)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策、救急法	4
実技	ロビーサービス基礎実習	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)、ロールプレイング	6
	フロントサービス基礎実習	ホスピタリティの実践 (接客・接遇)、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、パソコン操作、ロールプレイング	8
	ルームサービス基礎実習	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス、ロールプレイング	100
OJT-JT (教育訓練機関) 計			85時間
有期実習型訓練合計			425時間
主な設備機器等	パソコン、電卓、電話機、複写機、掃除機、接客用具類、応接用具類、作業用工具類		

ホテルサービス科 (OJT主導型コース) 訓練カリキュラム			
訓練科名 (コース名)	ホテルサービス科 (OJT主導型コース)	職務又は教科の内容	時間
実習等 (OJT)	ロビーサービス実務 (基礎)	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)	170
	フロントオフィス実務 (基礎)	電話オペレーター (案内、対応)、インフォメーション (問合せへの対応)、カウンター業務 (客室予約受付補助、パソコン操作)、夜間業務	230
	ハウスキーピング実務 (基礎)	客室の清掃・整備 (ハウスキーパー)	340
	ルームサービス実務 (基礎)	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス	100
安全衛生作業			85
OJT計			400時間
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習 (企業実習)	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進 (企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割)、ホスピタリティの実践 (CS、ES、SS)、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス、取組知識、異動知識、クレーム処理 (事例等)	12
	安全衛生	5S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理 (食品衛生)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策	12
	外国語 (基礎)	ビジネス英会話ほか	12
	能力評価	オリエンテーション、能力評価 (評価担当者、訓練士)	10
	安全衛生実習	安全作業、衛生管理 (衛生管理)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策、救急法	15
実技	ロビーサービス基礎実習	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)、ロールプレイング	18
	フロントサービス基礎実習	ホスピタリティの実践 (接客・接遇)、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、パソコン操作、ロールプレイング	21
	ルームサービス基礎実習	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス	100
OJT-JT (教育訓練機関) 計			100時間
有期実習型訓練合計			500時間
主な設備機器等	パソコン、電卓、電話機、複写機、掃除機、接客用具類、応接用具類、作業用工具類		

↓ 訓練期間を3ヶ月で計画した場合

↓ 6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

【活用事例3】若年者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

ホテルサービス科 (OJT主導型コース) 訓練カリキュラム			
訓練科名 (コース名)	ホテルサービス科 (OJT主導型コース)	職務又は教科の内容	時間
実習等 (OJT)	ロビーサービス実務 (基礎)	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)	60
	フロントオフィス実務 (基礎)	電話オペレーター (案内、対応)、インフォメーション (問合せへの対応)、カウンター業務 (客室予約受付補助、パソコン操作)、夜間業務	112
	ハウスキーピング実務 (基礎)	客室の清掃・整備 (ハウスキーパー)	340
	ルームサービス実務 (基礎)	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス	100
安全衛生作業			85
OJT計			172時間
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習 (企業実習)	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進 (企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割)、ホスピタリティの実践 (CS、ES、SS)、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス、取組知識、異動知識、クレーム処理 (事例等)	6
	安全衛生	5S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理 (食品衛生)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策	3
	外国語 (基礎)	ビジネス英会話ほか	6
	能力評価	オリエンテーション、能力評価 (評価担当、訓練士)	10
	安全衛生実習	安全作業、衛生管理 (衛生管理)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策、救急法	4
実技	ロビーサービス基礎実習	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)、ロールプレイング	6
	フロントサービス基礎実習	ホスピタリティの実践 (接客・接遇)、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、パソコン操作、ロールプレイング	8
	ルームサービス基礎実習	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス	100
OJT-JT (教育訓練機関) 計			43時間
有期実習型訓練合計			215時間
主な設備機器等	パソコン、電卓、電話機、複写機、掃除機、接客用具類、応接用具類、作業用工具類		

補足

- ※助成金受給の条件
- ・6カ月訓練の総時間数425時間以上 (3ヶ月訓練では215時間以上)
- ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割~2割の範囲

ホテルサービス科 (OJT主導型コース) 訓練カリキュラム			
訓練科名 (コース名)	ホテルサービス科 (OJT主導型コース)	職務又は教科の内容	時間
実習等 (OJT)	ロビーサービス実務 (基礎)	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)	60
	フロントオフィス実務 (基礎)	電話オペレーター (案内、対応)、インフォメーション (問合せへの対応)、カウンター業務 (客室予約受付補助、パソコン操作)、夜間業務	112
	ハウスキーピング実務 (基礎)	客室の清掃・整備 (ハウスキーパー)	340
	ルームサービス実務 (基礎)	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス	100
安全衛生作業			85
OJT計			172時間
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習 (企業実習)	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進 (企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割)、ホスピタリティの実践 (CS、ES、SS)、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス、取組知識、異動知識、クレーム処理 (事例等)	12
	安全衛生	5S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理 (食品衛生)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策	12
	外国語 (基礎)	ビジネス英会話ほか	12
	能力評価	オリエンテーション、能力評価 (評価担当者、訓練士)	10
	安全衛生実習	安全作業、衛生管理 (衛生管理)、施設管理 (防犯・防災)、環境対策、救急法	15
実技	ロビーサービス基礎実習	送迎 (ドア)、荷物預かり (クローク)、案内 (ベル)、ロールプレイング	18
	フロントサービス基礎実習	ホスピタリティの実践 (接客・接遇)、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、パソコン操作、ロールプレイング	21
	ルームサービス基礎実習	オーダー受付、配達・提供、関連業務、接客サービス	100
OJT-JT (教育訓練機関) 計			100時間
有期実習型訓練合計			960時間
主な設備機器等	パソコン、電卓、電話機、複写機、掃除機、接客用具類、応接用具類、作業用工具類		

※960時間 (OJT:192時間、OJT-JT:768時間) 8時間/日 → 約120日

ホテル業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理（食品衛生）、施設管理（防犯・防災）、環境対策
0JT	実技	送迎車輛管理実務	送迎、車輛管理
0JT	実技	ハウスキーピング実務	客室の清掃・整備（ハウスキーパー）
0JT	実技	フロントオフィス実務	電話オペレーター（案内、対応）、インフォメーション（問合せへの対応）、カウンター業務（客室予約受付補助、パソコン操作）、クレーム処理対応、夜間業務
0JT	実技	フロントオフィス実務	電話オペレーター（案内、対応）、インフォメーション（問合せへの対応）、カウンター業務、クレーム処理対応、夜間業務
0JT	実技	フロントオフィス実務	電話オペレーター（案内、対応）、インフォメーション（問合せへの対応）、カウンター業務（客室予約受付補助）、クレーム処理対応、夜間業務
0JT	実技	ホテルサービス実務	企業ビジョンに基づく業務推進、ホスピタリティ、接客接遇、チームワークとコミュニケーション
0JT	実技	ルームサービス実務	オーダー受付、配送・提供、関連実務
0JT	実技	ルームサービス実務	オーダー受付、配送・提供、関連実務、接客サービス
0JT	実技	レストランサービス実務	バスボーイ・バスガール実務（レストランフロアの清掃と準備、テーブルセッティング、食器類のクリアと後片付け）、ウェイター・ウェイトレス実務（オーダーの受付、食事提供、飲料提供、お見送り実務、宴会実務）
0JT	実技	レストランサービス実務	予約受付、出迎え、オーダー受付、食事の提供、見送り、厨房補助
0JT	実技	レストランサービス実務	バスボーイ・バスガール実務（レストランフロアの清掃と準備、テーブルセッティング、食器類のクリアと後片付け）、ウェイター・ウェイトレス実務（オーダーの受付、食事提供、飲料提供、お見送り実務、宴会実務）、接客サービス
0JT	実技	レストランサービス実務	バスボーイ・バスガール実務（レストランフロアの清掃と準備、テーブルセッティング、食器類のクリアと後片付け）、ウェイター・ウェイトレス実務（オーダーの受付、食事提供、飲料提供、お見送り実務、宴会実務）、接客サービス、パソコン操作
0JT	実技	ロビーサービス実務	送迎（ドア）、荷物預かり（クローク）、案内（バル）
0JT	実技	ロビーサービス実務	荷物預かり（クローク）、送迎（ドア）、案内（バル）
Off-JT	学科	安全衛生	5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	安全衛生	5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
Off-JT	学科	安全衛生	5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理、安全確保、衛生管理（食品衛生）、施設管理（防犯・防災）、環境対策
Off-JT	学科	英会話	ビジネス英会話の基礎
Off-JT	学科	オリエンテーション	能力評価
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	企業ビジョン	企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割
Off-JT	学科	経理・財務	経理実務（簿記・会計）、財務会計実務（財務諸表）、出納・債権・貸金管理実務
Off-JT	学科	国際業務	ビジネス英会話
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進（企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割）、ホスピタリティの実践、チームワークとコミュニケーション、企業倫理とコンプライアンス
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進（企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割）、ホスピタリティの実践、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス
Off-JT	学科	職業能力基礎講習 （企業常識）	ビジネスマナー、企業ビジョンに基づく業務の推進（企業理念、行動指針、サービスポリシー、社会的役割）、ホスピタリティの実践、チームワークとコミュニケーション、接客・接遇、企業倫理とコンプライアンス、館内知識、商品知識

ホテル業の教科名等の例

訓練形態	教科名の例	教科の内容例
Off-JT	学科 総務・労務	文書作成、帳票作成、プレゼンテーション技法、接客・接遇、クレーム処理
Off-JT	学科 能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、訓練生）
Off-JT	学科 レストラン概論	リネン類の取扱い知識、食器類の種類とセッティング知識、顧客サービスに必要な知識、食品衛生法関連法令
Off-JT	実技 IT実習	パソコンの活用方法（チェックイン、チェックアウト、変更処理等）
Off-JT	実技 安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技 安全衛生作業	安全作業、衛生管理、施設管理、環境対策、救急法
Off-JT	実技 安全衛生作業	安全作業、衛生管理（衛生管理）、施設管理（防犯・防災）、環境対策、救急法
Off-JT	実技 パソコン実習	文書作成、帳票作成、プレゼンテーション、インターネット、電子メール、専用ソフトの活用（チェックイン、チェックアウト、変更処理等）
Off-JT	実技 フロント基礎実習	ホスピタリティの実践（接客・接遇）、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、クレーム処理補助業務
Off-JT	実技 フロントサービス基礎実習	ホスピタリティの実践（接客・接遇）、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、クレーム処理補助業務、操作
Off-JT	実技 フロントサービス基礎実習	ホスピタリティの実践（接客・接遇）、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、クレーム処理補助業務、パソコン操作、ロールプレイング
Off-JT	実技 フロント実務（補助）	接客・接遇、電話オペレーター、カウンター補助業務、チェックイン・アウト補助業務、クレーム処理補助業務
Off-JT	実技 レストランサービス基礎実習	準備と片付け、テーブルマナー、食事の提供、ロールプレイング
Off-JT	実技 レストランサービス基礎実習	準備と片付け、テーブルマナー、食事の提供、パソコン操作、ロールプレイング
Off-JT	実技 レストランサービス実務	レストランフロアの清掃と準備、テーブルセッティング、食器類のクリアと後片付け、顧客サービス
Off-JT	実技 レストランサービス実務	レストランフロアの清掃と準備、テーブルセッティング、食器類のクリアと後片付け、食事の提供、ルームサービス、顧客サービス

⑨ イベント産業

イベント実践科（企画制作コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)	イベント実践科（企画制作コース）	就職 の 職務	企画プロデュース 制作管理 制作施工
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、現場のルールとともに作業打合せ及び上司等の指示を理解し、イベント企画のほか、会場設営やイベント制作に関する知識と技能を習得する。		
仕上がり像	イベントの内容を理解し、制作計画に沿った会場設営および制作に関連する基本的な作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

イベント実践科（企画制作コース）訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）	イベント実践科（企画制作コース）			Off-JTの実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容	実習等（OJT）	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間		
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	各実習に包含		
		企画プロデュース実習	情報収集、企画書策定、プレゼンテーション、情報管理	40		
		プロジェクト・マネジメント実習	プロジェクト基本計画の策定、プロジェクト予算のマネジメント、組織編成とコミュニケーション、広報・宣伝、プロジェクト管理、リスクマネジメント、主催者・スポンサー・クライアント対応、アフターフォロー	80		
		制作計画実習	実施計画作成、制作チーム編成、制作スケジュール計画、制作予算計画	40		
		制作管理実習	進行（リハーサル、本番）	60		
		制作施工実習	会場設営、制作実施	120		
	OJT計				340時間	
	座学等（Off-JT）	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン概要、個人情報保護法	8	
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理	4	
イベントの基礎知識			イベントの理解と実践、企業倫理とコンプライアンス、社内外関係者との連携、目標設定と目標達成に向けた業務遂行	4		
イベント企画の基礎知識			情報の入手、情報の整理、企画書事例、基本計画、予算、広報・宣伝	4		
イベント制作の基礎知識			実施計画作成、発注仕様書、制作スケジュール、制作予算、進行演出、会場設営の流れ	4		
能力評価			オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
学科計				34時間		
実技	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	8		
		企画基礎実習	企画プロデュース（情報収集、企画書策定、プレゼンテーション、情報管理）、プロジェクト・マネジメント	19		
		制作基礎実習	制作計画、制作管理、制作施工（会場設営、制作実施）	24		
		実技計				51時間
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間		
有期実習型訓練合計				425時間		
主な設備機器	各種案内板、通信機器、清掃道具一式、ヘルメット、誘導棒等、腕章、雨具、警笛、テーブル等備品、消耗品、その他					

イベント実践科（企画制作コース）訓練計画予定表

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		イベント実践科（企画制作コース）						
	職務名又は教科名	H○年						
		○月	○月	○月	○月	○月	○月	
実習等 (OJT)	安全衛生作業							
	企画プロデュース実習							
	プロジェクト・マネジメント実習							
	制作計画実習							
	制作管理実習							
	制作施工実習							
座学等 (OffJT)	学科	職業能力基礎講習						
		安全衛生						
		イベントの基礎知識						
		イベント企画の基礎知識						
		イベント制作の基礎知識						
		能力評価						
	実技	安全衛生作業						
		企画基礎実習						
制作基礎実習								
	職業能力の評価							
	教育訓練の時間数							

イベント実践科（イベント運営コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)	イベント実践科 (イベント運営コース)	就職 の 職務	運営管理、運営実施
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、イベント運営について、現場のルールとともに作業打合せ及び上司等の指示を理解し、場内・場外での来場者の誘導および会場における各種サービスを行うことができる知識と技能を習得する。		
仕上がり像	イベントの内容を理解し、運営作業の計画立案と業務管理または来場者の案内誘導や各種会場サービスを提供する基本的な作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計 日		
月	OJT		
	Off-JT		
	月計 日		
月	OJT		
	Off-JT		
	月計 日		
月	OJT		
	Off-JT		
	月計 日		
月	OJT		
	Off-JT		
	月計 日		
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

イベント実践科（イベント運営コース）訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		イベント実践科（イベント運営コース）			Off-JTの実施主体	備考
職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間				
実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	各作業に 対し			
	運営管理実習	運営マネジメント、安全管理	180			
	運営実習	来場者の案内誘導、会場サービスの実施	160			
	OJT計			340時間		
座学等 (Off-JT)	学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン概要、個人情報保護法	8		
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理	4		
		イベントの基礎知識	イベントの理解と実践、企業倫理とコンプライアンス、イベントにおける安全確保と危機管理、社内外関係者との連携による業務遂行、目標設定と目標達成に向けた業務遂行	8		
		イベント運営の基礎知識	用語、使用器具等の名称と用途、実施計画、進行プログラム、演出計画、運営マニュアル、会場サービス計画、イベント運営の安全管理、食品衛生	8		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10			
学科計			38時間			
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	8			
	運営管理基礎実習	運営マネジメント（運営マニュアル）、安全管理（安全管理計画）	20			
	運営基礎実習	来場者の案内誘導（案内誘導計画）、会場サービスの実施（会場サービス計画）	19			
実技計			47時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間			
有期実習型訓練合計			425時間			
主な設備機器		各種案内板、通信機器、清掃道具一式、ヘルメット、誘導棒等、腕章、雨具、警笛、テーブル等備品、消耗品、その他				

イベント実践科（イベント運営コース）訓練計画予定表

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		イベント実践科（イベント運営コース）					
	職務名又は教科名	HO年					
		〇月	〇月	〇月	〇月	〇月	〇月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	運営管理実習						
	運営実習						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		イベントの基礎知識					
		イベント運営の基礎知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	運営管理基礎実習						
	運営基礎実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	イベント実践科(イベント運営コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	各作業に 含まれる	180	/
	運営管理実習	運営マネジメント、安全管理			
	運営実習	来場者の案内誘導、会場サービスの実施			
			OJT計	340時間	
学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン概要、個人情報保護法	8		
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理	4		
	イベントの基礎知識	イベントの理解と実践、企業倫理とコンプライアンス、イベントにおける安全確保と危機管理、社内外関係者との連携による業務遂行、目標設定と目標達成に向けた業務遂行	0		
			能力評価	10	
			学科計	30時間	
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	8		
	運営管理基礎実習	運営マネジメント(運営マニュアル)、安全管理(安全管理計画)	24		
	運営基礎実習	来場者の案内誘導(案内誘導計画)、会場サービスの実施(会場サービス計画)	23		
			実技計	55時間	
			Off-JT(教育訓練機関)小計	85時間	
			有期実習型訓練合計	425時間	
主な設備機器		各種室内版、通信機器、清掃道具一式、ヘルメット、誘導棒等、腕章、用具、鞆、テーブル等備品、消耗品、その他			

訓練科名(コース名)	イベント実践科(イベント運営コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	各作業に 含まれる	180	/
	運営管理実習	運営マネジメント、安全管理			
	運営実習	来場者の案内誘導、会場サービスの実施			
			OJT計	400時間	
学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン概要、個人情報保護法	8		
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理	4		
	イベントの基礎知識	イベントの理解と実践、企業倫理とコンプライアンス、イベントにおける安全確保と危機管理、社内外関係者との連携による業務遂行、目標設定と目標達成に向けた業務遂行、 イベント制作の基礎知識	23		
			能力評価	10	
			学科計	45時間	
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	8		
	運営管理基礎実習	運営マネジメント(運営マニュアル)、安全管理(安全管理計画)	24		
	運営基礎実習	来場者の案内誘導(案内誘導計画)、会場サービスの実施(会場サービス計画) 安全管理、運営マネジメント	47		
			実技計	55時間	
			Off-JT(教育訓練機関)小計	100時間	
			有期実習型訓練合計	500時間	
主な設備機器		各種室内版、通信機器、清掃道具一式、ヘルメット、誘導棒等、腕章、用具、鞆、テーブル等備品、消耗品、その他			

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1)	学科:2時間			実技:2時間	
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2)	学科および実技:3時間		学科および実技:5時間		

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	イベント実践科(イベント運営コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	各作業に 含まれる	90	/
	運営管理実習	運営マネジメント、安全管理			
	運営実習	来場者の案内誘導、会場サービスの実施			
			OJT計	172時間	
学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン概要、個人情報保護法	4		
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理	3		
	イベントの基礎知識	イベントの理解と実践、企業倫理とコンプライアンス、イベントにおける安全確保と危機管理、社内外関係者との連携による業務遂行、目標設定と目標達成に向けた業務遂行	4		
			能力評価	10	
			学科計	21時間	
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	4		
	運営管理基礎実習	運営マネジメント、安全管理	8		
	運営基礎実習	来場者の案内誘導、会場サービスの実施	10		
			実技計	22時間	
			Off-JT(教育訓練機関)小計	43時間	
			有期実習型訓練合計	215時間	
主な設備機器		各種室内版、通信機器、清掃道具一式、ヘルメット、誘導棒等、腕章、用具、鞆、テーブル等備品、消耗品、その他			

3ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例3】イベント産業に初めて携わる方に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練の場合

訓練科名(コース名)	イベント実践科(イベント運営コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	各作業に 含まれる	106	/
	運営管理実習	運営マネジメント、安全管理			
	運営実習	来場者の案内誘導、会場サービスの実施			
	制作計画実習	実施計画作成、制作チーム構成、制作スケジュール計画、制作予算計画			
	制作管理実習	進行補助(リハーサル、本番)			
	制作施工実習	会場設置、制作実施			
			OJT計	768時間	
学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン概要、個人情報保護法	16		
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理	8		
	イベントの基礎知識	イベントの理解と実践、企業倫理とコンプライアンス、イベントにおける安全確保と危機管理、社内外関係者との連携による業務遂行、目標設定と目標達成に向けた業務遂行	24		
			能力評価	10	
			学科計	58時間	
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法	8		
	運営管理基礎実習	運営マネジメント(運営マニュアル)、安全管理(安全管理計画)	24		
	運営基礎実習	来場者の案内誘導(案内誘導計画)、会場サービスの実施(会場サービス計画)	34		
			実技計	134時間	
			Off-JT(教育訓練機関)小計	192時間	
			有期実習型訓練合計	960時間	
主な設備機器		各種室内版、通信機器、清掃道具一式、ヘルメット、誘導棒等、腕章、用具、鞆、テーブル等備品、消耗品、その他			

補足 ※有期実習型訓練の訓練基準
 ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
 ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割~2割の範囲

イベント産業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
OJT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
OJT	実技	案内誘導作業	マナー、安全衛生、交通案内作業、会場内誘導作業、補助要員との連携
OJT	実技	運営管理実習	運営マネジメント、安全管理
OJT	実技	運営実習	来場者の案内誘導、会場サービスの実施
OJT	実技	会場サービス作業	マナー、安全衛生、警備作業（出入口警備、巡回警備）、清掃作業（会期前後、館内清掃）、来場者サービス作業（手荷物預かり、宅配取次ぎ、介護補助、医療救護補助、迷子、遺失物取扱い）、料飲サービス作業、専門スタッフとの協働
OJT	実技	会場設営補助作業	資機材搬入作業、施工、装飾・展示作業、修繕作業、資機材の撤去と搬出作業
OJT	実技	企画プロデュース実習	情報収集、企画書策定、プレゼンテーション、情報管理
OJT	実技	制作管理実習	進行補助（リハーサル、本番）
OJT	実技	制作計画実習	実施計画作成、制作チーム編成、制作スケジュール計画、制作予算計画
OJT	実技	制作施工実習	会場設営、制作実施
OJT	実技	制作補助作業	資機材の搬入作業、専門技術（音響・証明・映像等）制作作業、資機材の撤去・搬出作業
OJT	実技	プロジェクト・マネジメント実習	プロジェクト基本計画の策定、プロジェクト予算のマネジメント、組織編成とコミュニケーション、広報・宣伝、プロジェクト管理、リスクマネジメント、主催者・スポンサー・クライアント対応、アフターフォロー
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	イベント企画および制作の基礎知識	用語の理解、企画構築の流れ、情報収集の要領、情報管理、担当業務のリスク、報告の流れ、イベントの評価、実施計画作成の流れ、情報収集の要領、制作スケジュール計画の概要、予算計画の概要、専門技術業務の基礎知識、進行プログラム、演出計画、搬入計画、資材および機具等の名称と用途
Off-JT	学科	イベントの基礎知識	イベントの理解と実践、企業倫理とコンプライアンス、イベントにおける安全確保と危機管理、社内外関係者との連携による業務遂行、目標設定と目標達成に向けた業務遂行
Off-JT	学科	運営マネジメントの知識	イベント内容の把握要領、運営マニュアルの知識、安全管理、来場者案内誘導計画の把握要領、会場サービス計画の把握要領、会場内衛生管理
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン操作、イベント業の基礎知識、個人情報保護法
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン操作、イベント作業の基礎知識
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場概要、社会人としてのマナーとルール、倫理規定、就業規則、経営理念、パソコン概要、個人情報保護法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	運営管理基礎実習	運営マネジメント（運営マニュアル）、安全管理（安全管理計画）
Off-JT	実技	運営基礎実習	来場者の案内誘導（案内誘導計画）、会場サービスの実施（会場サービス計画）
Off-JT	実技	会場サービス実習	警備作業の手順、清掃作業の手順、来場者サービス作業の手順、料飲サービス作業の手順
Off-JT	実技	会場設営実習	作業ルールとマナー、資機材搬入作業方法、施工方法、装飾・展示作業方法、修繕作業方法、資機材の撤去と搬出作業方法

イベント産業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	実技	企画基礎実習	企画プロデュース（情報収集、企画書策定、プレゼンテーション、情報管理）、プロジェクト・マネジメント
Off-JT	実技	制作基礎実習	制作計画、制作管理、制作施工（会場設営、制作実施）
Off-JT	実技	制作実習	作業ルールとマナー、資機材の搬入作業方法、専門技術（音響・証明・映像等）制作方法、資機材の撤去・搬出作業方法
Off-JT	実技	来場者の誘導実習	交通案内作業の方法、会場内誘導作業の方法

⑩ 電気機械器具製造業

◆ 作成ガイドライン

電気機械器具製造業のモデル評価シートは、組立職務の専門的事項について13の能力ユニットが掲載されている。これに対して、本業種で最も特徴的と思われる3つの能力ユニットについてモデルカリキュラムを作成していること。このほか、検査職務のモデルカリキュラムも作成していること。

半導体製品製造実践科訓練カリキュラム総括表

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)	半導体製品製造実践科	就職 の 職務	集積回路チップ製造作業、集積回路組立作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、半導体製品製造にかかる各種作業に必要な知識や技能を習得する。		
仕上がり像	集積回路チップ製造作業や集積回路組立に関する基本的な作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間 (OJT：340時間 Off-JT：85時間)			

半導体製品製造実践科訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)		半導体製品製造実践科		Off-JTの実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	企業により作業選択	
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	他実習に包含		
		集積回路チップ製造作業	設備の日常点検、集積回路ウェーハ及び材料の目視確認、集積回路チップ製造の製造装置・器具・測定器の管理、シリコンウェーハ投入作業、洗浄工程作業、成膜工程作業、リソグラフィ作業不純物拡散工程作業	企業により作業選択		
		集積回路組立作業	設備の日常点検、集積回路ウェーハ及び材料の目視確認、集積回路組立の製造装置・器具・測定器の管理、ダイシング作業、ダイボンディング作業、ボンディング作業、封止作業、マーキング作業等	340		
	OJT計				340時間	
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解(仕事理解)、小集団活動、自己啓発、企業理念・経営方針	6	
			安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業(不安全行動の回避)、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理、公害防止と環境保全	6	
			半導体製品製造の知識	半導体に関する一般知識、電気・電子概論、用語、半導体製品製造法の知識、集積回路チップ製造の知識(工程・材料ほか)、集積回路組立の知識(工程・材料ほか)、製図基本(図示法、図記号)、材料および器具等の名称と用途・保全、作業手順書、作業の注意事項(清浄空間・防塵・静電対策ほか)、材料の品質基準	12	
			能力評価	オリエンテーション、能力評価(オリエンテーション、評価担当者、受講者)	10	
	学科計				34時間	
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、救急法	3			
	検査実習	器具・工具・測定器の取扱い、設備・装置の点検要領、器具・装置等の保管・管理、目視確認	8			
	半導体製品製造基本実習	半導体製造設備の操作要領、パッケージ・ICチップ・ガス・純水・薬品、補助材料の取扱い方法、半導体製造装置・器具・測定器の使用法	8			
	集積回路チップ製造実習	シリコンウェーハ投入作業、洗浄工程作業、成膜工程作業、リソグラフィ作業不純物拡散工程作業	16			
	集積回路組立実習	ダイシング作業、ダイボンディング作業、ボンディング作業、封止作業、マーキング作業等	16			
実技計				51時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計				85時間		
有期実習型訓練合計				425時間		
主な設備機器等	各種専用工具類、各種専用治具、各種製造装置、電子計測器他各種測定器類、外観検査装置、パーソナルコンピュータ、その他					

半導体製品製造実践科訓練計画予定表

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		半導体製品製造実践科					
職務名又は教科名		H○年 ○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	集積回路チップ製造作業						
	集積回路組立作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		半導体製品製造の知識					
		集積回路チップ製造作業の知識					
		集積回路組立作業の知識					
	能力評価						
実技	安全衛生作業						
	検査実習						
	半導体製品製造実習						
	集積回路チップ製造実習						
	集積回路組立実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

電子機器組立実践科訓練カリキュラム総括表

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)	電子機器組立実践科	就職 の 職務	電気製品組立作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、家電品やパーソナルコンピュータ等の電子機器組立にかかる各種作業に必要な知識や技能を習得する。		
仕上がり像	各種電気製品の組立に関する基本的な作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間 (OJT：340時間 Off-JT：85時間)			

電子機器組立実践科訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		電子機器組立実践科		Off-JTの実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	/	
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	他実習に包含		
		電子機器組立作業	電子機器組立作業準備、設備の日常点検、電子機器組立の製造装置・器具・測定器の管理、組立・据付作業、電子回路のショートチェックおよび外観検査	340		
	OJT計 340時間				/	
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、小集団活動、自己啓発、企業理念・経営方針	6	/
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理	3	
			電子機器組立作業の基本知識	電子機器の知識（種類と用途、部品の知識）、電気・電子概論、用語、組立て方法、各種材料の種類と用途、装置・器具等の名称と用途・管理、作業手順書、製図基本（図示法、図記号、展開接続図）、作業の注意事項（清浄空間・防塵・静電対策ほか）、品質管理	16	
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10	
	学科計 35時間				/	
	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、救急法	3	/	
検査実習		設備・装置の点検要領、器具・試験用計測器の使用方法和測定、機工具等の保管・管理、外観検査の要領	16			
電子機器組立実習		電子機器組立の製造装置・工具・測定器の使用方法和部品取付・配線・接続方法（はんだ付け、圧着ほか）、プリント配線板の組立・接着およびその他組立作業方法	31			
実技計 50時間				/		
Off-JT（教育訓練機関）小計 85時間				/		
有期実習型訓練合計 425時間				/		
主な設備機器等		各種専用工具類、各種専用治具、各種製造装置、電子計測器他各種測定器類、外観検査装置、パーソナルコンピュータ、その他				

電子機器組立実践科訓練計画予定表

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		電子機器組立実践科					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	電子機器組立作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		電子機器組立作業の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	検査実習						
	電子機器組立実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

電気機器検査実践科訓練カリキュラム総括表

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)	電気機器検査実践科	就職 の 職務	電気機器の検査
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身に付け、各種検査に必要な知識や技能を習得する。		
仕上がり像	電気機器に関する各種検査の基本的な作業ができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間 (OJT：340時間 Off-JT：85時間)			

電気機器検査実践科訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名 (コース名)		電気機器検査実践科		Off-JTの実施主体	備考	
職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間				
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	他実習に包含	/	
		機械検査作業	寸法及び形状の検査作業、ねじ・歯車等の精密測定検査、測定機器の日常点検	140		
		受入検査作業	注文書および納品書の読み取りと照合作業、製品判定、外観検査、材料・加工品の管理、検査結果の保管・提出、返品等手続	100		
		最終検査作業	製品外観・寸法・主要機能の判定、製品判定、最終検査票の作成、最終検査結果ラベルの貼付、検査表等の保存	100		
	OJT計			340時間	/	
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針、コンプライアンス、環境	6	/
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理	3	
		電気機器検査作業の基本知識	品質管理の概要、QC手法、JIS計測用語・専門用語の概要、測定器の種類と活用（電気関連、材料特性関連）、製品図面の理解（幾何公差、硬度、粗さほか）、検査方法の概要と検査基準、外観検査の方法、作業の流れ（作業手順書）、返品手続等の処理方法、機械検査の流れ、受入検査の流れ、最終検査の流れ	16		
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）	10		
	学科計			35時間	/	
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、救急法	3	/		
	器工具・測定器取扱い実習	測定器（マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スケール、巻尺、ネジゲージ、基準ゲージ、水準器、角度定規、Vブロック、定盤、トースカンほか）の使い方	20			
	検査実習	形状・寸法検査の要領、精密測定要領（寸法、角度、幾何偏差、ねじ、歯車ほか）、電流・電圧・騒音・振動等の測定と判定要領、製品の外観・寸法・主要機能の動作判定等	27			
実技計			50時間	/		
Off-JT（教育訓練機関）小計			85時間	/		
有期実習型訓練合計			425時間	/		
主な設備機器等	専用工具類、専用治具、製造装置、電子計測器他各種測定器類、外観検査装置、パーソナルコンピュータ、その他					

電気機器検査実践科訓練計画予定表

平成21年3月作成

訓練科名（コース名）		電気機器検査実践科					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	機械検査作業						
	受入検査作業						
	最終検査作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		電気機器検査作業の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	器工具・測定器取扱い実習						
	検査実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

訓練科名(コース名)	電気機器検査実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	140	有期実習訓練の内容	変更 時間変更
	機械検査作業	寸法及び形状の検査作業、ねじ・溶接等の検査作業、測定機器の日常点検	100		
	受入検査作業	注文書および納品書の読み取りと照合作業、部品検査、作動検査、材料・加工品の管理、検査結果の保管・提出、返品等手続	100		
	最終検査作業	製品の検査、寸法・主要機能の判定、製品判定、最終検査票の作成、最終検査結果ラベルの貼り、検査票等の保管	100		
OJT計			340時間		
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職業倫理(仕事規律)、組織活動の心得、自己啓発、企業理念・経営方針、コンプライアンス、漢語	6		変更 時間変更
	安全衛生	5分(整理、整頓、清潔、調達、しつけ)、安全作業、安全文化の創出、安全意識の醸成、危険防止の取り組み、健康管理、緊急対応	3		変更 時間変更
	電気機器検査作業の基本知識	品質管理の概要、QC手法、JIS計測用語、専門用語の概要、測定器の種類と用途(電圧計、電流計、抵抗計、温度計、湿度計、音圧計、音波計、音速計、音圧レベル計、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ)	16		変更 時間変更
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(オリエンテーション、評価担当者、受講生)	10		変更 時間変更
学科計			35時間		
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、換気法	3		
	測定器・測定器取扱い実習	測定器(マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スクリュー、電圧、電流計、インダクタンス、電圧、電流計、インダクタンス、電圧、電流計、インダクタンス)	20		
	検査実習	検査、品質管理、ねじ・溶接等手続、寸法・形状の検査、測定機器の日常点検、製品の検査、寸法・主要機能の判定	27		
実技計			50時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			95時間		
有期実習訓練合計			425時間		
主な設備機器等		専用工具類、専用器具、製造装置、電子計測器各種測定器、外観検査装置、パーソナルコンピュータ、その他			

【活用事例1】経験の無い方に基本知識と行動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	電気機器検査実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	150	有期実習訓練の内容	変更 時間変更
	機械検査作業	寸法及び形状の検査作業、ねじ・溶接等の検査作業、測定機器の日常点検、測定器の点検	150		
	受入検査作業	注文書および納品書の読み取りと照合作業、部品検査、作動検査、材料・加工品の管理、検査結果の保管・提出、返品等手続	150		
	最終検査作業	製品の検査、寸法・主要機能の判定、製品判定、最終検査票の作成、最終検査結果ラベルの貼り、検査票等の保管	100		
OJT計			400時間		
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職業倫理(仕事規律)、組織活動の心得、自己啓発、企業理念・経営方針、コンプライアンス、漢語	6		変更 時間変更
	安全衛生	5分(整理、整頓、清潔、調達、しつけ)、安全作業、安全文化の創出、安全意識の醸成、危険防止の取り組み、健康管理、緊急対応	3		変更 時間変更
	電気機器検査作業の基本知識	品質管理の概要、QC手法、JIS計測用語、専門用語の概要、測定器の種類と用途(電圧計、電流計、抵抗計、温度計、湿度計、音圧計、音波計、音圧レベル計、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ)	16		変更 時間変更
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(オリエンテーション、評価担当者、受講生)	10		変更 時間変更
学科計			50時間		
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、換気法	3		
	測定器・測定器取扱い実習	測定器(マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スクリュー、電圧、電流計、インダクタンス、電圧、電流計、インダクタンス)	20		
	検査実習	検査、品質管理、ねじ・溶接等手続、寸法・形状の検査、測定機器の日常点検、製品の検査、寸法・主要機能の判定	27		
実技計			50時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			100時間		
有期実習訓練合計			500時間		
主な設備機器等		専用工具類、専用器具、製造装置、電子計測器各種測定器、外観検査装置、パーソナルコンピュータ、その他			

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1) 学 科:2時間				実 技:2時間	
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2) 学科および実技:3時間			学科および実技:5時間		

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や行動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	電気機器検査実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	70	有期実習訓練の内容	
	機械検査作業	寸法及び形状の検査作業、ねじ・溶接等の検査作業、測定機器の日常点検	50		
	受入検査作業	注文書および納品書の読み取りと照合作業、部品検査、作動検査、材料・加工品の管理、検査結果の保管・提出、返品等手続	50		
	最終検査作業	製品の検査、寸法・主要機能の判定、製品判定、最終検査票の作成、最終検査結果ラベルの貼り、検査票等の保管	50		
OJT計			170時間		
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職業倫理(仕事規律)、組織活動の心得、自己啓発、企業理念・経営方針、コンプライアンス、漢語	6		
	安全衛生	5分(整理、整頓、清潔、調達、しつけ)、安全作業、安全文化の創出、安全意識の醸成、危険防止の取り組み、健康管理、緊急対応	3		
	電気機器検査作業の基本知識	品質管理の概要、QC手法、JIS計測用語、専門用語の概要、測定器の種類と用途(電圧計、電流計、抵抗計、温度計、湿度計、音圧計、音波計、音圧レベル計、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ)	16		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(オリエンテーション、評価担当者、受講生)	10		
学科計			35時間		
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、換気法	3		
	測定器・測定器取扱い実習	測定器(マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スクリュー、電圧、電流計、インダクタンス、電圧、電流計、インダクタンス)	20		
	検査実習	検査、品質管理、ねじ・溶接等手続、寸法・形状の検査、測定機器の日常点検、製品の検査、寸法・主要機能の判定	27		
実技計			50時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			43時間		
有期実習訓練合計			213時間		
主な設備機器等		専用工具類、専用器具、製造装置、電子計測器各種測定器、外観検査装置、パーソナルコンピュータ、その他			

補 足

- ※助成金受給の条件
- ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
- ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割~2割の範囲

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例3】学卒者に対して、仕事の知識と行動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	電気機器検査実践科	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策	150	有期実習訓練の内容	
	機械検査作業	寸法及び形状の検査作業、ねじ・溶接等の検査作業、測定機器の日常点検	150		
	受入検査作業	注文書および納品書の読み取りと照合作業、部品検査、作動検査、材料・加工品の管理、検査結果の保管・提出、返品等手続	150		
	最終検査作業	製品の検査、寸法・主要機能の判定、製品判定、最終検査票の作成、最終検査結果ラベルの貼り、検査票等の保管	100		
OJT計			400時間		
学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職業倫理(仕事規律)、組織活動の心得、自己啓発、企業理念・経営方針、コンプライアンス、漢語	6		
	安全衛生	5分(整理、整頓、清潔、調達、しつけ)、安全作業、安全文化の創出、安全意識の醸成、危険防止の取り組み、健康管理、緊急対応	3		
	電気機器検査作業の基本知識	品質管理の概要、QC手法、JIS計測用語、専門用語の概要、測定器の種類と用途(電圧計、電流計、抵抗計、温度計、湿度計、音圧計、音波計、音圧レベル計、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ、音圧レベルメータ)	16		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(オリエンテーション、評価担当者、受講生)	10		
学科計			35時間		
実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、換気法	3		
	測定器・測定器取扱い実習	測定器(マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スクリュー、電圧、電流計、インダクタンス、電圧、電流計、インダクタンス)	20		
	検査実習	検査、品質管理、ねじ・溶接等手続、寸法・形状の検査、測定機器の日常点検、製品の検査、寸法・主要機能の判定	27		
実技計			50時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			100時間		
有期実習訓練合計			500時間		
主な設備機器等		専用工具類、専用器具、製造装置、電子計測器各種測定器、外観検査装置、パーソナルコンピュータ、その他			

電気機械器具製造業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
0JT	実技	受入検査作業	注文書および納品書の読み取りと照合作業、製品判定、外観検査、材料・加工品の管理、検査結果の保管・提出、返品等手続
0JT	実技	回転電機組立作業	回転電機組立作業準備、材料・部品の良否判定、設備の日常点検、回転電機組立の製造装置・器具・測定器の取扱いと管理、溶接・ろう付け等の作業、鉄心積み等の回転電機に関する作業および結線・組立・据付及び調整等、電気試験および外観検査、回転電機の仕様および特性測定補助
0JT	実技	回転電機巻線組立作業	回転電機巻線組立作業準備、材料・部品の良否判定、設備の日常点検、回転電機巻線組立装置・器具・測定器の取扱いと管理、配線・コイル巻き・成形・界磁巻線の組込み等、コイル入れ・結線・導体加工・絶縁処理等、電気試験および外観検査、回転電機巻線の仕様および特性測定補助
0JT	実技	開閉制御機具組立作業	開閉制御機具組立作業準備、材料・部品の良否判定、設備の日常点検、開閉制御機具組立装置・器具・測定器の取扱いと管理、調整および電線等の接続配管接続作業等、部品加工・組立・配線接続・点検および調整等、電気試験および外観検査、開閉制御機器の仕様および特性測定補助
0JT	実技	機械検査作業	寸法及び形状の検査作業、ねじ・歯車等の精密測定検査、測定機器の日常点検
0JT	実技	工業包装作業	工業包装作業準備、製品及び包装材料の良否判定、設備の日常点検、工業包装製造装置の取扱いと管理、仕組製材作業、平打ち作業、組立作業、個装作業、内装作業、必要書類の添付、数量・形状確認と点検
0JT	実技	最終検査作業	製品外観・寸法・主要機能の判定、製品判定、最終検査票の作成、最終検査結果ラベルの貼付、検査表等の保存
0JT	実技	シーケンス制御作業	材料・部品の良否判定、設備の日常点検、組立装置・器具・測定器の取扱いと管理、プログラマブルコントローラの組立・配線、プログラムのモニタリング・デバギング
0JT	実技	集積回路組立作業	半導体製造装置・器具・測定器の取扱いと管理、清浄空間保持および防塵・静電対策の実施、設備の日常点検、集積回路ウェーハ及び材料の目視確認、半導体製造設備の操作、集積回路組立の後工程作業（ダイシング作業、ダイボンディング作業、ボンディング作業、封止作業、マーキング作業等）
0JT	実技	集積回路組立作業	設備の日常点検、集積回路ウェーハ及び材料の目視確認、集積回路組立の製造装置・器具・測定器の管理、集積回路組立の後工程作業（ダイシング作業、ダイボンディング作業、ボンディング作業、封止作業、マーキング作業等）
0JT	実技	集積回路チップ製造作業	半導体製造装置・器具・測定器の取扱いと管理、清浄空間保持および防塵・静電対策の実施、設備の日常点検、集積回路ウェーハ及び材料の目視確認、半導体製造設備の操作、集積回路チップ製造の前工程作業（シリコンウェーハ投入作業、洗浄工程作業、成膜工程作業、リソグラフィ作業不純物拡散工程作業）
0JT	実技	集積回路チップ製造作業	設備の日常点検、集積回路ウェーハ及び材料の目視確認、集積回路チップ製造の製造装置・器具・測定器の管理、集積回路チップ製造の前工程作業（シリコンウェーハ投入作業、洗浄工程作業、成膜工程作業、リソグラフィ作業不純物拡散工程作業）
0JT	実技	ソフトウェア組込作業	電子機器へのソフトウェア組込準備、ソフトウェア組込の製造装置・ツール・測定器の取扱いと管理、ソフトウェア設定器の操作、組込作業、ソフトウェアの変更およびバージョン管理、ソフトウェア作動確認
0JT	実技	電子回路接続作業	電子回路接続作業準備、材料・部品の良否判定、設備の日常点検、清浄空間保持および防塵・静電対策の実施、電子回路接続、各種電子回路接続機器および測定器の取扱いと管理、電子部品の実装作業、ペアチップ実装作業、電気試験および外観検査
0JT	実技	電子機器組立作業	電子機器組立作業準備、設備の日常点検、電子機器組立の製造装置・器具・測定器の取扱いと管理、清浄空間保持および防塵・静電対策の実施、組立・据付作業、電子回路のショートチェックおよび外観検査
0JT	実技	電子機器組立作業	電子機器組立作業準備、設備の日常点検、電子機器組立の製造装置・器具・測定器の管理、組立・据付作業、電子回路のショートチェックおよび外観検査
0JT	実技	配電盤・制御盤組立作業	配電盤・制御盤組立作業準備、材料・部品の良否判定、設備の日常点検、配電盤・制御盤組立の製造装置・器具・測定器の取扱いと管理、導体やダクト等の配線および接続作業、組立・加工・回路点検・据付及び調整等、電気試験および外観検査、配電盤・制御盤の仕様および特性測定補助
0JT	実技	プリント配線板製造作業	プリント配線板の製造装置・器具・測定器の取扱いと管理、清浄空間保持、設備の日常点検、プリント配線板製造用材料の目視確認、プリント配線板製造に関する各種装置の操作、材料加工作業、パターン焼付作業、エッチング及び剥離作業、積層作業、穴あけ作業、めっき作業、ソルダレジスト作業、マーキング印刷作業、仕上げ処理作業、製品のハンドリング、寸法・位置精度の寸法検査及び外観検査

電気機械器具製造業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	変圧器組立作業	変圧器組立作業準備、材料・部品の良否判定、設備の日常点検、変圧器組立の製造装置・器具・測定器の取扱いと管理、溶接・ろう付け等の作業、導体の加工等変圧器組立に関する作業および結線・組立・据付及び調整等、電気試験および外観検査、変圧器の仕様および特性測定補助
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全作業（不安全行動の回避）、安全装置や保護具の性能及び取扱い、健康管理、救急処理、公害防止と環境保全
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、小集団活動、自己啓発、企業理念・経営方針
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、報告・連絡・相談の重要性、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）、問題解決のための姿勢、自己啓発、企業理念・経営方針、コンプライアンス、環境
Off-JT	学科	電気機器組立作業の基本知識	電気・電子・制御方法等専門知識に関する概論、基本的な諸法令・規則、用語および材料や器具・工具・測定器の名称と用途および管理方法、作業の流れ（作業手順書）、各種図面（図記号、組立用図面・展開接続図等）、作業の注意事項（清浄空間・防塵・静電対策ほか）、材料の品質基準
Off-JT	学科	電気機器検査作業の基本知識	品質管理の概要、QC手法、JIS計測用語・専門用語の概要、測定器具および測定機器ならびに測定補助具の使用法、検査方法の概要と検査基準、外観検査の方法、作業の流れ（作業手順書）、返品手続等の処理方法、機械検査の流れ、受入検査の流れ、最終検査の流れ
Off-JT	学科	電気機器検査作業の基本知識	品質管理の概要、QC手法、JIS計測用語・専門用語の概要、測定器の種類と活用（電気関連、材料特性関連）、製品図面の理解（幾何公差、硬度、粗さほか）、検査方法の概要と検査基準、外観検査の方法、作業の流れ（作業手順書）、返品手続等の処理方法、機械検査の流れ、受入検査の流れ、最終検査の流れ
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（オリエンテーション、評価担当者、受講者）
Off-JT	学科	集積回路チップ製造作業の基本知識	半導体に関する一般知識、用語、半導体製品製造法の知識、集積回路チップ製造の知識（工程・材料ほか）、製図基本（図示法、図記号）、材料および器具等の名称と用途・保全、作業手順書、作業の注意事項（清浄空間・防塵・静電対策ほか）、材料の品質基準
Off-JT	学科	集積回路組立作業の基本知識	半導体に関する一般知識、用語、半導体製品製造法の知識、集積回路組立の知識（工程・材料・パッケージほか）、製図基本（図示法、図記号）、材料および器具等の名称と用途・保全、作業手順書、作業の注意事項（清浄空間・防塵・静電対策・欠陥品の防止ほか）
Off-JT	学科	電子機器組立作業の基本知識	電子機器の知識（種類と用途、部品の知識）、電気・電子概論、用語、組立て方法、各種材料の種類と用途、装置・器具等の名称と用途・管理、作業手順書、製図基本（図示法、図記号、展開接続図）、作業の注意事項（清浄空間・防塵・静電対策ほか）、品質管理
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理、救急法
Off-JT	実技	回転電機組立実習	電気機器・回転電機及び部品の組立方法、回転電機組立の製造装置・工具・測定器の使用法、鉄心積み及び回転子の静つりあい及び動つりあい等の作業方法、結線・総合組立の方法、据付および調整方法、結線・ろう付け
Off-JT	実技	回転電機巻線組立実習	電気機器・回転電機の巻線製作の方法、回転電機巻線組立の製造装置・工具・測定器の使用法、コイルの成形・絶縁テープ巻き・コイル入れと結線作業等の方法、導体加工・接続・絶縁処理の作業方法、結線・配線・コイル巻き・成形・コイル入れ・界磁巻線の組込み・テーピング作業の方法
Off-JT	実技	開閉制御器具組立実習	電気機器・開閉制御器具及び部品の組立方法、開閉制御器具組立の製造装置・工具・測定器の使用法、部品加工と組立作業方法、配管・配線・接続の方法、電気回路点検方法、総合組立と調整作業方法、手動操作時および自動操作時の調整方法、電線・シールド線の接続方法、リム・ニップル・ろう付け・フレヤー式の配管接続作業等の方法
Off-JT	実技	器具・測定器取扱い実習	マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スケール、巻尺、ネジゲージ、基準ゲージ、水準器、角度定規、Vブロック、定盤、トースカン他
Off-JT	実技	器具・測定器取扱い実習	測定器（マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スケール、巻尺、ネジゲージ、基準ゲージ、水準器、角度定規、Vブロック、定盤、トースカンほか）の使い方
Off-JT	実技	検査作業実習	設備の点検要領、試験用計測器の使用法と測定、外観検査の方法、目視確認方法、材料および部品判定要領

電気機械器具製造業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	実技	検査実習	形状・寸法検査の要領、精密測定要領（寸法、角度、幾何偏差、ねじ、歯車ほか）、電流・電圧・騒音・振動等の測定と判定要領、製品の外觀・寸法・主要機能の動作判定等
Off-JT	実技	検査実習	器具・工具・測定器の取扱い、設備・装置の点検要領、器工具・装置等の保管・管理、目視確認
Off-JT	実技	検査実習	設備・装置の点検要領、器工具・試験用計測器の使用方法和測定、機工具等の保管・管理、外觀検査の要領
Off-JT	実技	工業包装実習	製缶・包装作業方法、製函機・充填機・製袋機・箱詰機・真空包装機・梱包機・ラベル貼機等の使用方法、仕組製材作業・平打ち作業・組立作業要領、防水包装・防湿包装・緩衝・固定等の個装および内装作業の方法、包装製品の取扱い方法
Off-JT	実技	シーケンス制御実習	展開接続図の作成、プログラマブルコントローラの組立・配線、プログラムのモニタリング・デバギング
Off-JT	実技	集積回路組立実習	半導体製造設備の操作要領、集積回路組立の後工程作業要領（ダイシング作業、ダイボンディング作業、ボンディング作業、封止作業、マーキング作業等）、ガス・純水・薬品・補助材料の取扱い方法、半導体製造装置・器工具・測定器の使用使用方法
Off-JT	実技	集積回路組立実習	清浄空間の保持、防塵・静電対策の方法、半導体製造設備の操作要領、集積回路組立の後工程作業（ダイシング作業、ダイボンディング作業、ボンディング作業、封止作業、マーキング作業等）、ガス・純水・薬品・補助材料の取扱い方法、半導体製造装置・器工具・測定器の使用使用方法
Off-JT	実技	集積回路チップ製造実習	半導体製造設備の操作要領、集積回路チップ製造の前工程作業要領（シリコンウェーハ投入作業、洗浄工程作業、成膜工程作業、リソグラフィ作業不純物拡散工程作業）、ガス・純水・薬品・補助材料の取扱い方法、半導体製造装置・器工具・測定器の使用使用方法
Off-JT	実技	集積回路チップ製造実習	清浄空間の保持、防塵・静電対策の方法、半導体製造設備の操作要領、集積回路チップ製造の前工程作業（シリコンウェーハ投入作業、洗浄工程作業、成膜工程作業、リソグラフィ作業不純物拡散工程作業）、ガス・純水・薬品・補助材料の取扱い方法、半導体製造装置・器工具・測定器の使用使用方法
Off-JT	実技	測定器具および測定機器ならびに測定補助具の使用使用方法	マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ、スケール、巻尺、ネジゲージ、基準ゲージ、水準器、角度定規、Vブロック、定盤、トースカンほか
Off-JT	実技	ソフトウェア組込実習	ソフトウェア組込の製造装置・工具・測定器の使用方法和管理、ソフトウェアの選択要領、ソフトウェア組込に関するパソコン操作
Off-JT	実技	電子回路接続実習	電子回路接続方法、清浄空間の保持、防塵・静電対策の方法、はんだ付け機器・表面実装機器・測定器の取扱い方法、部品の実装
Off-JT	実技	電子機器組立実習	電子機器組立の製造装置・工具・測定器の使用使用方法、部品取付・配線・接続方法（はんだ付け、圧着ほか）、プリント配線板の組立・接着およびその他組立作業方法
Off-JT	実技	電子機器組立実習	清浄空間の保持、防塵・静電対策の方法、電子機器組立の製造装置・工具・測定器の使用使用方法、部品取付・配線・接続方法、プリント配線板の組立・接着およびその他組立作業
Off-JT	実技	配電盤・制御盤組立実習	電気機器・配電盤・制御盤及び部品の組立方法、配電盤・制御盤組立の製造装置・工具・測定器の使用使用方法、組立・加工・器具取付の方法、配線・接続の方法、電気回路点検方法、据付・調整作業方法、導体・高圧電線・シールド線・クリート・ダクト等配線・接続の方法
Off-JT	実技	プリント配線版製造実習	清浄空間の保持、プリント配線版製造に関する各種装置の操作要領、製造作業（材料加工作業、パターン焼付作業、エッチング及び剥離作業、積層作業、穴あけ作業、めっき作業、ソルダーレジスト作業、マーキング印刷作業、仕上げ処理作業）、製造に使用する薬品の取扱いと管理方法、プリント配線版製造用材料の目視確認、プリント配線版の製造装置・器工具・測定器の使用使用方法と管理方法、製品のハンドリング要領
Off-JT	実技	変圧器組立実習	電気機器・変圧器及び部品の組立方法、変圧器組立の製造装置・工具・測定器の使用使用方法、鉄心とコイルの組合せ及び絶縁テープ巻き・導体加工の作業方法、接続・タップ切替器等の組立と取付方法、配線・接続・総合組立の方法、据付方法、結線・ろう付け

ISSN 1340-2390

資料シリーズ No. 31-1

有期実習型訓練カリキュラム作成のためのモデルカリキュラム集（No. 1）
—職業能力形成プログラム（有期実習型訓練）のモデルカリキュラムの開発—
業種別（10業種）ロジスティクス分野、造園工事業、電気通信工事業、鉄筋工
事業、自動車製造業、パン製造業、スーパーマーケット業、ホテル業、イベント
産業、電気機械器具製造業

発行 2009年7月

発行者 独立行政法人雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

所長 川村英治

〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4-1-1

電話 042-763-9046（普及促進室）

印刷 XXXXXXXXXX

〒XXX-XXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

本書の著作権は独立行政法人雇用・能力開発機構が有しております。

資料シリーズNo. 31-1
2009

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY